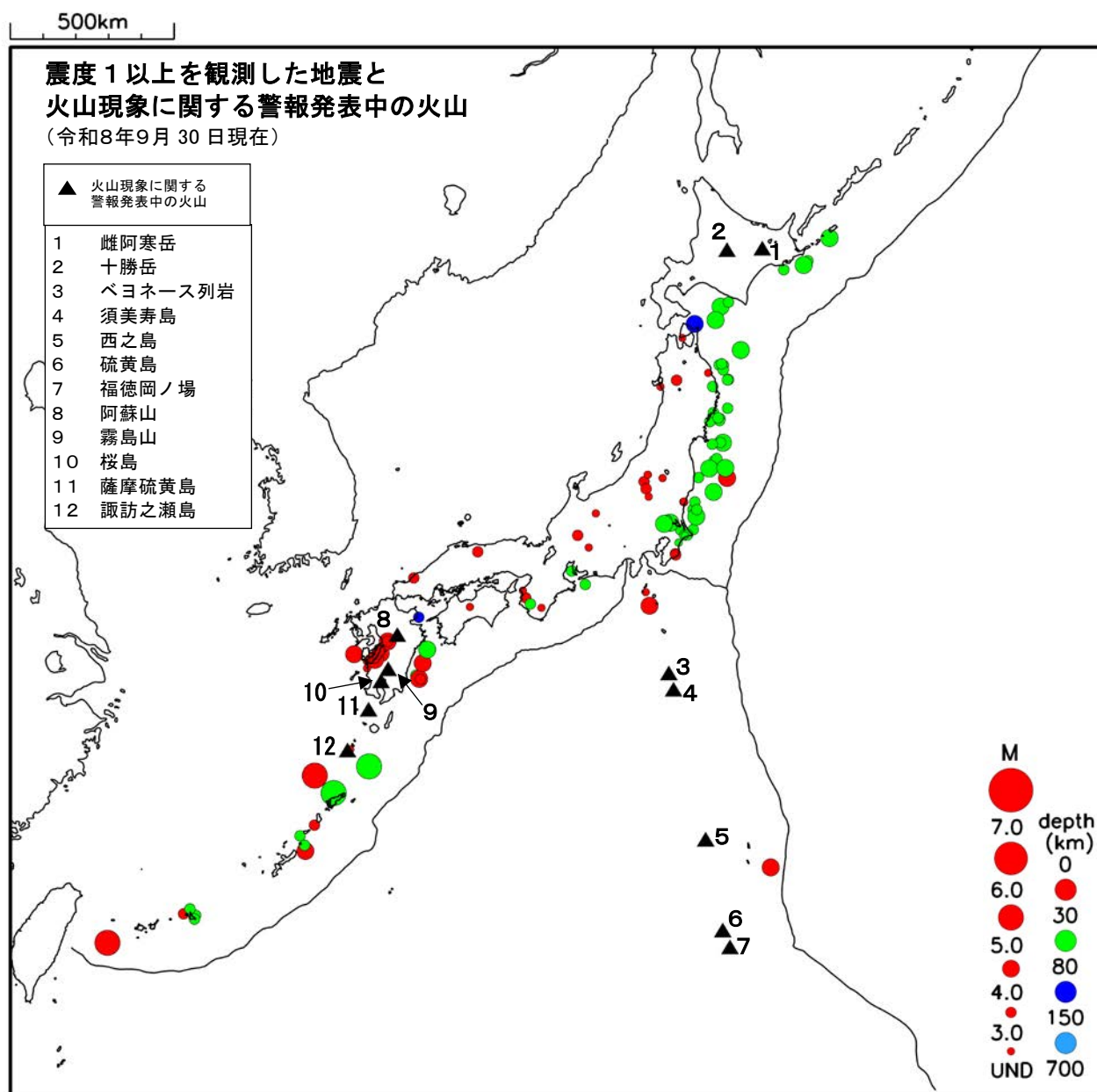


令和8年9月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

September 2026



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

※ 本資料中のデータについて

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

注* 令和8年10月9日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、7政令指定都市。

注** 令和8年10月9日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 本資料中の図について

本資料中の地図は、『数値地図25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を加工して作成した。

また、一部の図版作成にはGMT(Generic Mapping Tool[Wessel, P., and W.H.F.Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol.79 (47), pp.579, 1998])を使用した。

※ 本資料利用上の注意

・資料中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁CMT解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁CMT解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N＝xx,yy/ZZ：図中表示している地震の回数を表す（通常図の右上に示してある）。ZZは回数の総数を表し、xx,yyは期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

発震機構解の図は下半球投影である。また、特にことわりがない限り、P波初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えてCMT解を掲載する場合がある。なお、CMT解はベストダブルカップル解を示す。

・発震機構解の図中の語句について

P：P軸（圧力軸） T：T軸（張力軸） N：N軸（中立軸）

・Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震のCMT解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M－T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図で、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本資料での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

2020年9月以降に発生した地震を含む図については、2020年8月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、日本海溝海底地震津波観測網（S-net）や紀伊水道沖の地震・津波観測監視システム（DONET2）による海域観測網の観測データの活用、震源計算処理における海域速度構造の導入及び標高を考慮した震源決定等それまでのデータ処理方法との違いにより、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがある。

2026年4月以降に発生した地震を含む図については、2026年3月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、南海トラフ海底地震津波観測網（N-net）による海域観測網の観測データの活用により、震源の位置や決定数に見かけ上の変化が見られることがある。

震源の深さを「CMT解による」とした場合は、気象庁CMT解のセントロイドの深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については地震月報（カテゴリー）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

なお、本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

- ・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	5
東北地方の地震活動	6
最近の日本海溝・千島海溝周辺の地震活動	7
関東・中部地方の地震活動	8
近畿・中国・四国地方の地震活動	11
九州地方の地震活動	12
沖縄地方の地震活動	18
その他の地域の地震活動	20
● 南海トラフ周辺の地殻活動	22
● 日本の主な火山活動	25
北海道地方の火山活動	37
東北地方の火山活動	40
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	42
近畿・中国・四国地方の火山活動	46
九州地方の火山活動	47
沖縄地方の火山活動	51
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	52
● 世界の主な地震	56
● 世界の主な火山活動	57
● 付録	
1. 震度1以上を観測した地震の表	58
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	79
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	80
4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震	81
5. 緊急地震速報の提供状況	82

● 日本及びその周辺での主な地震活動

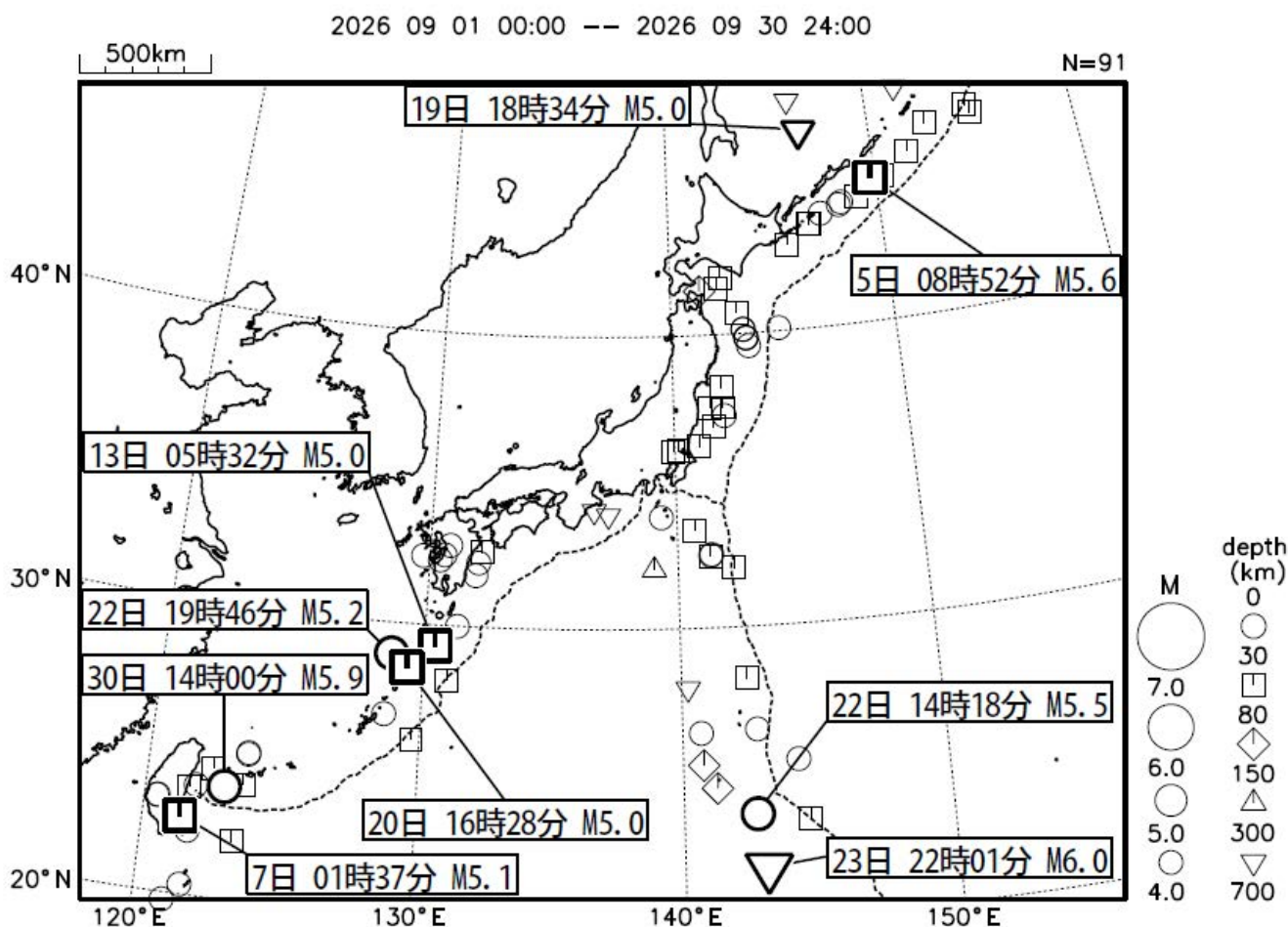


図1 令和8年9月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

（図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。）

令和8年（2026年）9月に日本国内で震度4以上を観測した地震は3回（8月は13回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は91回（8月は106回）であった（図1）。

9月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。9月中に震度5弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった（8月は震度5弱以上を観測した地震は2回、津波を観測した地震はなかった）。

（注）震度1以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合がある。

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和8年9月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分		震央地名	M	Mw (注4)	M H S T (注5)				最大震度・被害状況等（注6、注7）	掲載 ページ
1	9 16	6 9	熊本県天草・芦北地方	4.0	—	・	・	S	・	4：熊本県 水俣市陣内＊ 水俣市牧ノ内＊	4、13 ～16
	9 26	10 31	熊本県熊本地方	4.6	—	・	・	S	・	4：熊本県 益城町宮園＊ 熊本東区佐土原＊ 熊本南區城南町＊ など1県5地点	
2	9 17	0 7	茨城県南部	4.9	4.7	・	・	・	・	3：群馬県 館林市上三林町＊ 千葉県 柏市柏＊ 茨城県 土浦市常名 など6県43地点	9
3	9 20	16 28	奄美大島近海	5.0	5.1	・	・	・	・	3：鹿児島県 奄美市名瀬矢之脇町 喜界町滝川 宇検村湯湾＊ など1県5地点	17
4	9 23	22 1	マリアナ諸島	6.0	—	M	・	・	・		21
5	9 29	4 45	茨城県南部	4.9	5.0	・	・	S	・	4：茨城県 坂東市馬立＊ 埼玉県 春日部市粕壁＊ さいたま南區別所＊ など2県8地点	4、10
6	9 30	14 0	与那国島近海	5.9	5.9	・	・	・	・	3：沖縄県 与那国町役場＊	19

- （注1）主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸 M4.5以上かつ震度3、④海域 M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。
- （注2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- （注3）空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- （注4）Mw欄の「—」はMwが求められていないことを示す。
- （注5）M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- （注6）最大震度の観測点名にある＊印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。
- （注7）一連の地震活動で被害が発生した場合、その被害は代表的な地震（一連の地震活動の中で最大の震度を観測した地震や最大の津波を観測した地震など）にまとめて記載している。

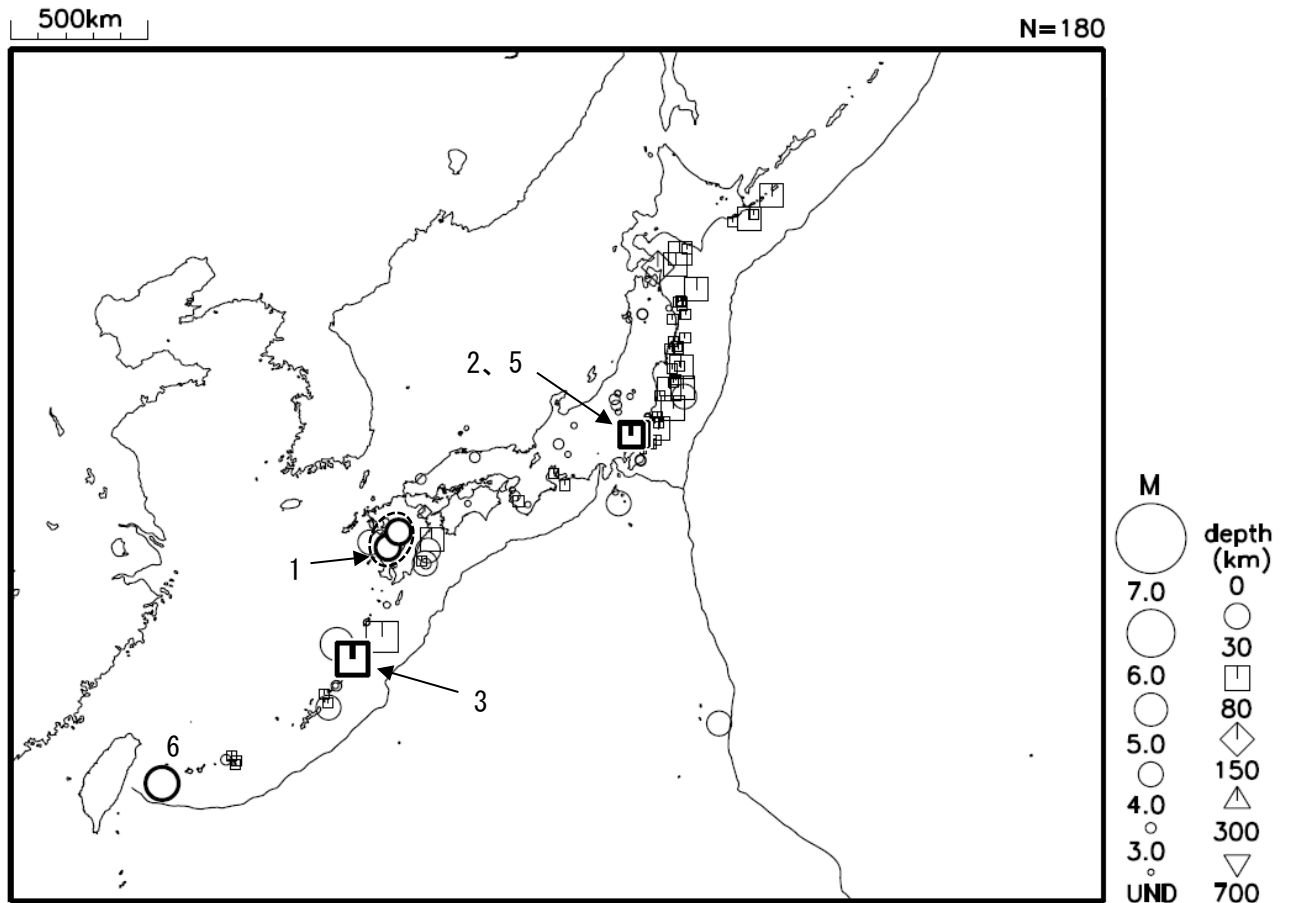


図2 令和8年9月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

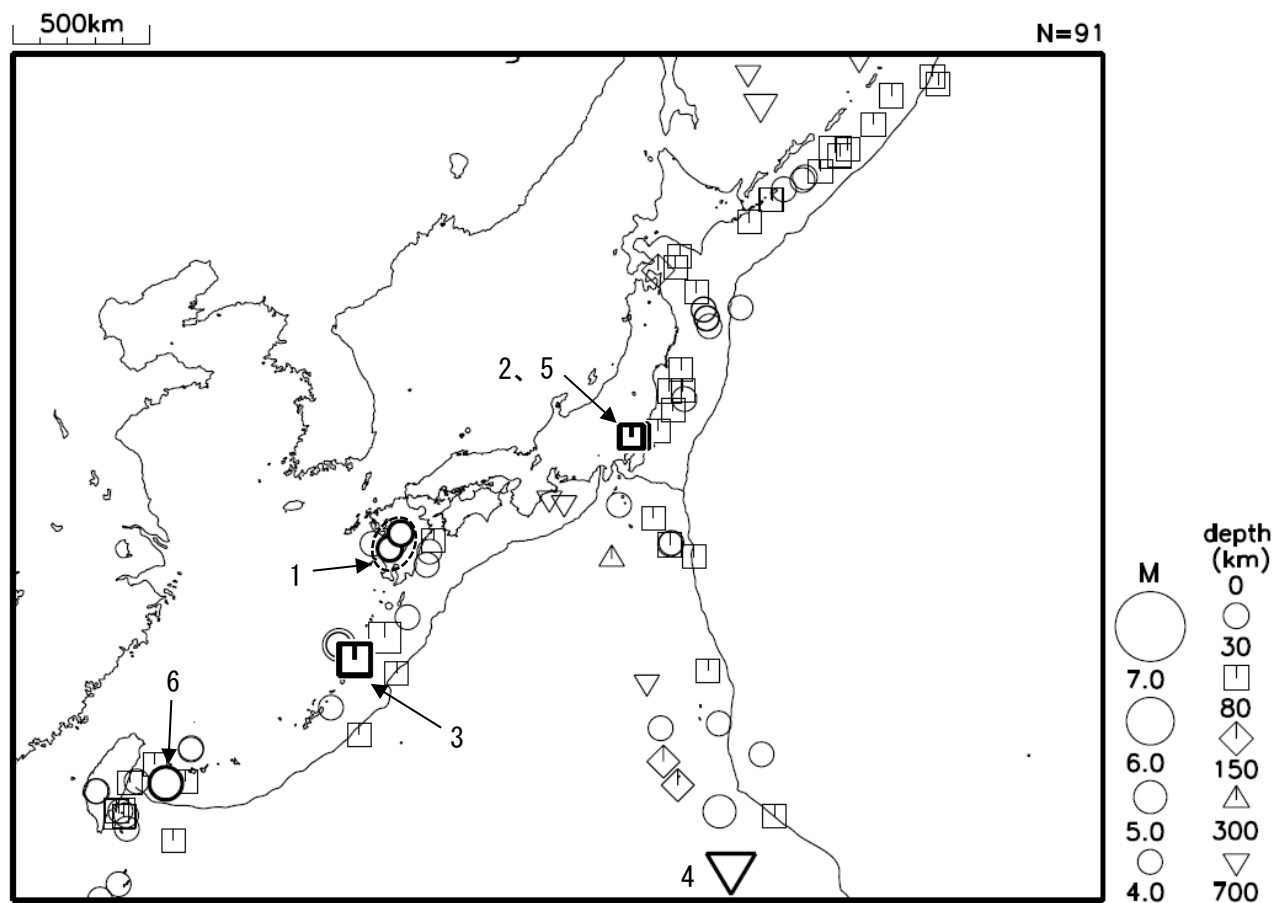
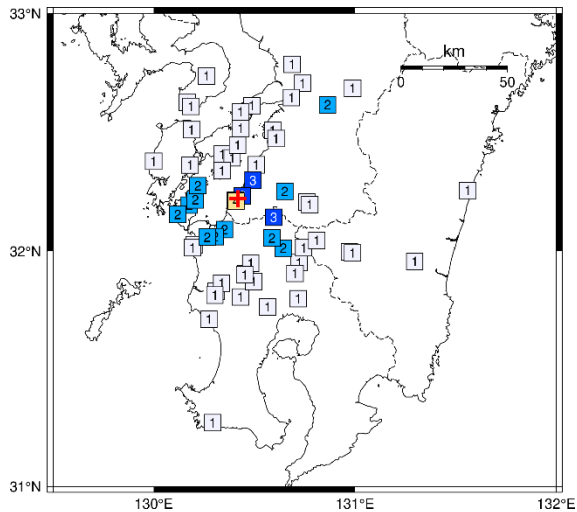
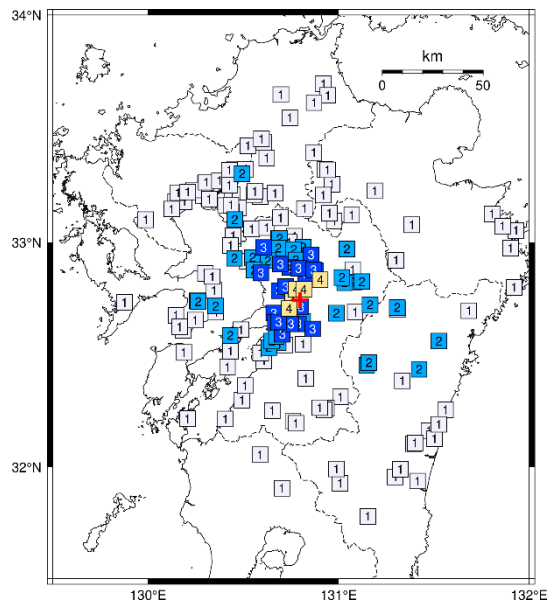


図3 令和8年9月に発生した M4.0 以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

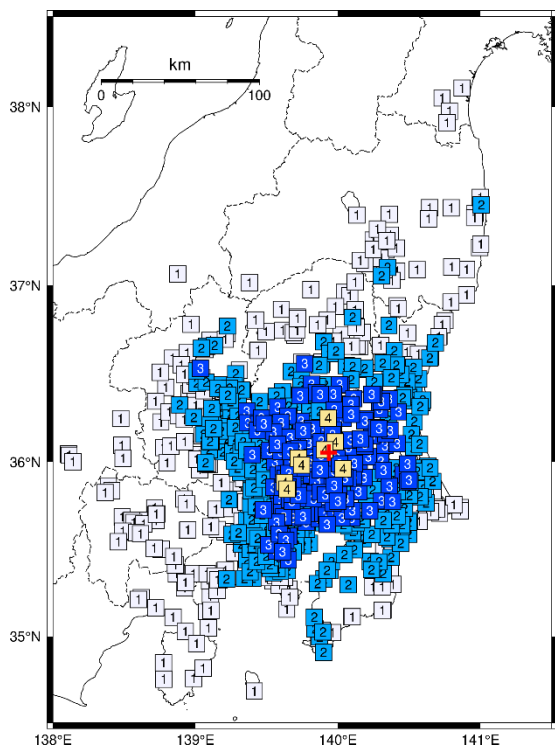
1 9月16日06時09分 熊本県天草・芦北地方
(M4.0、深さ4km、最大震度4)



1 9月26日10時31分 熊本県熊本地方
(M4.6、深さ8km、最大震度4)



5 9月29日04時45分 茨城県南部
(M4.9、深さ46km、最大震度4)



震度分布図 凡例	
4	震度 4
3	震度 3
2	震度 2
1	震度 1

図 4 震度分布図

（各図の左上の数字は表 1、図 2、図 3 の番号に対応する。赤の+印又は黒の+印は震央を示す）

※その他の地震の震度分布図については、気象庁 HP の震度データベース
(<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

○北海道地方の地震活動

2026/09/01 00:00 ~ 2026/09/30 24:00

N=2452

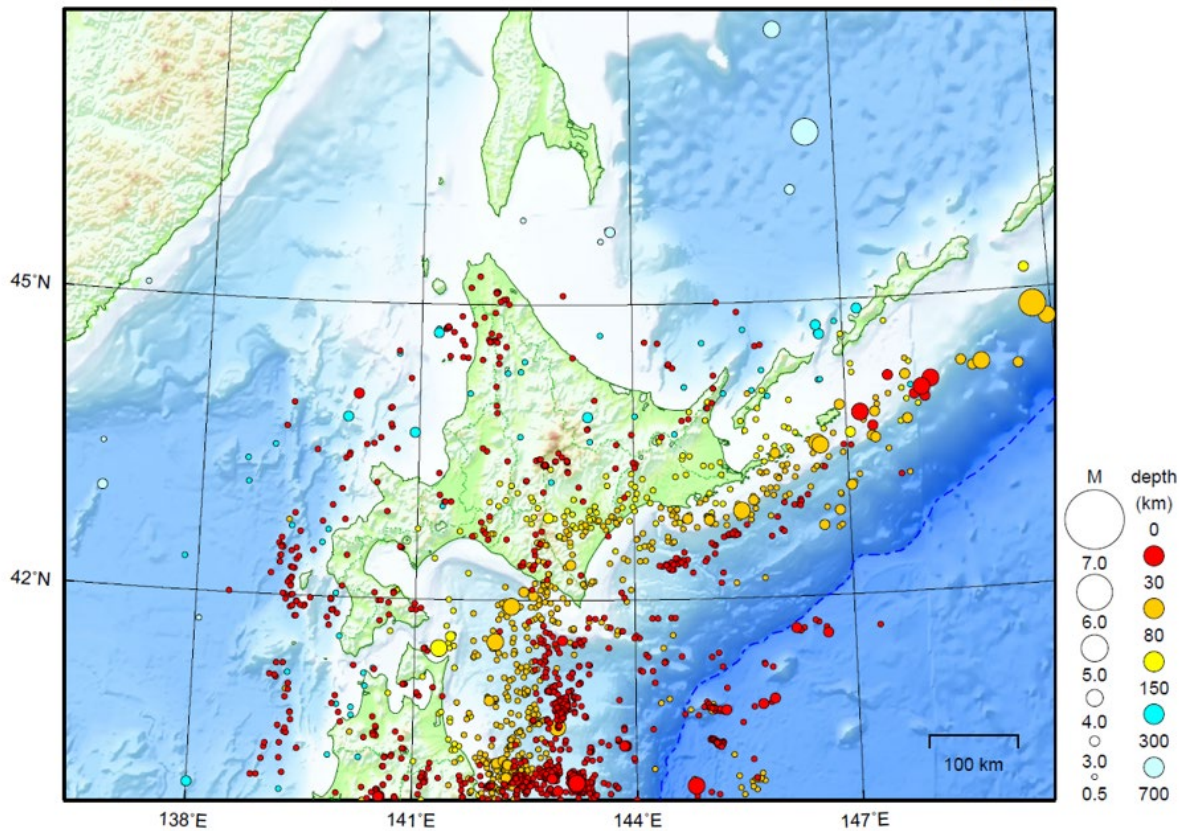


図5 北海道地方の震央分布図（2026年9月1日～9月30日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

[概況]

9月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は9回（8月は32回）であった。

9月中、特に目立った活動はなかった。

○東北地方の地震活動

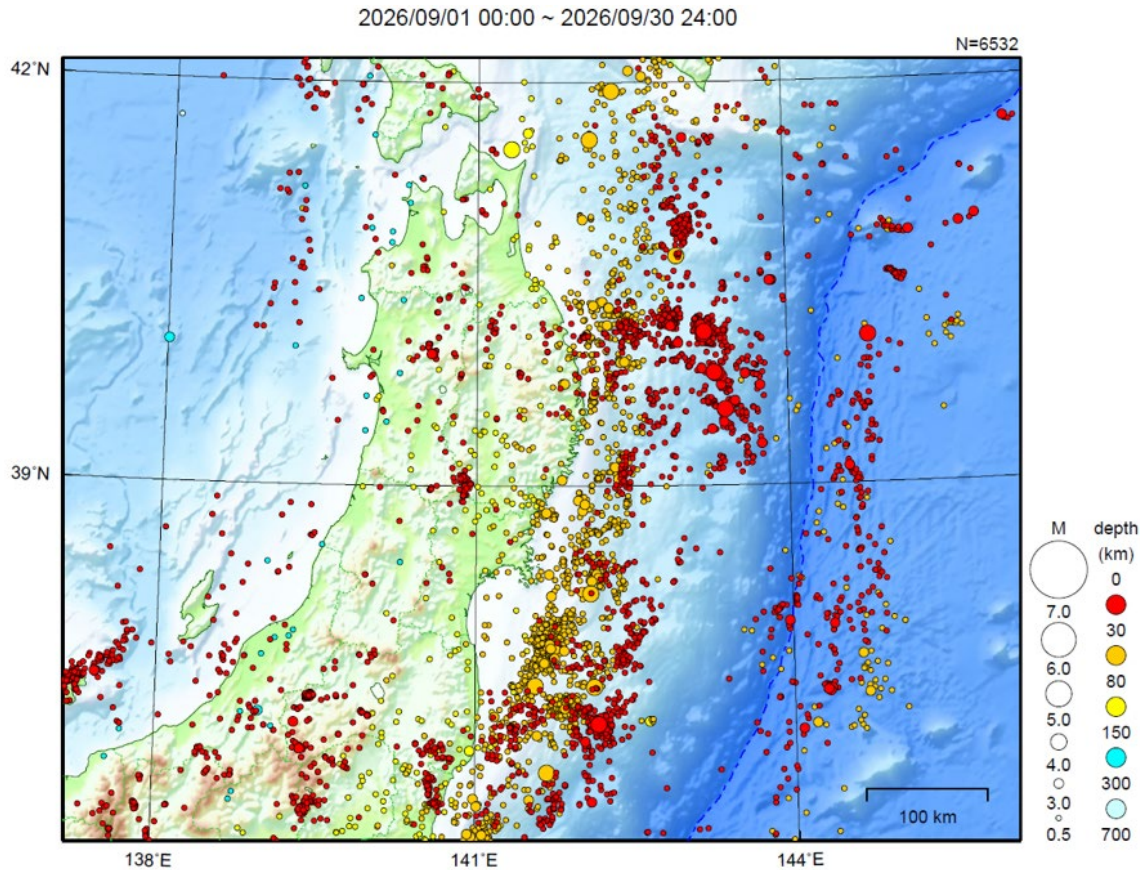


図6 東北地方の震央分布図（2026年9月1日～9月30日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

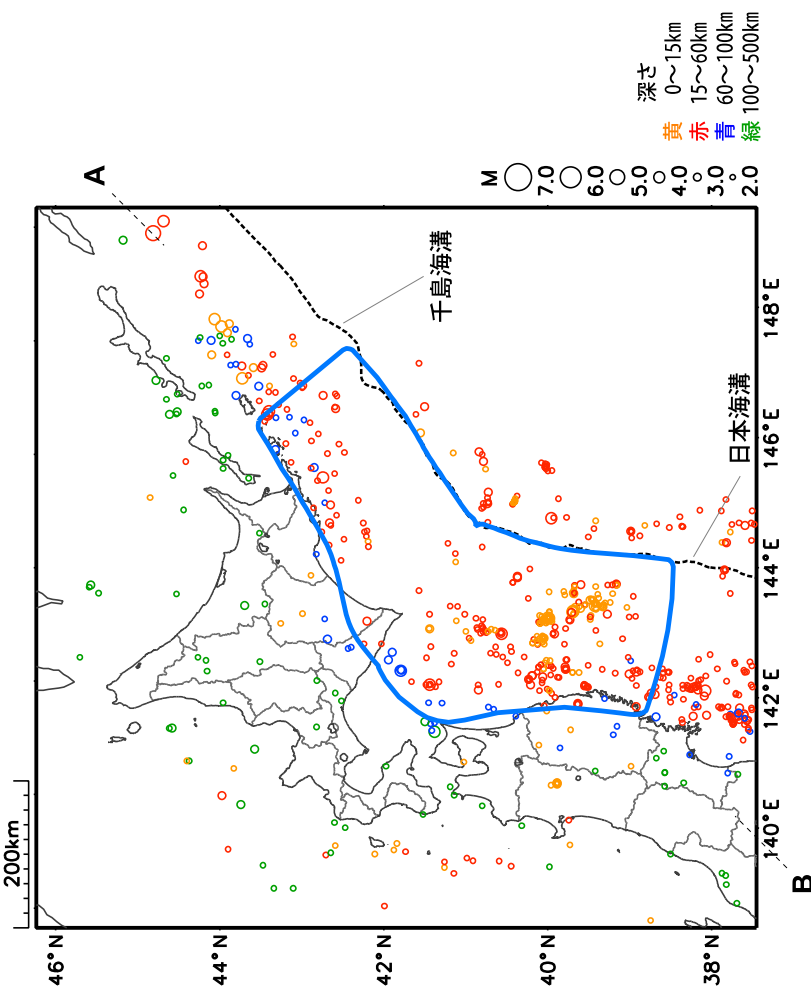
[概況]

9月に東北地方で震度1以上を観測した地震は39回（8月は49回）であった。
9月中、特に目立った活動はなかった。

最近の千島海溝・日本海溝周辺の地震活動

2026年9月1日～9月30日

震央分布図 (2026年9月1日～9月30日、M $\geq$ 2.0、深さ0～500km)



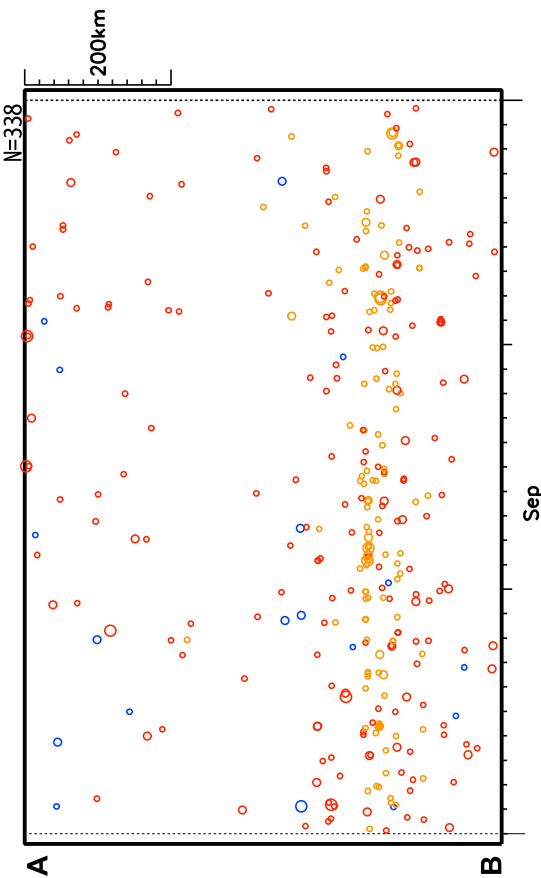
青の実線は千島海溝・日本海溝沿いの巨大地震の想定震源域のうちの「十勝・根室沖」及び「日高・三陸沖」の領域です。震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがあります。

[主な地震活動]

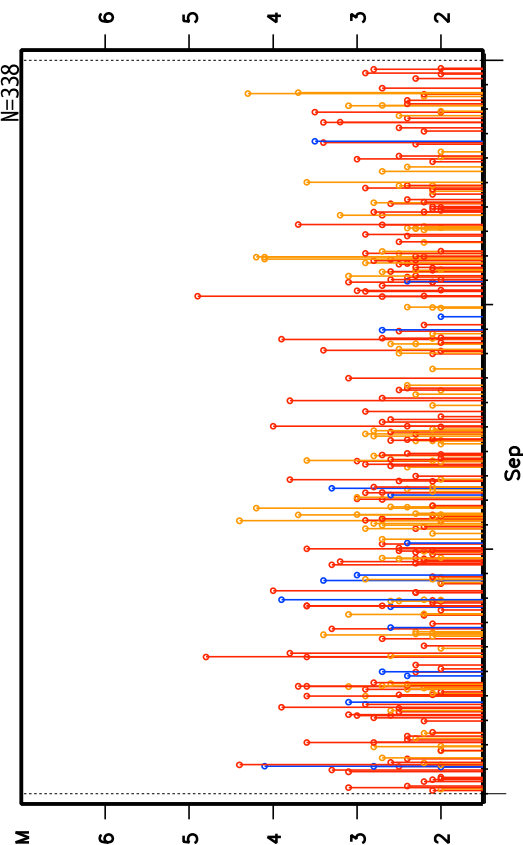
- ・上図青色領域内で発生したM5.0以上の地震 (最大5つ)
- ・近接して発生した地震については、最大規模の地震のみ記載

ー 特に目立った活動はありませんでしたー

時空間分布図 (左図青色領域内: A-B投影)



地震活動経過図 (左図青色領域内)



○関東・中部地方の地震活動

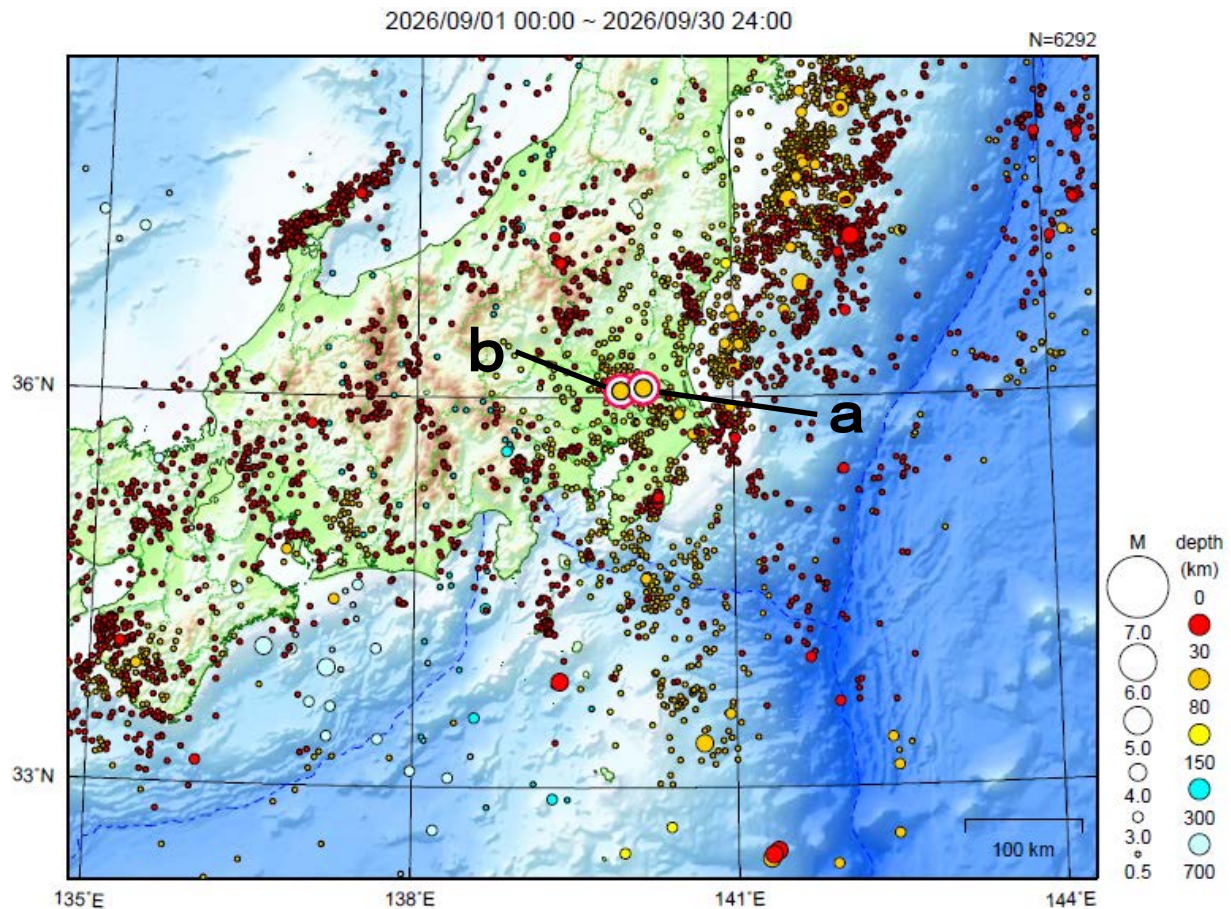


図 7 関東・中部地方の震央分布図（2026 年 9 月 1 日～9 月 30 日、 $M \geq 0.5$ ）

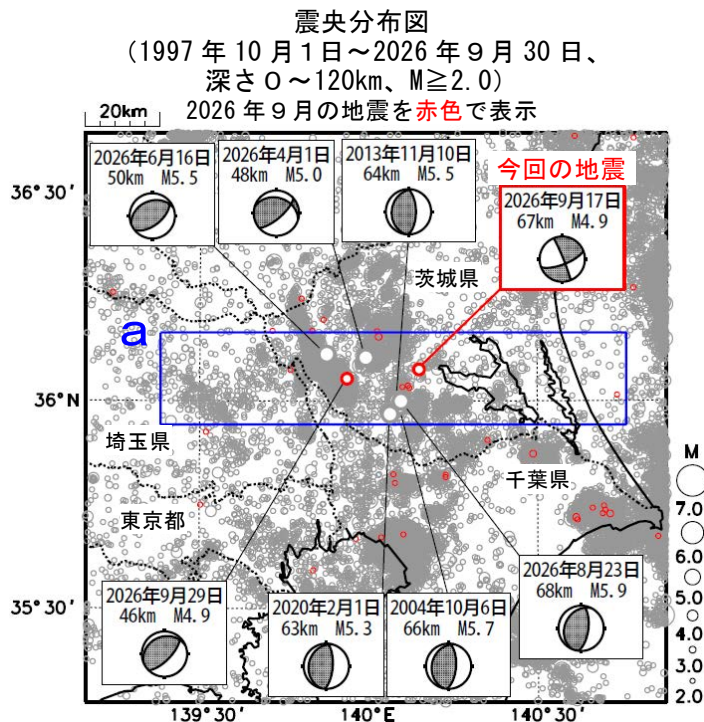
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

[概況]

9 月に関東・中部地方で震度 1 以上を観測した地震は 33 回（8 月は 43 回）であった。
9 月中の主な活動は次のとおりである。

- a 17 日 00 時 07 分に茨城県南部の深さ 67km で $M4.9$ の地震が発生し、関東地方で震度 3 を観測したほか、東北地方南部から中部地方にかけて及び伊豆諸島で震度 2～1 を観測した（p. 9 参照）。
- b 29 日 04 時 45 分に茨城県南部の深さ 46km で $M4.9$ の地震が発生し、茨城県と埼玉県で震度 4 を観測したほか、東北地方南部から中部地方にかけて及び伊豆諸島で震度 3～1 を観測した（p. 4、10 参照）。

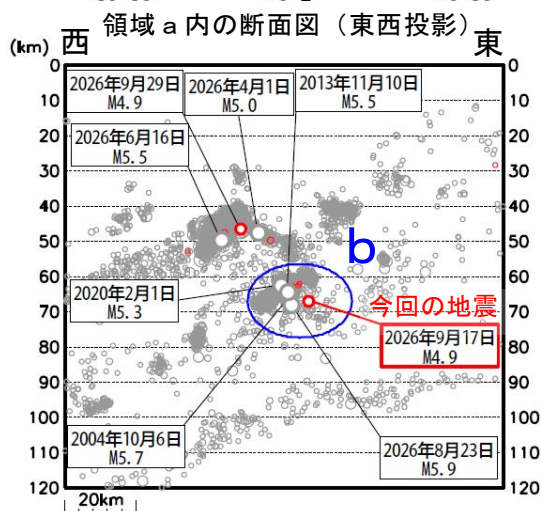
9月17日 茨城県南部の地震



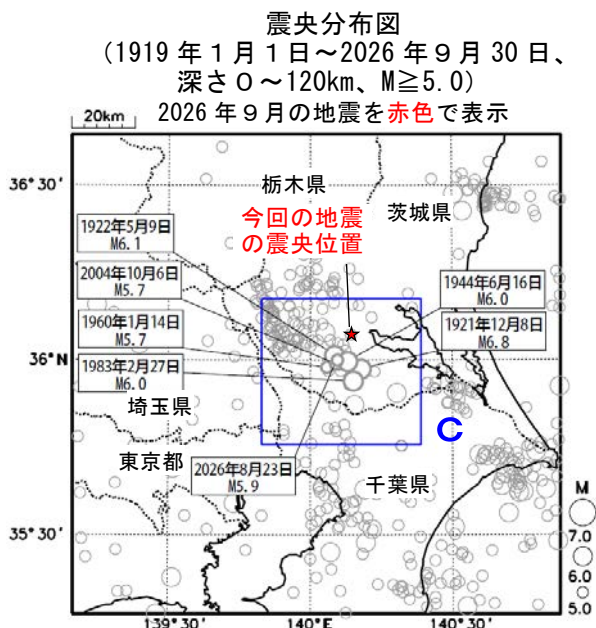
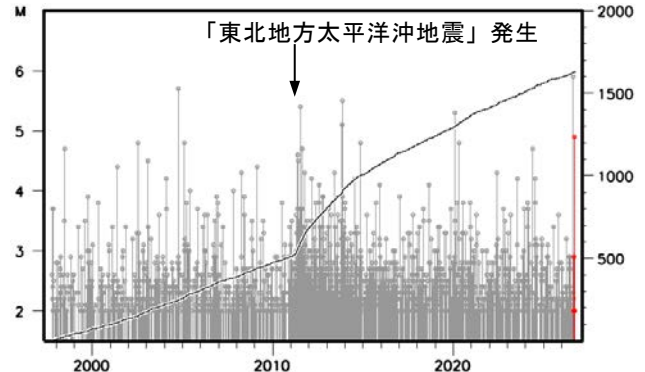
2026年9月17日00時07分に茨城県南部の深さ67kmでM4.9の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）はM4.0以上の地震が時々発生しており、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）発生以降は、より地震活動が活発となった。2026年8月23日にはM5.9の地震（最大震度5弱）が発生し、負傷者38人などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

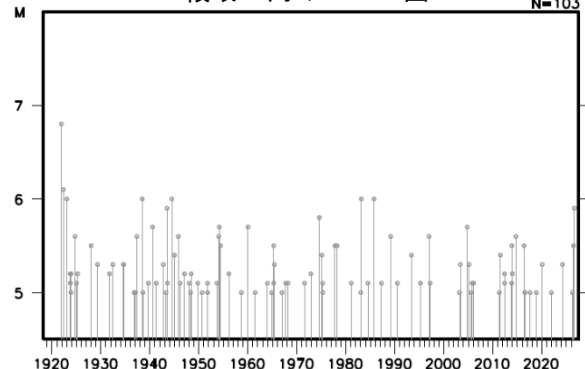
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震が時々発生している。



領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

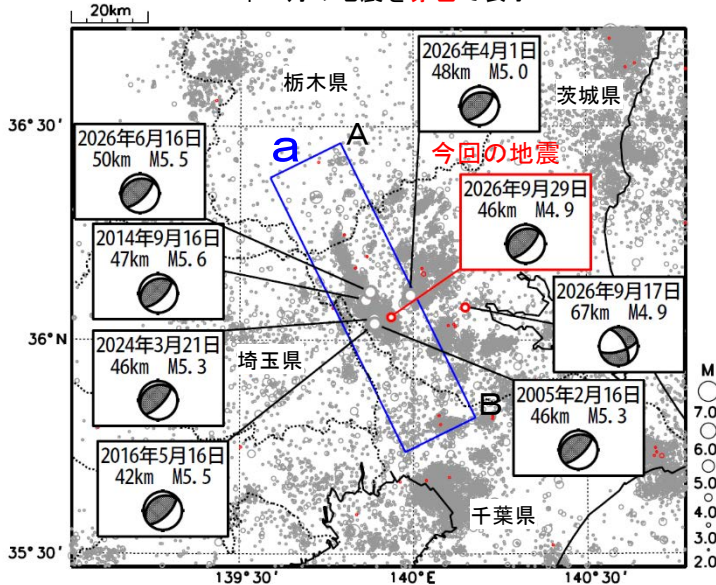


9月29日 茨城県南部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2026年9月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 2.0$)

2026年9月の地震を赤色で表示

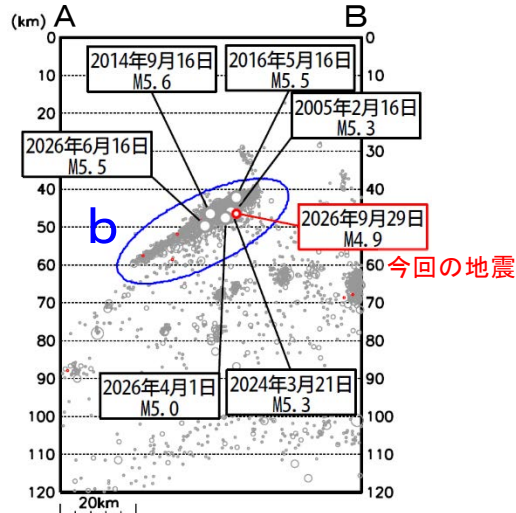


2026年9月29日04時45分に茨城県南部の深さ46kmで $M 4.9$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

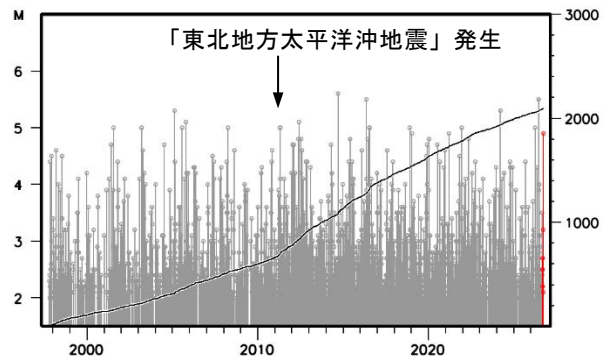
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）は $M 5.0$ 以上の地震が時々発生しており、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）発生以降は、より地震活動が活発となった。2014年9月16日には $M 5.6$ の地震（最大震度5弱）が発生し、負傷者9人などの被害を生じた（被害は総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。

領域a内の断面図（A－B投影）



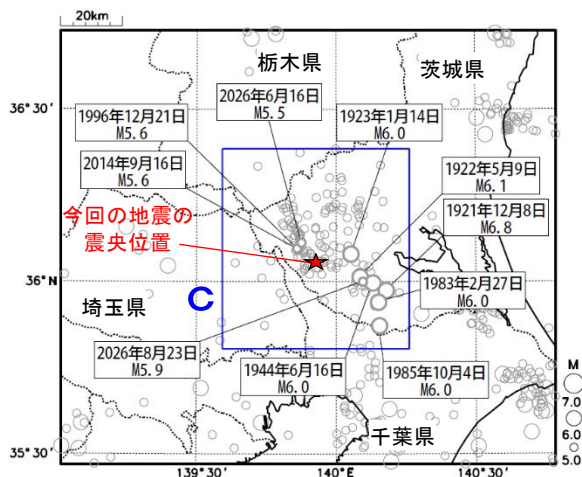
領域b内のM－T図及び回数積算図



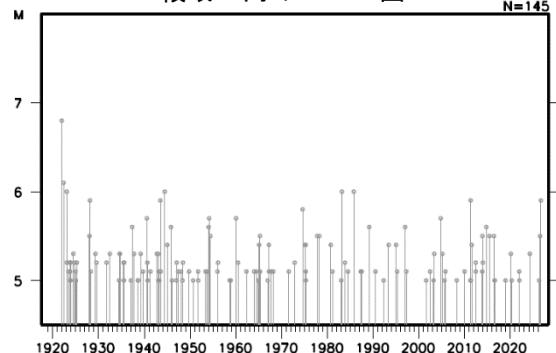
震央分布図

(1919年1月1日～2026年9月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)

2026年9月の地震を赤色で表示



領域c内のM－T図



○近畿・中国・四国地方の地震活動

2026/09/01 00:00 ~ 2026/09/30 24:00

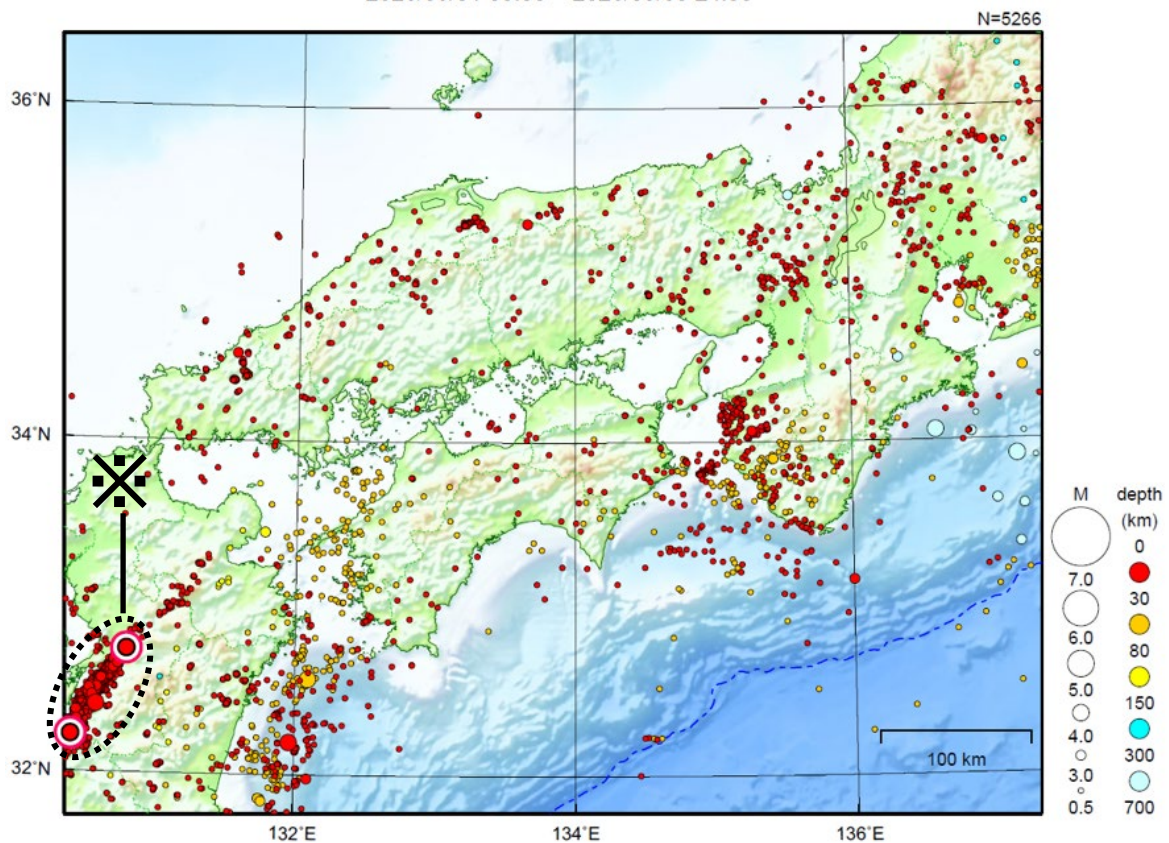


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2026年9月1日～9月30日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

[概況]

9月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は7回（8月は21回）であった。
9月中、特に目立った活動はなかった。

※ 九州地方の地震活動を参照（p. 4、13～16参照）。

○九州地方の地震活動

2026/09/01 00:00 ~ 2026/09/30 24:00

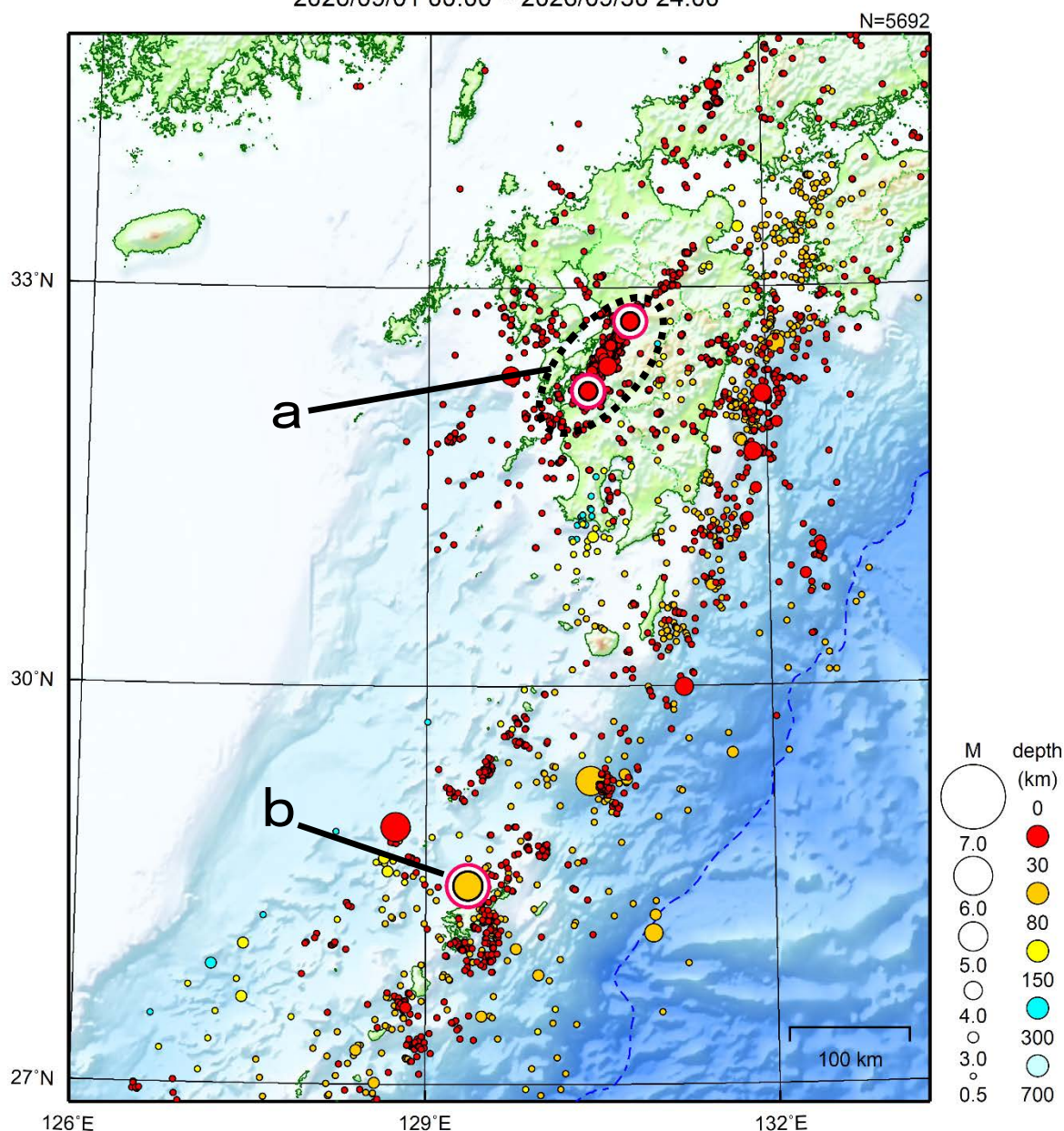


図 9 九州地方の震央分布図（2026 年 9 月 1 日～9 月 30 日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

[概況]

9 月に九州地方で震度 1 以上を観測した地震は 97 回^(注)（8 月は 327 回）であった。9 月中の主な活動は次のとおりである。

- a 「令和 8 年熊本地震」の地震活動は、地震の発生数は平常時と比べて多い状態が継続しているが、大局的には緩やかに減少している。9 月中に震度 1 以上を観測した地震が 79 回^(注)（震度 4：2 回、震度 3：4 回、震度 2：19 回、震度 1：54 回）発生した。このうち最大規模の地震は、26 日 10 時 31 分に発生した M4.6 の地震（深さ 8 km）で、熊本県で震度 4 を観測したほか、九州地方で震度 3～1 を観測した（p. 4、13～16 参照）。
- b 20 日 16 時 28 分に奄美大島近海の深さ 66km で M5.0 の地震が発生し、鹿児島県奄美群島で震度 3 を観測したほか、鹿児島県で震度 2～1 を観測した（p. 17 参照）。

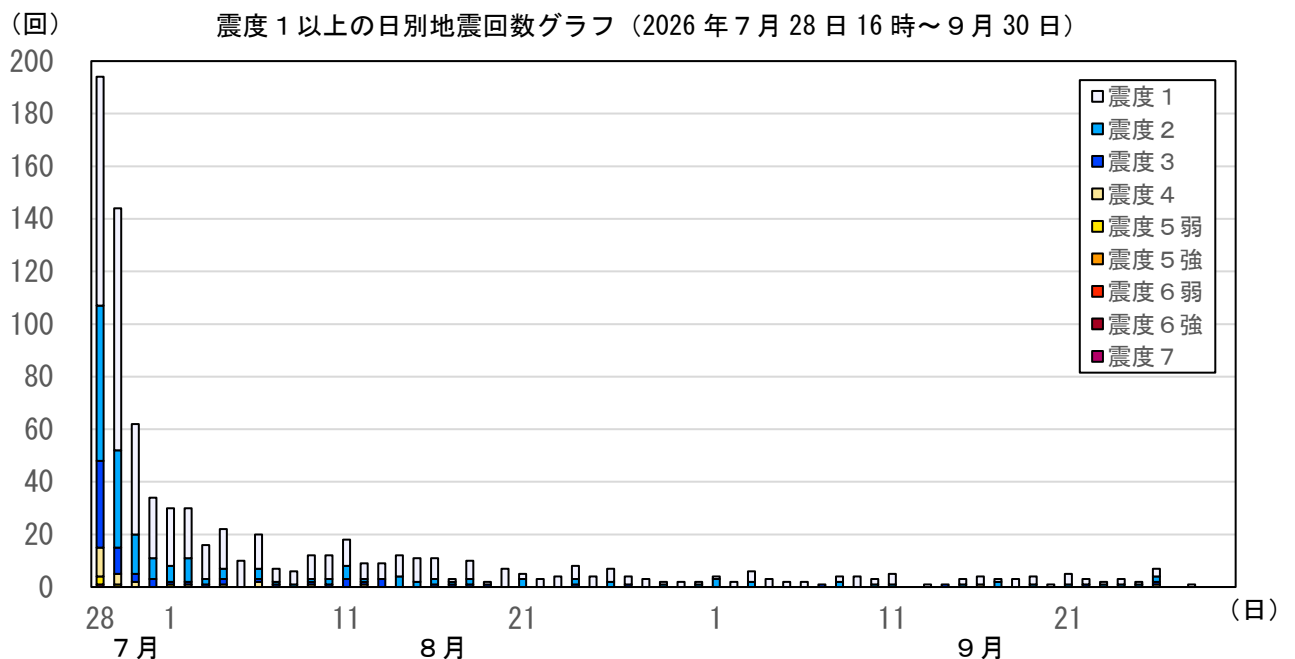
（注）掲載している値は後日の精査で変更する場合があります。

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

「令和8年熊本地震」の最大震度別地震回数表

期間	最大震度別回数									合計	累計
	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7		
7月28日-31日	244	119	49	17	4	0	0	0	1	434	434
8月1日-31日	216	56	22	6	1	0	0	0	0	301	735
9月1日	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4	739
9月2日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	741
9月3日	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6	747
9月4日	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	750
9月5日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	752
9月6日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	754
9月7日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	755
9月8日	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4	759
9月9日	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	763
9月10日	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	766
9月11日	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	771
9月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	771
9月13日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	772
9月14日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	773
9月15日	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	776
9月16日	3	0	0	1	0	0	0	0	0	4	780
9月17日	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3	783
9月18日	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	786
9月19日	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	790
9月20日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	791
9月21日	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	796
9月22日	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3	799
9月23日	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	801
9月24日	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	804
9月25日	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	806
9月26日	3	2	1	1	0	0	0	0	0	7	813
9月27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	813
9月28日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	814
9月29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	814
9月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	814
合計	514	194	75	25	5	0	0	0	1		814

※この資料は速報値であり、後日の調査で変更されることがある。



令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

震央分布図

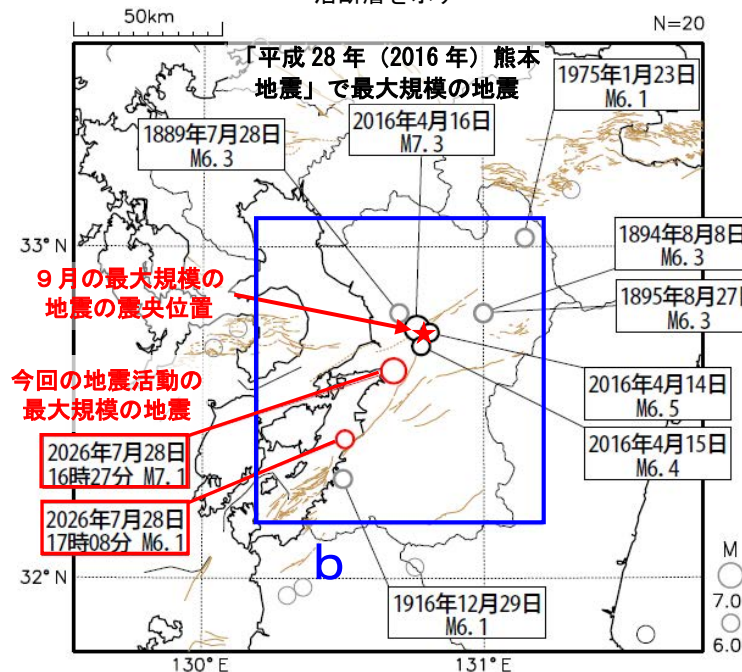
(1885 年 1 月 1 日～2026 年 9 月 30 日、
深さ 0～50km、 $M \geq 6.0$)

2016 年 4 月 14 日 21 時より前に発生した地震を灰色○

2016 年 4 月 14 日 21 時以降に発生した地震を黒色○、

2026 年 7 月 28 日 16 時以降に発生した地震を赤色○で表示

茶色の実線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す



(震源要素は、1885 年～1918 年は茅野・宇津
(2001)、宇津 (1982, 1985) による※)

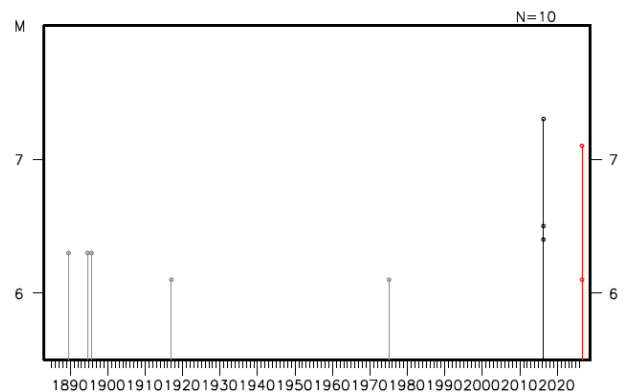
※宇津徳治（1982）：日本付近の M6.0 以上の地震および被害地震の表：1885 年～1980 年，震研彙報，57，401-463.

宇津徳治 (1985): 日本付近の M6.0 以上の地震および被害地震の表: 1885 年~1980 年 (訂正と追加), 震研彙報, 60, 639-642.

茅野一郎・宇津徳治（2001）：日本の主な地震の表，「地震の事典」第2版，朝倉書店，657pp.

1885 年以降の活動をみると、今回の地震活動域の周辺（領域 b）では M6.0 以上の地震が今回の地震活動を含めて 10 回発生している。1889 年 7 月 28 日に発生した M6.3 の地震により、死者 19 人、負傷者 53 人、家屋全倒 234 棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

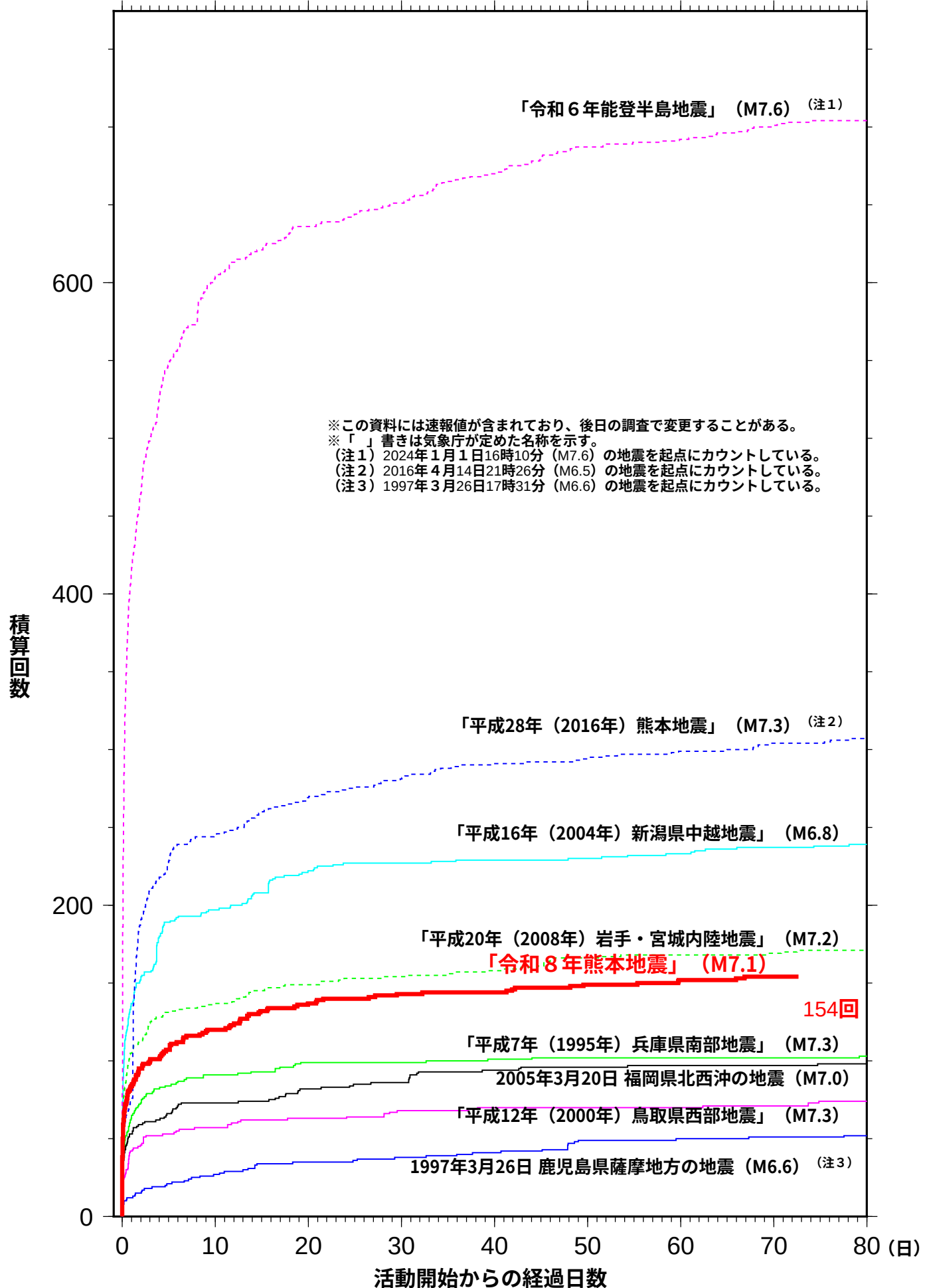
領域 b 内の M-T 図



地殻内で発生した主な地震活動の地震回数比較（マグニチュード3.5以上）

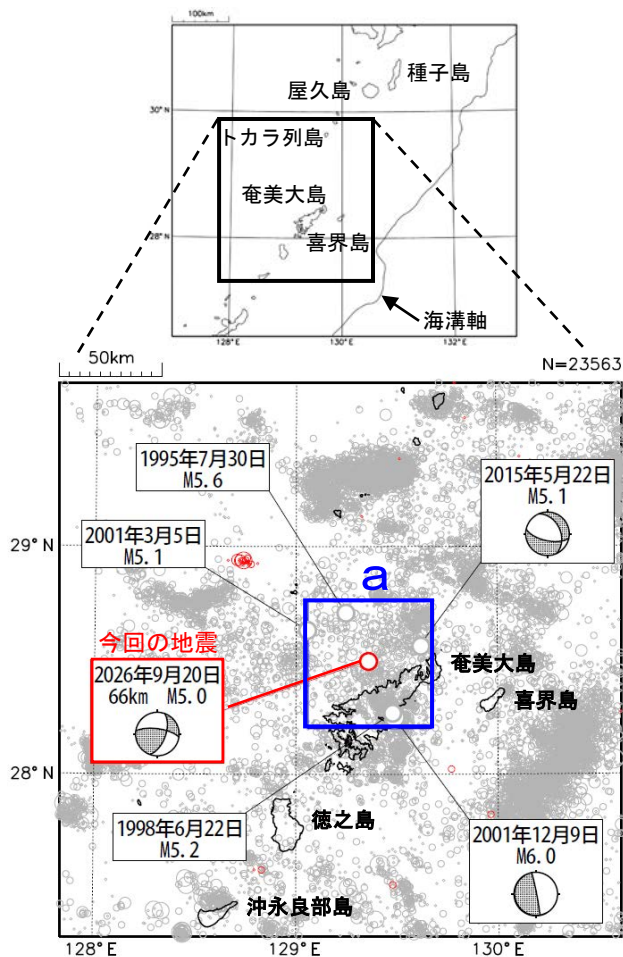
（回）

2026年10月09日08時00分現在



9月20日 奄美大島近海の地震

震央分布図
(1994年10月1日～2026年9月30日、
深さ0～90km、 $M \geq 2.5$)
2026年9月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構はCMT解

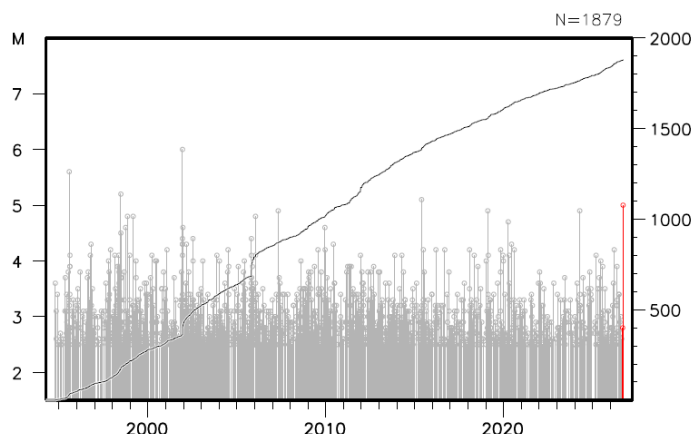


2026年9月20日16時28分に奄美大島近海の深さ66kmでM5.0の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、北北西－南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

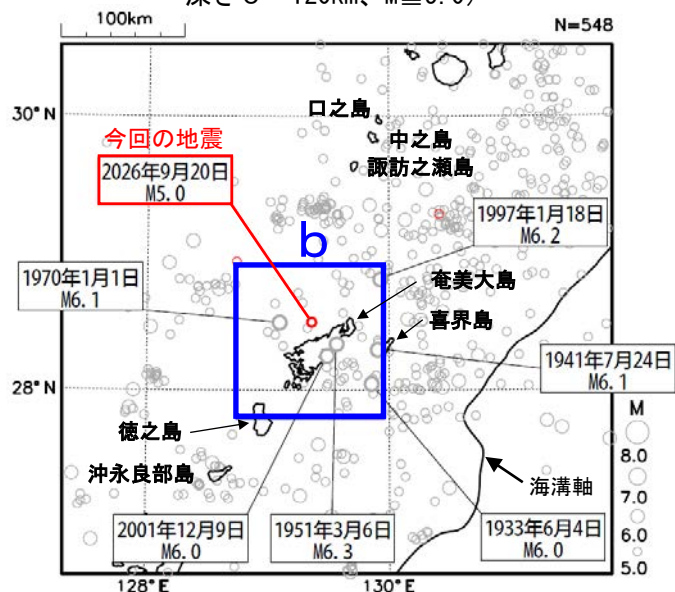
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.0以上の地震が今回の地震を含め6回発生している。2001年12月9日に発生したM6.0の地震（最大震度5強）では、住家一部損壊1棟などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）ではM6.0以上の地震が6回発生している。1970年1月1日に発生したM6.1の地震（最大震度5）では、負傷者5人、住家一部破損1,462棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

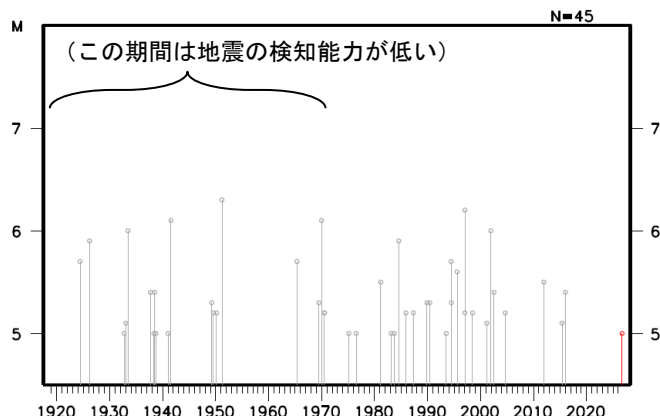
領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2026年9月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)



領域b内のM-T図



○沖縄地方の地震活動

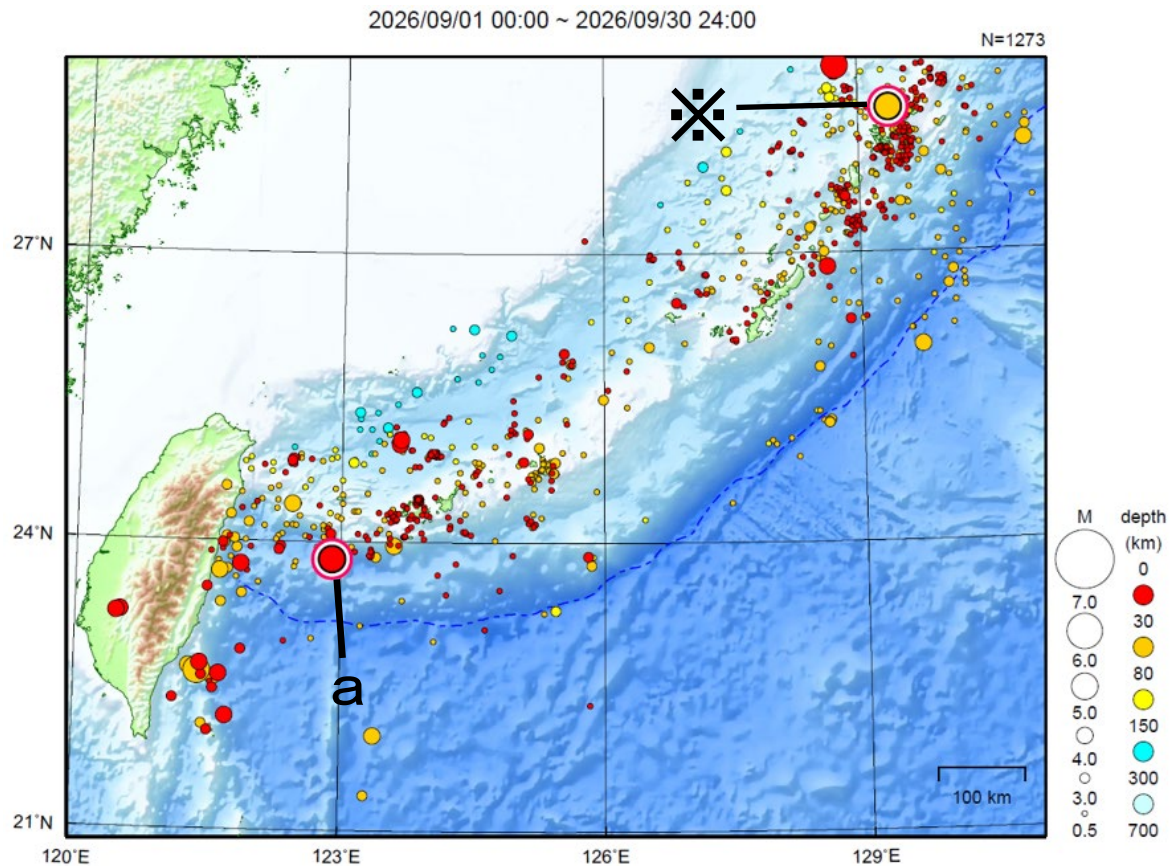


図 10 沖縄地方の震央分布図（2026 年 9 月 1 日～9 月 30 日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

〔概況〕

9 月に沖縄地方で震度 1 以上を観測した地震は 6 回（8 月は 13 回）であった。
9 月中の主な活動は次のとおりである。

- a 30 日 14 時 00 分に与那国島近海の深さ 20km で $M5.9$ の地震が発生し、沖縄県与那国町で震度 3 を観測したほか、多良間島から与那国島にかけて震度 2～1 を観測した（p. 19 参照）。

※ 九州地方の地震活動を参照（p. 17 参照）。

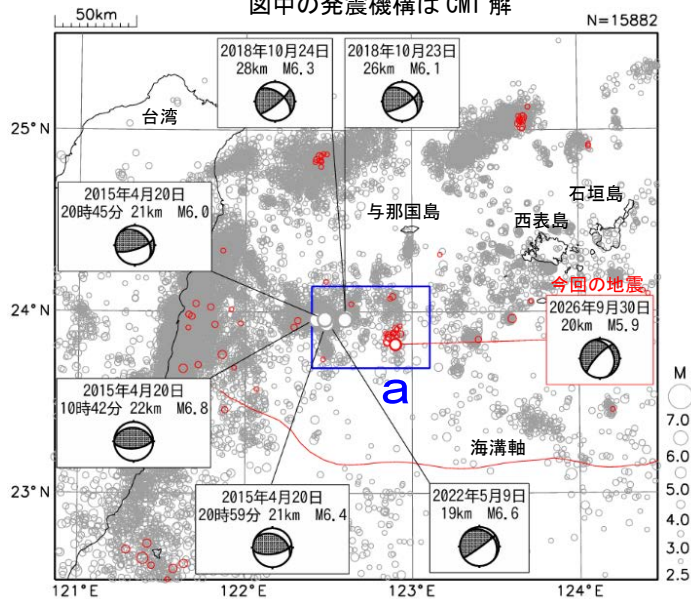
9月30日 与那国島近海の地震

震央分布図

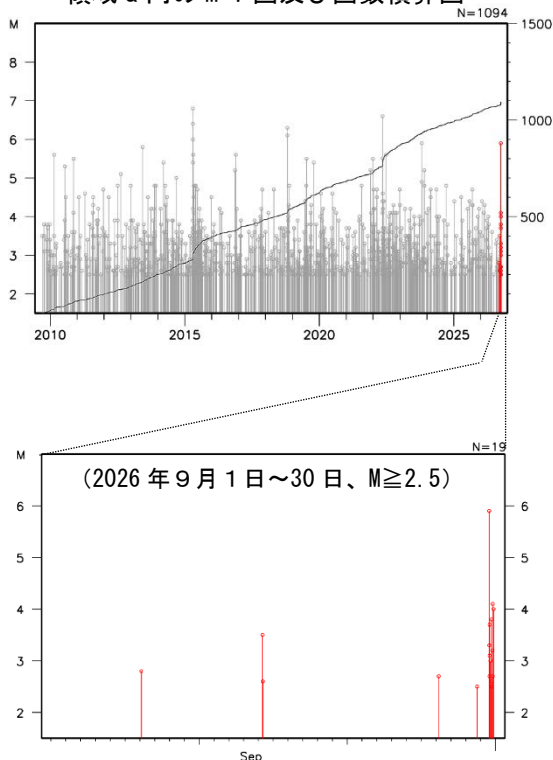
(2009年9月1日～2026年9月30日、
深さ0～50km、 $M \geq 2.5$)

2026年9月の地震を赤色で表示

図中の発震機構はCMT解

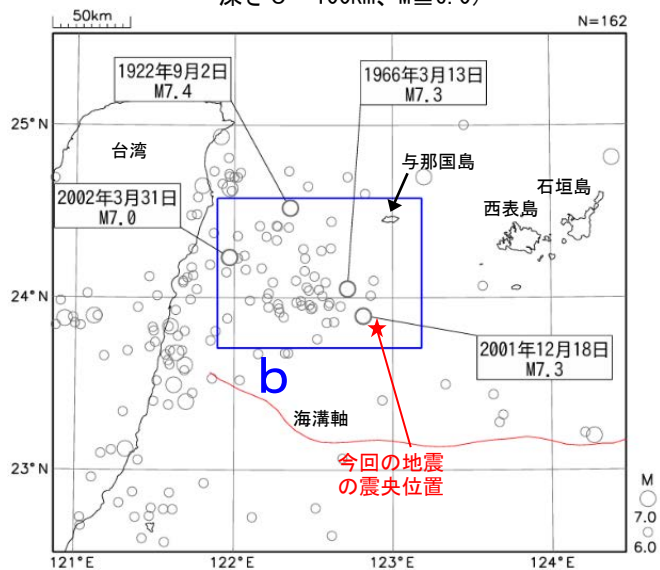


領域a内のM-T図及び回数積算図

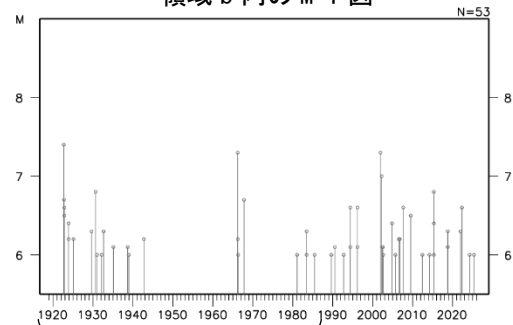


震央分布図

(1919年1月1日～2026年9月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)



領域b内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)

2026年9月30日14時00分に与那国島近海の深さ20kmで $M 5.9$ の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は北北西—南南東方向に圧力軸を持つ型であった。

2009年9月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。2015年4月20日10時42分に $M 6.8$ の地震(最大震度4)が発生した。また、2018年10月23日13時34分 $M 6.1$ の地震(最大震度3)が発生し、翌24日01時04分に $M 6.3$ の地震(最大震度3)が発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、 $M 7.0$ 以上の地震が4回発生している。1966年3月13日に発生した $M 7.3$ の地震(最大震度5)では、与那国島で死者2人、家屋全壊1棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。2001年12月18日に発生した $M 7.3$ の地震(最大震度4)では、与那国島で12cm、石垣島で4cmの津波を観測している。

○その他の地域の地震活動

2026/09/01 00:00 ~ 2026/09/30 24:00

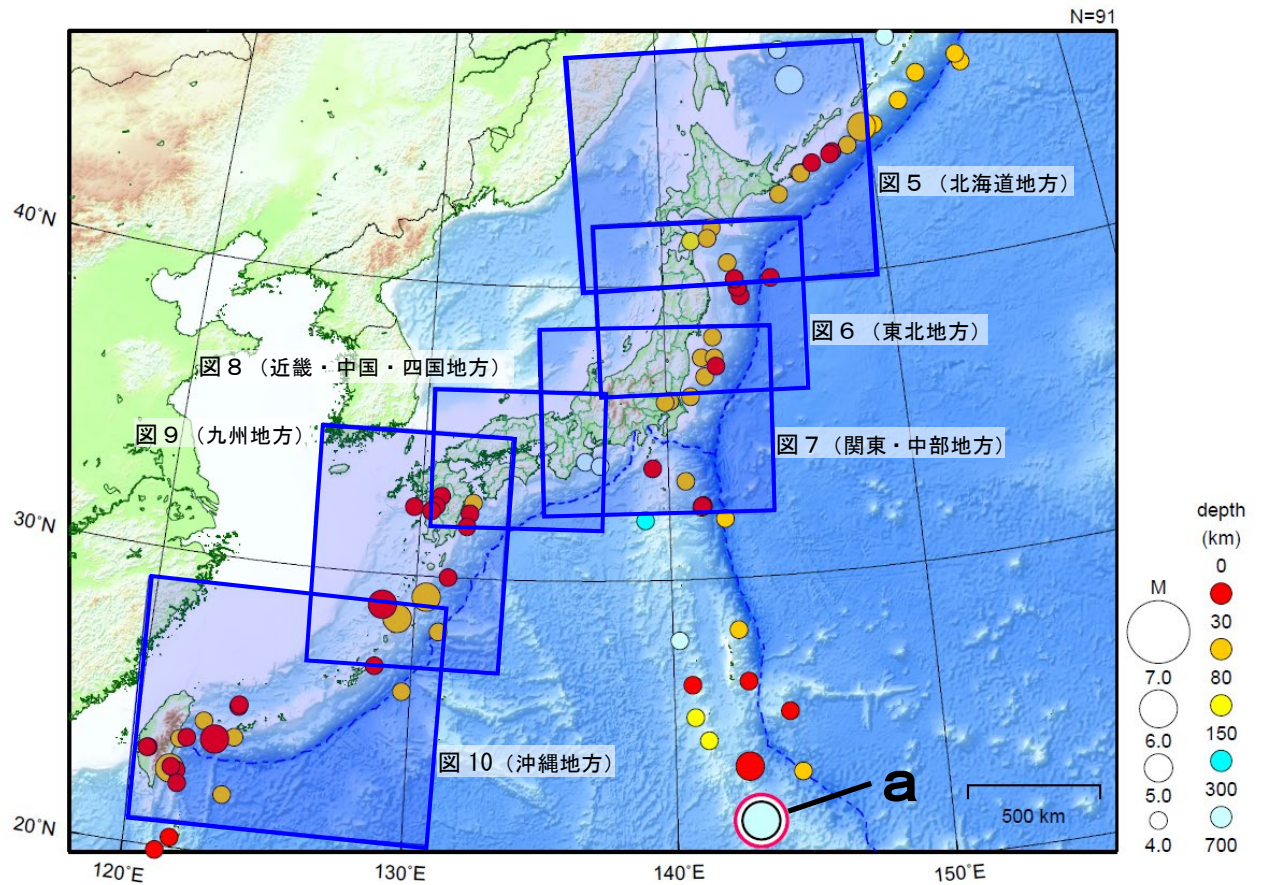


図11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2026年9月1日～9月30日、 $M \geq 4.0$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

[概況]

9月に日本周辺で発生したM6.0以上の地震は1回（8月は1回）。

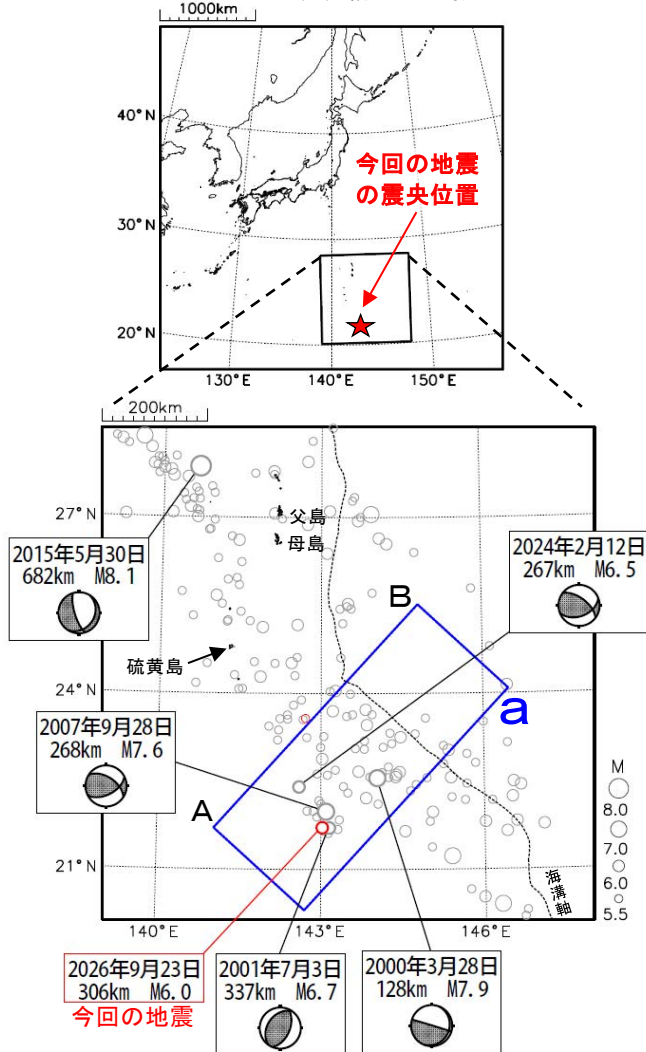
9月中の主な活動は次のとおりである。

- a 23日22時01分にマリアナ諸島の深さ306kmでM6.0の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生した（p. 21参照）。

9月23日 マリアナ諸島の地震

震央分布図

(2000年1月1日～2026年9月30日、
深さ0～700km、 $M \geq 5.5$)
2026年9月の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解

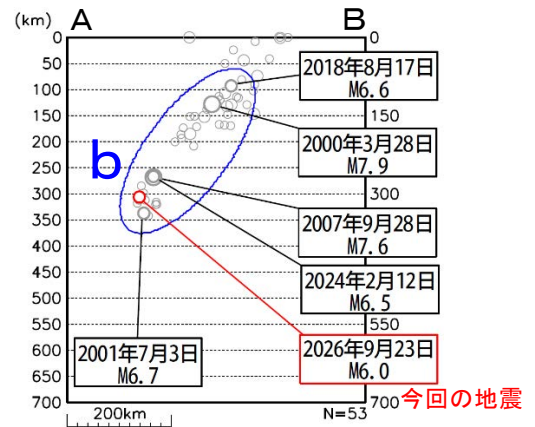


2026年9月23日22時01分にマリアナ諸島の深さ306kmでM6.0の地震（日本国内で震度1以上を観測した地点はなし）が発生した。

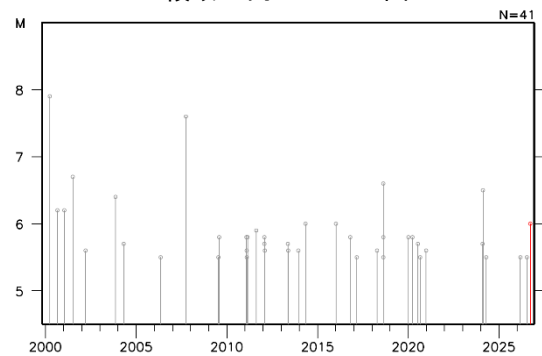
2000年1月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、M7.5以上の地震が時々発生している。2000年3月28日の地震（M7.9）では、小笠原村父島で最大震度3を観測したほか、東北地方を中心に震度2～1を観測している。

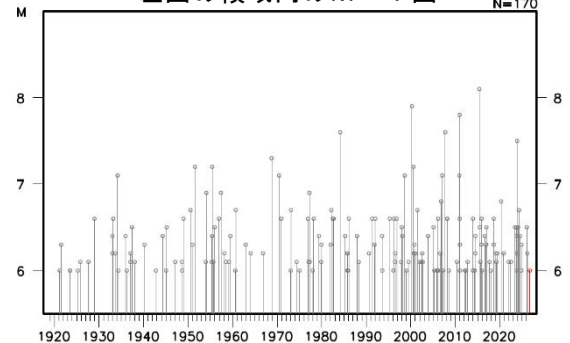
領域a内の断面図（A－B投影）



領域b内のM－T図

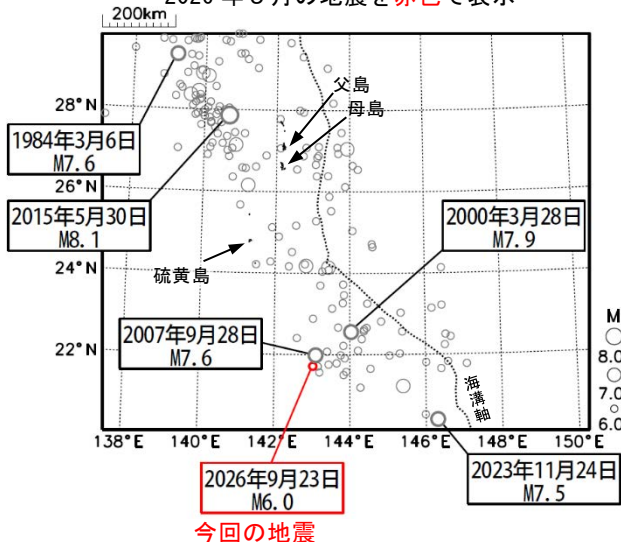


左図の領域内のM－T図



震央分布図

(1919年1月1日～2026年9月30日、
深さ0～700km、 $M \geq 6.0$)
2026年9月の地震を赤色で表示



● 南海トラフ周辺の地殻活動

気象庁は、第110回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を開催し、令和8年10月7日に「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した^(注)。これに関連する概要資料をp.24に掲載する。

(注) <https://www.jma.go.jp/jma/press/hantei.html>

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時^(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

(注) 南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率は高い（詳細は「南海トラフの地震活動の長期評価（第二版一部改訂）」参照）と評価されており、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

1. 地震の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

- （1）四国東部：8月21日から9月3日、9月6日から9月8日
- （2）東海：9月3日から9月4日
- （3）四国中部：9月17日から9月24日
- （4）四国西部：9月27日から継続中
- （5）東海：10月2日から継続中

これらとは別にプレート境界付近で浅部超低周波地震を観測しています。

- （6）日向灘及びその周辺域：8月中旬から9月上旬

2. 地殻変動の観測状況

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）から（5）の深部低周波地震（微動）とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しています。周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られています。

GNSS観測によると、2022年初頭から、静岡県西部から愛知県東部にかけて、それまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。

（長期的な地殻変動）

GNSS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

3. 地殻活動の評価

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）から（5）の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2022年初頭からの静岡県西部から愛知県東部にかけての地殻変動は、渥美半島周辺から浜名湖周辺にかけてのプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。この長期的ゆっくりすべりは、すべりの中心が渥美半島周辺から、浜名湖の東側に移動しています。

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、及び長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

上記（6）の浅部超低周波地震は従来からも観測されてきた現象で、これまでの観測結果や研究成果から想定震源域のプレート境界浅部において発生したゆっくりすべりに起因する可能性があります。この現象の発生頻度・規模等発生様式については今後も観測・研究が必要です。

（長期的な地殻変動）

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

〔「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語〕

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊され则认为られている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約30km～40kmで発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

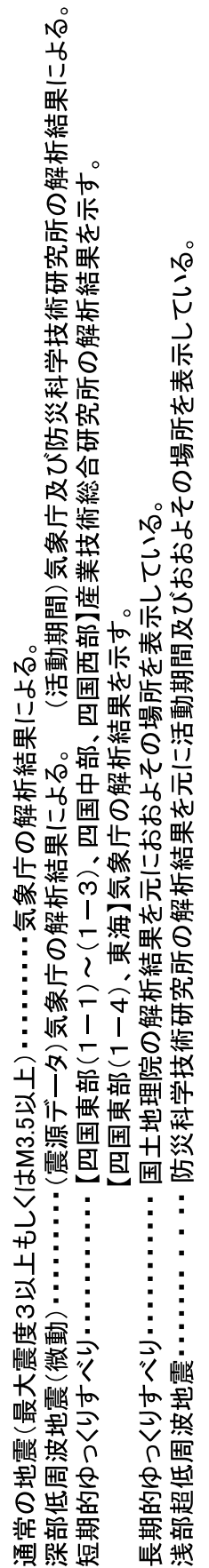
・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

注）地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

2026年9月1日～10月5日



※深部低周波地震(微動)及び短期的ゆっくりすべりは、8月20日以降のものを示す。

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和8年9月）

警報・予報事項に変更のあった火山は以下のとおりです。その他の火山では、警報・予報事項に変更はありません（令和8年10月8日14時現在）。

十勝岳では、12日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。

阿蘇山では、1日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

西之島では、8日に火口周辺警報及び火山現象に関する海上警報を発表し、火口周辺警報（入山危険）から火口周辺警報（火口周辺危険）に引き下げ、警戒が必要な範囲を山頂火口から1.5km から1kmに縮小しました。

北海道駒ヶ岳では、10月2日（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

口永良部島では、28日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

ベヨネース列岩では、10月8日（期間外）に噴火予報を発表して噴火警報（周辺海域警戒）を解除し、火山現象に関する海上警報を解除しました。

表1 令和8年10月8日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、十勝岳
	レベル2 （火口周辺規制）	雌阿寒岳、北海道駒ヶ岳、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、 薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	西之島※、硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	須美寿島※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山である ことに留意）	アトサヌプリ、大雪山、樽前山、倶多楽、有珠山、恵 山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、 秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達 太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（白 根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、浅間山、 新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、 富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、 神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、 九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、 霧島山（大幡池）、霧島山（御鉢）、口永良部島
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、 利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、 八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、 赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカン ダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、伊豆鳥島、 孺婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、 南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、 福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山 川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北 東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、 挾捉焼山、挾捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、 爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

本資料は、気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、同東北、北陸、関東、中部、九州各地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、東京科学大学、名古屋大学、京都大学、九州大学、

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

鹿児島大学、(国研)防災科学技術研究所、(国研)産業技術総合研究所、(国研)宇宙航空研究開発機構、北海道、(地独)北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所、青森県、東京都、神奈川県温泉地学研究所、新潟県、山梨県、長野県、岐阜県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村、(公財)阿蘇火山博物館、(公財)地震予知総合研究振興会及び機動的な調査観測・解析グループ(北海道大学、東京大学、防災科学技術研究所)のデータも利用して作成しています。((国研)は国立研究開発法人、(地独)は地方独立行政法人、(公財)は公益財団法人。)



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】（9月1日～30日）

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、警報・予報事項に変更はありません。

雌阿寒岳【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

3月16日以降、噴火は観測されていません。

ポンマチネシリ火口付近では、2025年9月12日の火山性微動の発生以降、同火口方向上がりの傾斜変動が継続しましたが、5月以降は火口方向下がりの変動に転じ、6月以降は火山性地震も概ね少なく経過しています。ただし、8月以降は時折わずかな傾斜変動や地震のやや増加が認められます。2025年9月以降、活発に推移していたポンマチネシリ96-1火口の噴煙活動は、5月頃以降、低下が認められています。引き続きやや活発な状態が続いています。

火山活動の活発な状態が続いており、ポンマチネシリ火口から約500mの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

ポンマチネシリ火口から約500mの範囲では、噴火に伴い弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体などの指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

十勝岳〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕←9月12日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げ

8月7日以降、噴火は観測されていません。

62-2 火口付近では、ここ数年にわたり噴煙・噴気が多く、高感度の監視カメラで発光現象が時々観測されるなど、活発な熱活動が続いています。3月以降、山体付近のやや深部の膨張を示す地殻変動が継続する中、62-2 火口付近及びその周辺の地震活動のやや活発化、火山ガス（二酸化硫黄）放出量の増加、62-2 火口付近の熱活動のさらなる高まりが観測され、7月下旬から8月上旬にかけては62-2 火口付近からごく小規模な噴火が複数回発生しています。

このような中、8月中旬から9月中旬にかけては、山体付近を震源とする振幅の大きな火山性地震の増加がみられ、火山活動がより高まった状態となっています。

62-2 火口から概ね3 km の範囲では、噴火に伴い弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体などの指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

北海道駒ヶ岳〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕←10月2日（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げ

23日以降、山頂火口原浅部を震源とする地震がやや増加するなど地震活動に高まりがみられ、26日からは山頂火口原方向が上がる傾斜変動が認められました。また、10月2日（期間外）には地震回数が明瞭に増加し、傾斜変動量の増大も観測されました。10月3日（期間外）には地震回数が減少し、傾斜変動も鈍化しましたが、引き続き緩やかな変動が継続しています。

火山活動が高まっており、山頂火口原内で小噴火が発生する可能性があります。

火口から概ね4 km の範囲では、噴火に伴い弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕←10月8日（期間外）に噴火警報（周辺海域）を解除、火山現象に関する海上警報を解除

ベヨネース列岩（明神礁）付近では、2023年1月に海上保安庁が実施した上空からの観測で変色水が確認されたことから、噴火警報（周辺海域）を発表しました。その後の観測では、2023年2月を最後に、変色水、浮遊物等の特異事象は確認されていません。

このことから、ベヨネース列岩の周辺海域に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、10月8日11時00分（期間外）に噴火警報（周辺海域）を解除し、噴火予報（活火山であることに留意）に引き下げました。併せて、火山現象に関する海上警報を解除しました。

噴火の兆候はありませんが、引き続き活火山であることに留意してください。

須美寿島〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められませんが、2024年7月以降、須美寿島周辺で変色水がほぼ継続して認められており、今後、海底噴火が発生する可能性があります。

須美寿島の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

2023年10月5日以降、噴火は確認されていません。また、西之島付近で周囲に比べて温度の高い領域は認められません。

これらのことから、西之島の火山活動は低下しており、山頂火口から概ね1.5 km の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと考えられます。

一方、海上保安庁が9月17日に実施した上空からの観測では、山頂火口内で噴気が確認されていることから、今後も、小規模な水蒸気噴火が発生する可能性があります。山頂火口から概ね1 km の範囲では引き続き警戒が必要です。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、島内及びその周辺海域で噴火は認められず、火山性地震はやや少ない状態で経過しました。長期的には島全体の隆起を示す地殻変動が認められ、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模

な噴火が時々発生していることから、従来から小規模な噴火がみられていた領域や沿岸では、小規模な噴火の発生に警戒してください。

福德岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、引き続き、変色水域が確認されています。活発な火山活動は継続しており、今後も噴火の可能性があります。

福德岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

阿蘇山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕←1日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引下げ

阿蘇山では、8月18日以降、火山性微動の振幅が低下した状態で経過しており、8月17日以降に実施した現地調査でも火山ガス（二酸化硫黄）の放出量に急激な増減は認められませんでした。これらのことから、中岳第一火口から1kmを超え、概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、9月1日16時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺警報）に引き下げました。

GNSS連続観測では、2026年5月頃から草千里を挟む基線及び広域の基線において、草千里付近の深部にあると考えられるマグマだまりへのマグマの蓄積を示唆する伸びが認められていましたが、8月頃から停滞しています。

火山性微動の振幅は概ね小さな状態で推移していますが、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量はやや多い状態で経過しており、火山活動は引き続き高まった状態であることから、中岳第一火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

新燃岳では、2025年9月8日以降噴火は観測されていません。

火口直下を震源とする火山性地震は9月上旬から中旬頃にかけて増加しやや多い状態となりましたが、その後減少し少ない状態で経過しています。

GNSS連続観測では、霧島山を挟む一部の基線で、霧島山深部の膨張を示すと考えられるわずかな伸びが認められていましたが、2025年12月中旬頃からは停滞しています。

一方、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が1日あたり数百トンの状態が継続していることから、火山活動は高まった状態で経過しています。弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2kmまで、火砕流が概ね1kmまで達する噴火が発生する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね2kmの範囲では警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

南岳山頂火口では、噴火¹⁾が94回発生し、爆発は発生しませんでした。噴煙は最高で火口縁上2,500mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で8合目（南岳山頂火口から約600m）まで達しました。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後も噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的に継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には噴煙活動や熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】 ←28日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ。

口永良部島では、7月中旬頃から山体の浅いところで地震活動が活発化し、下旬には火山性地震が多い状態となりましたが、8月上旬頃に減少し、その後特段の増加は認められません。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は少ない状態で、GNSS連続観測では、2023年11月以降、火山活動に伴う特段の変化は認められません。

これらのことから、新岳及び古岳の火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、28日11時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

なお、火山活動は低下していますが、山体の浅いところを震源とする火山性地震がやや多い状態で経過していますので、今後の火山情報に留意してください。

活火山であることから、新岳及び古岳の火口内では、火山灰等が噴出する可能性があります。また、新岳西側割れ目等の地熱域では、高温の噴気や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

御岳（おたけ）火口では、今期間、噴火は発生しませんでした。

GNSS連続観測では、2024年10月以降、島の西側におけるマグマの蓄積量の増加を示唆する変動が認められていましたが、2025年11月頃から停滞しています。火山性地震は、少ない状態で経過しています。

諏訪之瀬島では長期にわたり噴火を繰り返しています。御岳火口では夜間に火映を観測し、火口内の熱活動は引き続き高まった状態であると考えられ、火口周辺に大きな噴石が飛散する噴火が発生する可能性があります。

御岳火口中心から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

- 1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2025年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常） 2026年6月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2026年9月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2026年10月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
東北地方	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八甲田山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十和田	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2024年10月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2026年8月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	栗駒山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年9月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2025年8月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2026年5月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年1月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年1月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	浅間山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年8月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年11月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年6月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年8月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2026年5月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2022年5月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月12日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2025年3月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2026年1月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2026年3月4日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年2月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替 2022年6月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2025年1月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年5月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	新島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2025年6月17日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年7月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ペヨネース列岩	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意） 2023年1月26日噴火警報（周辺海域警戒） 2026年10月8日噴火予報（活火山であることに留意）
	須美寿島	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2024年9月19日噴火警報（周辺海域警戒）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険） 2019年12月5日火口周辺警報（入山危険） 2019年12月16日火口周辺警報（入山危険）切替 2020年12月18日火口周辺警報（入山危険）切替 2026年9月8日火口周辺警報（火口周辺危険）
	海徳海山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年8月23日噴火警報（周辺海域警戒） 2025年2月14日噴火予報（活火山であることに留意）
	噴火浅根	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月27日噴火警報（周辺海域警戒） 2023年9月21日噴火予報（活火山であることに留意）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒） 2021年8月16日噴火警報（周辺海域警戒）切替

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年3月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年3月29日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年4月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年8月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年5月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月9日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年10月13日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年10月20日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年2月24日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年3月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年1月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年4月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年5月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年7月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2025年7月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年7月25日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2026年6月21日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2026年8月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2026年9月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年7月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（大幡池）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2021年3月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常）

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山（新燃岳）（つづき）		2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年10月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2017年10月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年6月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年1月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年2月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年12月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年1月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月11日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年12月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年8月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年3月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2025年4月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2025年5月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年6月23日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2025年10月17日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	桜島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2022年7月24日噴火警報（レベル5、避難） 2022年7月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年3月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	薩摩硫黄島（つづき）		2019年11月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替
	口永良部島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年5月29日噴火警報（レベル5、避難） 2015年10月21日噴火警報（レベル5、避難）切替 2016年6月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2018年8月29日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年6月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年5月25日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年6月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年7月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2024年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年4月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2024年10月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年12月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年2月14日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2025年4月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年6月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2025年9月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年9月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2026年7月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2026年7月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2026年7月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2026年9月28日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月23日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月29日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年9月17日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年7月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年1月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年6月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年1月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2024年1月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替

注）特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（2）その他の活火山

以下の活火山（*印及び**印を除く）では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、*印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報（平常）を発表し、**印の活火山では、活火山として選定された後の2017年12月5日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンドナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注）2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

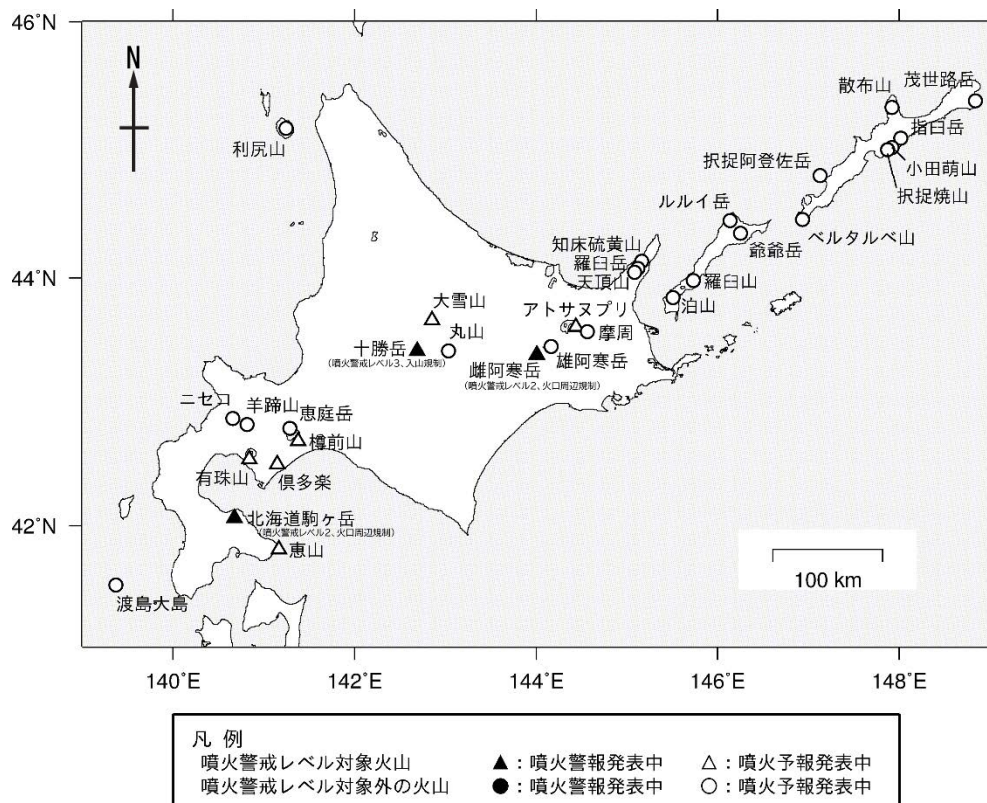
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和8年9月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和8年10月2日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	十勝岳
	レベル2 （火口周辺規制）	雌阿寒岳、北海道駒ヶ岳
噴火予報	レベル1 （活火山であることに 留意）	アトサヌプリ、大雪山、樽前山、倶多楽、有珠山、恵山
	活火山であることに留 意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻 山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、 指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、 ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所及び機動的な調査観測・解析グループ（北海道大学、東京大学、防災科学技術研究所）のデータも利用して作成しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（9月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。十勝岳では、9月12日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。また、北海道駒ヶ岳では、10月2日（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。その他の火山の予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

3月16日以降、噴火は観測されていません。

ポンマチネシリ火口付近では、2025年9月12日の火山性微動の発生以降、同火口方向上がりの傾斜変動が継続しましたが、5月以降は火口方向下がりの変動に転じ、6月以降は火山性地震も概ね少なく経過しています。ただし、8月以降は時折わずかな傾斜変動や地震のやや増加が認められます。2025年9月以降、活発に推移していたポンマチネシリ96-1火口の噴煙活動は、5月頃以降、低下が認められていますが、引き続きやや活発な状態が続いています。

火山活動の活発な状態が続いており、ポンマチネシリ火口から約500mの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

ポンマチネシリ火口から約500mの範囲では、噴火に伴い弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体などの指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕 ←9月12日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引上げ

8月7日以降、噴火は観測されていません。

62-2火口付近では、ここ数年にわたり噴煙・噴気が多く、高感度の監視カメラで発光現象が時々観測されるなど、活発な熱活動が続いています。3月以降、山体付近のやや深部の膨張を示す地殻変動が継続する中、62-2火口付近及びその周辺の地震活動のやや活発化、火山ガス（二酸化硫黄）放出量の増加、62-2火口付近の熱活動のさらなる高まりが観測され、7月下旬から8月上旬にかけては62-2火口付近からごく小規模な噴火が複数回発生しています。

このような中、8月中旬から9月中旬にかけては、山体付近を震源とする振幅の大きな火山性地震の増加がみられ、火山活動がより高まった状態となっています。

62-2火口から概ね3kmの範囲では、噴火に伴い弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体などの指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

なお、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

恵庭岳〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

羊蹄山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ニセコ〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕 ←10月2日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引上げ

23日以降、山頂火口原浅部を震源とする地震がやや増加するなど地震活動に高まりがみられ、26日からは山頂火口原方向が上がる傾斜変動が認められました。また、10月2日（期間外）には地震回数が明瞭に増加し、傾斜変動量の増大も観測されました。10月3日（期間外）には地震回数が減少し、傾斜変動も鈍化しましたが、引き続き緩やかな変動が継続しています。

火山活動が高まっており、山頂火口原内で小噴火が発生する可能性があります。

火口から概ね4 kmの範囲では、噴火に伴い弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

山頂火口原付近では、近年、GNSS 繰り返し観測で浅部のごくわずかな膨張を示すと考えられる変化がみられており、一時的な地震増加が時折認められていますが、今期間は低調に経過しました。各火口の噴気活動など熱活動は低調に推移しています。

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和8年9月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（9月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（9月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

2023年以降、なかのうみ中湖付近の深さ5km前後が震源と推定される火山性地震の発生頻度がやや高い状態であり、GNSS連続観測では、2023年前半から主に十和田湖を挟む東西の基線でわずかな変化が認められています。深部の地震活動がやや高い状態であるものの、火山活動は概ね静穏に経過しています。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

2024年以降、山体膨張を示す地殻変動や火山性地震の増加が観測される等、火山活動の高まりが認められましたが、2026年7月下旬以降は概ね静穏に経過しています。

想定火口内では、火山灰、火山ガス、熱水等が突発的に噴出する可能性があります。特に大地獄谷付近では、火山ガスの噴出や地熱の高まりがみられていますので注意が必要です。

火山活動に十分注意し、地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。



秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

山頂付近では、2017年9月以降、火山性地震の発生頻度がやや高い状態で推移しています。また、女^め岳^{だけ}付近では2015年頃まで地熱域の拡大が認められ、その後も熱活動のやや高い状態が続いていますが、その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

山体浅部における熱水活動が高まる傾向がわずかに認められますが、火山活動は概ね静穏に経過しています。火山ガスや噴気・地熱の活動は継続していますので、入山する際には注意してください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山性地震は2022年10月以前に比べて引き続きやや多い状態で経過していますが、その他の火山活動に特段の変化はなく、概ね静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

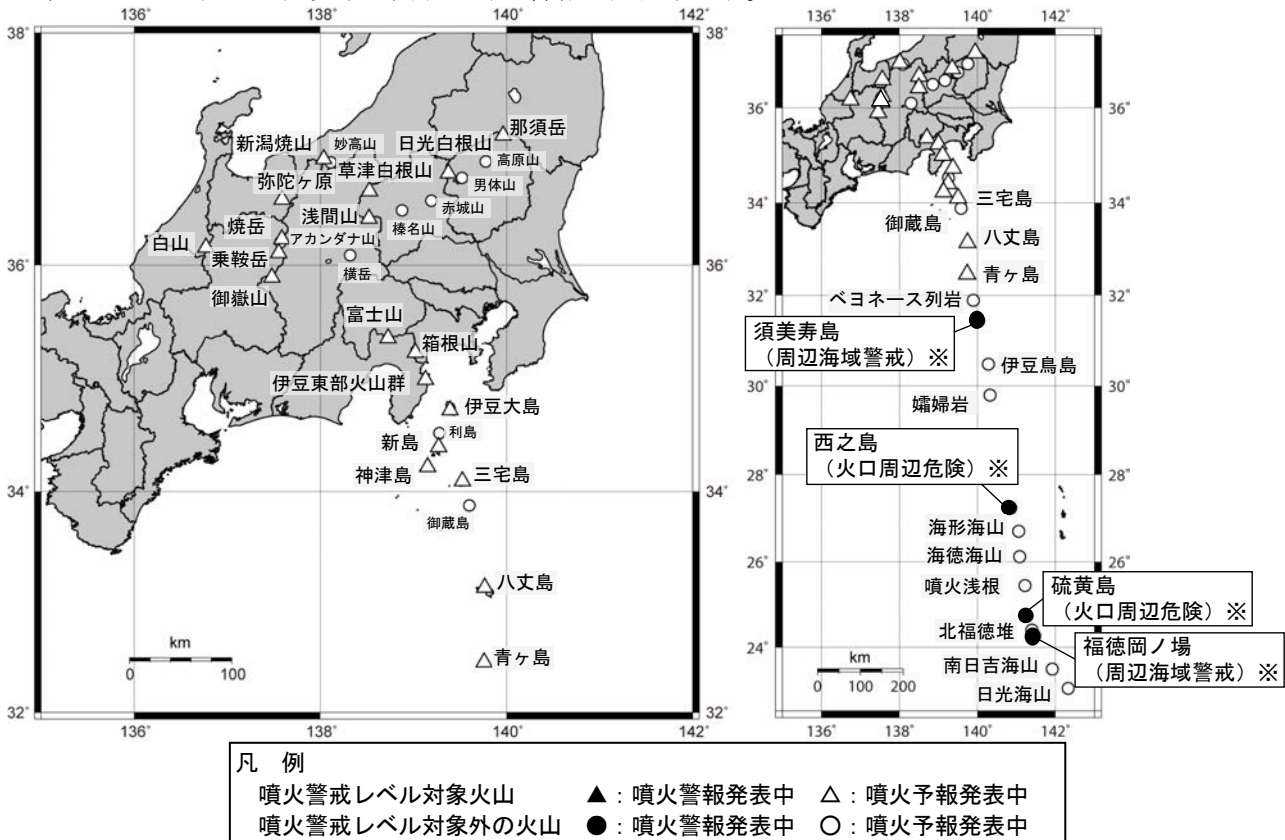
管内月間火山概況（令和8年9月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（10月8日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	火口周辺危険	西之島※、硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	須美寿島※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、浅間山、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



*噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京科学大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、神奈川県温泉地学研究所、新潟県、山梨県、長野県、岐阜県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（9月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

湯釜付近を震源とする火山性地震の活動は低調で、浅部の膨張を示す明瞭な地殻変動もみられず、火山活動は静穏に経過しました。一方、近年、湯釜火口への熱水や火山ガスの一時的な供給量の増加に伴うと考えられる地震の増加や傾斜変動などを繰り返していることから、火山活動が急変する可能性もあると考えられます。

湯釜火口から概ね 500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があります。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、湯釜火口周辺では火山ガスの噴出がみられ、その周辺のくぼ地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留することがありますので注意してください。

草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

山体浅部を震源とする火山性地震は、低調に推移しています。その他の観測データでも、火山活動の高まりを示す変化はみられていません。

山頂火口から 500mの範囲に影響を及ぼす程度のごく小規模な噴火の可能性がありますので、地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。突発的な火山灰噴出や火山ガス等に注意してください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地獄谷周辺の地震活動は低調で、火山活動によるとみられる膨張を示唆する地殻変動も認められませんが、地獄谷では熱活動が引き続き活発な状態で推移しています。

地獄谷付近では火山ガスに注意が必要です。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

山頂付近の微小な地震活動が継続しています。GNSS 連続観測では、山頂付近の緩やかな膨張を示すと考えられる長期的な変化が続いています。山頂付近の噴気の状況に変化は認められません。

山頂付近の地震活動や地殻変動に加え、焼岳周辺では数年おきに震度1以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられるなど、中長期的には火山活動の高まりがみられますので、引き続き今後の火山活動の推移に注意が必要です。

山頂付近を含む想定火口域内では、突発的に火山ガス等が噴出する可能性があります。登山する際は、火山活動の異変に注意するとともに、ヘルメットを着用するなどの安全対策をしてください。また、噴気地帯にはとどまらないでください。

乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地獄谷火口の一部の噴気孔では引き続き勢いよく噴気が出ており、地熱域の温度は高い状態が継続していますが、長期的には温度の低下傾向がみられます。

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震活動は低調に経過しており、火山活動によるとみられる特段の地殻変動は認められません。
地獄谷火口内では、突発的な火山灰等の噴出に注意が必要です。
地元自治体等が行う立入規制に従い、また、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS 連続観測では、一部の基線でわずかな伸びの変化がみられていましたが、8月頃から停滞しています。

地震活動は低調に経過しており、火山活動は概ね静穏に推移しています。

大涌谷周辺の想定火口域では、活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意が必要です。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

熱活動、地震活動は低調に経過し、火山性微動も発生しておらず、ただちに噴火が発生する兆候は認められません。地下深部へのマグマ供給によると考えられる1986年の噴火以降の長期的な島全体の膨張は、2018年頃からほぼ停滞しています。これまでに供給されたマグマは地下深部に蓄積されており、火山活動が活発化した場合は噴火に至る可能性がありますので、火山活動の推移に注意してください。

新島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動や噴煙活動は低調で、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も極めて少ない状態が続いていますが、山頂火口内の地熱域では温度や放熱率がわずかに高い状態が認められています。中長期的には、山体深部の膨張を示す地殻変動が続いており、引き続き地下のマグマの蓄積が進んでいると考えられます。

火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、山頂火口内及び主火孔から500m以内では火山灰等の噴出に警戒が必要です。地元自治体等の指示に従って、危険な地域には立ち入らないでください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ベヨネース列岩〔噴火予報（活火山であることに留意）〕←10月8日（期間外）に噴火警報（周辺海域）を解除、火山現象に関する海上警報を解除

ベヨネース列岩（明神礁）付近では、2023年1月に海上保安庁が実施した上空からの観測で変色水が確認されたことから、噴火警報（周辺海域）を発表しました。その後の観測では、2023年2月を最後に、変色水、浮遊物等の特異事象は確認されていません。

このことから、ベヨネース列岩の周辺海域に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、10月8日11時00分（期間外）に噴火警報（周辺海域）を解除し、噴火予報（活火山であることに留意）に引き下げました。併せて、火山現象に関する海上警報を解除しました。

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

噴火の兆候はありませんが、引き続き活火山であることに留意してください。

須美^{すみ}寿^{すじま}島〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められませんでした。2024年7月以降、須美寿島周辺で変色水がほぼ継続して認められており、今後、海底噴火が発生する可能性があります。

須美寿島の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

伊豆島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西之島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

2023年10月5日以降、噴火は確認されていません。また、西之島付近で周囲に比べて温度の高い領域は認められません。

これらのことから、西之島の火山活動は低下しており、山頂火口から概ね1.5kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと考えられます。

一方、海上保安庁が9月17日に実施した上空からの観測では、山頂火口内で噴気が確認されていることから、今後も、小規模な水蒸気噴火が発生する可能性があります。山頂火口から概ね1kmの範囲では引き続き警戒が必要です。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、島内及びその周辺海域で噴火は認められず、火山性地震はやや少ない状態で経過しました。

長期的には島全体の隆起を示す地殻変動が認められ、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生していることから、従来から小規模な噴火がみられていた領域や沿岸では、小規模な噴火の発生に警戒してください。

福德岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、引き続き、変色水域が確認されています。活発な火山活動は継続しており、今後も噴火の可能性あります。

福德岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

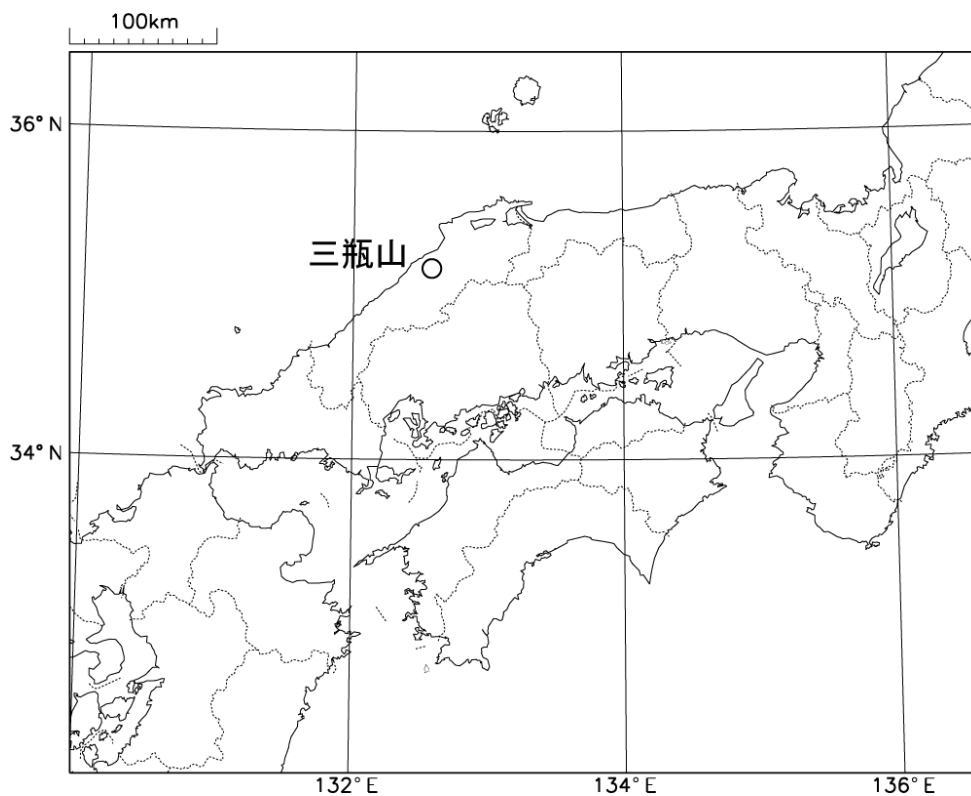
管内月間火山概況（令和8年9月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

各火山の活動状況及び予報警報事項（9月1日～30日）

三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

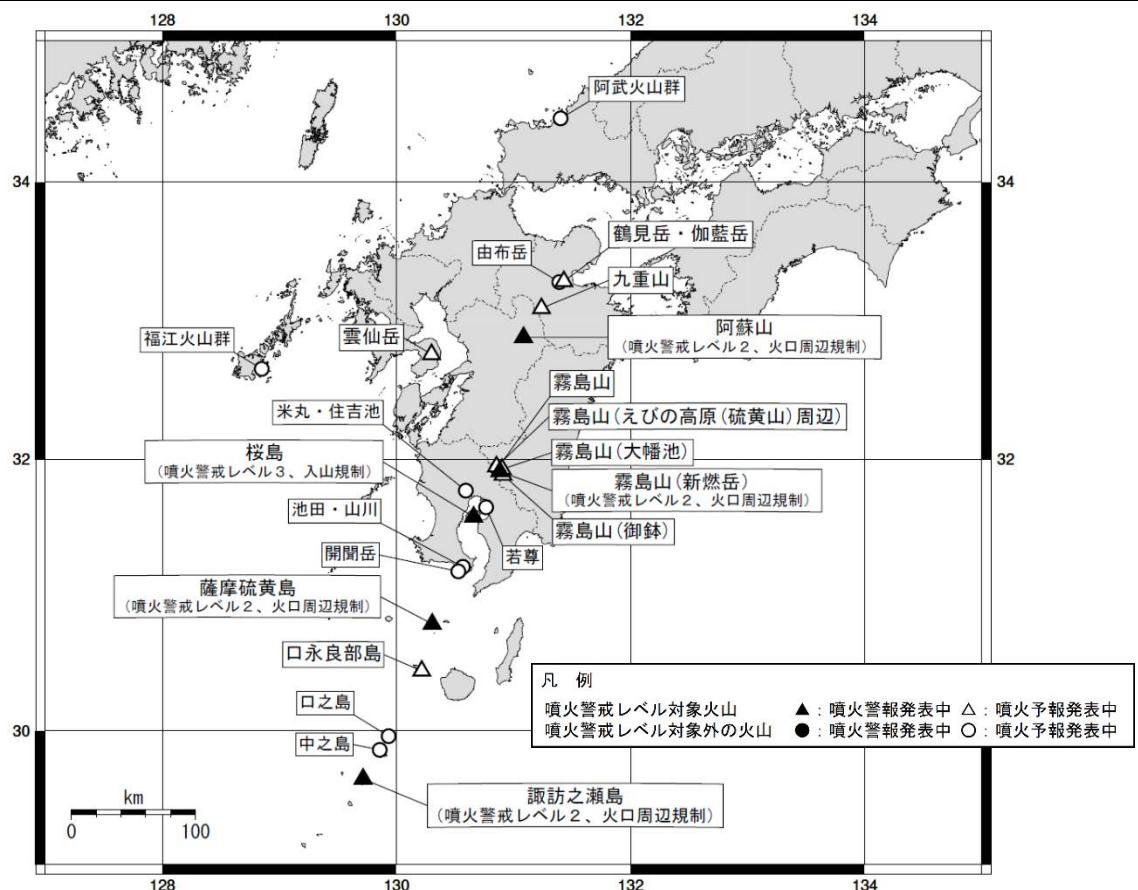
○ 九州地方の火山活動

管内月間火山概況（令和8年9月）

福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和8年9月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島
	レベル2（火口周辺規制）	阿蘇山、霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（御鉢）、口永良部島
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村、阿蘇火山博物館及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（9月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

阿蘇山では、1日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

口永良部島では、28日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しましたが、長期的にはB型地震¹⁾が時々発生しています。その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

鶴見岳・伽藍岳の想定火口域内では、噴気、火山ガス等の噴出がみられますので、注意してください。

九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態ですが、中長期的には硫黄山付近が震源と推定されるB型地震¹⁾が時々発生しています。噴気地帯の状況には特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。地熱域では、長期的には温度の低下や縮小傾向がみられていますが、硫黄山付近の噴気地帯地下の温度上昇を示す全磁力の変化は継続しています。今後の火山活動に留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

阿蘇山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] ←1日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引下げ。

阿蘇山では、2026年8月18日以降、火山性微動の振幅が低下した状態で経過しており、8月17日以降に実施した現地調査でも火山ガス（二酸化硫黄）の放出量に急激な増減は認められませんでした。これらのことから、中岳第一火口から1kmを超え、概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、9月1日16時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺警報）に引き下げました。

GNSS連続観測では、2026年5月頃から草千里を挟む基線及び広域の基線において、草千里付近の深部にあると考えられるマグマだまりへのマグマの蓄積を示唆する伸びが認められていましたが、8月頃から停滞しています。

火山性微動の振幅は概ね小さな状態で推移していますが、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量はやや多い状態で経過しており、火山活動は引き続き高まった状態であることから、中岳第一火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

霧島山（えびの 高原（硫黄山）周辺）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

硫黄山では、活発な噴気活動が続いています。硫黄山付近の浅いところを震源とする火山性地震は少ない状態で経過しました。

硫黄山では、現時点では噴火の兆候は認められませんが、活火山であることから、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山火口内、及び硫黄山の西側 500mの噴気地帯から概ね 100mの範囲では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。

地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くにはとどまらないでください。

霧島山（大幡池）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

新燃岳では、2025年9月8日以降噴火は観測されていません。

火口直下を震源とする火山性地震は9月上旬から中旬頃にかけて増加しやや多い状態となりましたが、その後減少し少ない状態で経過しています。また11日から13日にかけて、振幅の小さな火山性微動が観測されました。

GNSS 連続観測では、霧島山を挟む一部の基線で、霧島山深部の膨張を示すと考えられるわずかな伸びが認められていましたが、2025年12月中旬頃からは停滞しています。

一方、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が1日あたり数百トンの状態が継続していることから、火山活動は高まった状態で経過しています。弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2kmまで、火砕流が概ね1kmまで達する噴火が発生する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね2kmの範囲では警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

霧島山（御鉢）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、火口内でごく少量の火山灰等を噴出する規模の小さな現象が突発的に発生する可能性がありますので注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

南岳山頂火口では、中旬以降噴火²⁾が増加しました。噴火が94回発生し、爆発³⁾は発生しませんでした。噴煙は最高で火口縁上2,500mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で南岳山頂火口から約600m（8合目）まで達しました。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域のGNSS 連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後も噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

さつまいおうじま

薩摩 硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的に継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には噴煙活動や熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

くちのえらぶじま

口永良部島 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）] ←28日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ。

口永良部島では、7月中旬頃から山体の浅いところで地震活動が活発化し、下旬には火山性地震が多い状態となりましたが、8月上旬頃に減少し、その後特段の増加は認められません。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は少ない状態で、GNSS連続観測では、2023年11月以降、火山活動に伴う特段の変化は認められません。

これらのことから、新岳及び古岳の火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、28日11時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

なお、火山活動は低下していますが、山体の浅いところを震源とする火山性地震がやや多い状態で経過していますので、今後の火山情報に留意してください。

活火山であることから、新岳及び古岳の火口内では、火山灰等が噴出する可能性があります。また、新岳西側割れ目等の地熱域では、高温の噴気や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

なかのしま

中之島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

すわのせじま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

御岳（おたけ）火口では、今期間、噴火は発生しませんでした。

GNSS連続観測では、2024年10月以降、島の西側におけるマグマの蓄積量の増加を示唆する変動が認められていましたが、2025年11月頃から停滞しています。火山性地震は、少ない状態で経過しています。

諏訪之瀬島では長期にわたり噴火を繰り返しています。御岳火口では夜間に火映を観測し、火口内の熱活動は引き続き高まった状態であると考えられ、火口周辺に大きな噴石が飛散する噴火が発生する可能性があります。

御岳火口中心から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 一般的に、火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長いものをB型地震と呼んでいます。火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられています。
- 2) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 3) 桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、気象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した場合に爆発としています。

○ 沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況（令和8年9月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

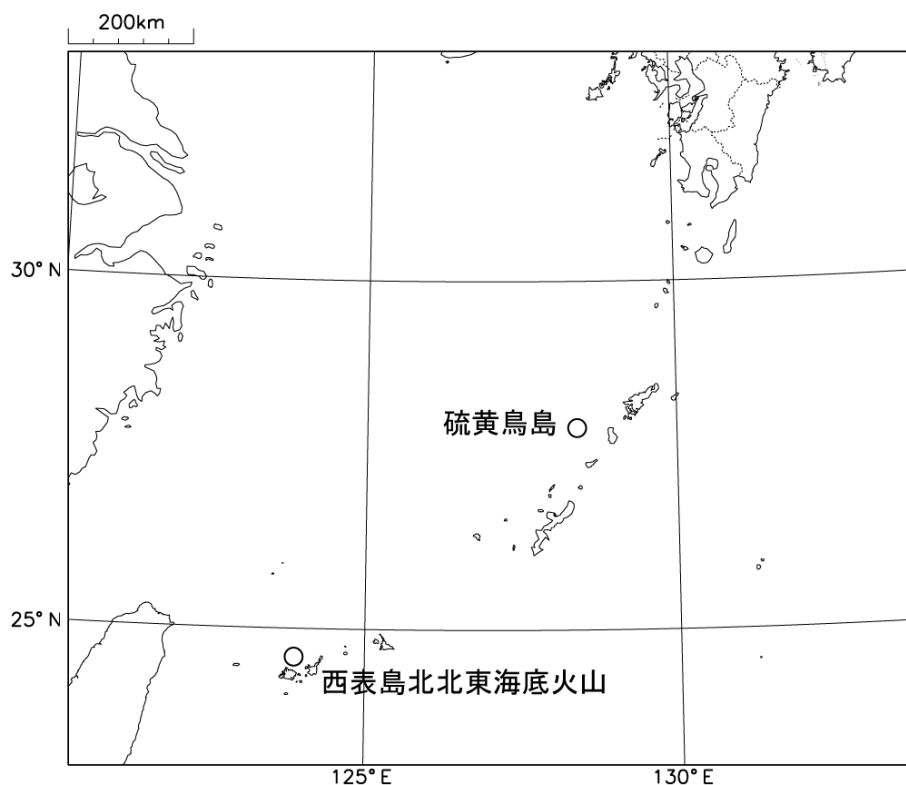
各火山の活動状況及び予報警報事項（9月1日～30日）

硫黄島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

表 令和 8 年 9 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
十勝岳	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報 第 19～20 号	4 日、11 日 16 時 00 分	62-2 火口及び振子沢噴気孔群付近では、噴煙・噴気の高さの増大、発光現象の多発、振子沢噴気孔群の高温化など熱活動が高まった状態が継続。 3 月以降、山体付近やや深部の膨張を示す地殻変動が継続。4 月以降火山ガス（二酸化硫黄）放出量の増加、62-2 火口付近及びその周辺の地震活動のやや活発化が認められ、振幅の大きな火山性地震も時折観測。 火山活動が高まっており、62-2 火口から概ね 1.5km の範囲に影響を及ぼす噴火の可能性はある。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、 入山規制)	火口周辺警報	12 日 09 時 30 分	熱活動が高まった中、8 月 17 日以降、山体付近を震源とする振幅の大きな火山性地震が増加。 火山活動が活発化、火口から概ね 3 km に影響を及ぼす噴火の可能性はある。
		解説情報 第 21～27 号	12 日 10 時 00 分 12 日、14 日、18 日、 21 日、25 日、28 日 16 時 00 分	8 月 17 日から振幅の大きな火山性地震が増加。最大は 9 月 12 日 8 時 20 分頃の地震で、最大振幅は硫黄沢観測点で約 24 μ m、山麓で体を感じた可能性がある。8 月 17 日以降の振幅の大きな火山性地震（硫黄沢観測点最大振幅 2 μ m 以上）の発生状況は、8 月 17 日 1 回、20 日 2 回、9 月 12 日 2 回。 25 日の現地調査で、1000[t/日]前後の火山ガス（二酸化硫黄）の放出量を確認。 25 日の国土交通省北海道開発局の協力による上空からの観測で、引き続き地表面温度が高い状態を確認。 13 日夕方以降、62-2 火口付近の浅部の火山性地震が増加。噴煙・噴気の状態や傾斜変動に特段の変化なし。 熱活動が高まった中で、振幅の大きな火山性地震が複数回発生するなど火山活動が活発化。3 月以降、山体付近のやや深部の膨張を示す地殻変動が継続し、4 月以降は火山ガス（二酸化硫黄）放出量の増加が認められており、火口から概ね 3 km の範囲に影響を及ぼす噴火の可能性が高まっている。
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、 入山規制)	解説情報 第 81～88 号	4 日、7 日、11 日、 14 日、18 日、21 日、 25 日、28 日 16 時 00 分	南岳山頂火口で噴火活動継続。爆発はなし。噴煙は最高で火口縁上 2500m。大きな噴石は最大で火口から 600m まで達する。夜間に高感度の監視カメラで火映を観測。昭和火口では噴火及び火映はない。 火山性地震は少ない状態で経過。火山性微動が時々発生。また、噴火に伴う火山性微動が時々発生。 2 日、10 日、15 日の現地調査で、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2800[t/日]、2200[t/日]、2600[t/日]と多い状態。 GNSS 観測で、桜島島内の一部の基線で 2026 年 5 月頃から山体膨張に伴うとみられるわずかな伸びが認められる。始良カルデラ（鹿児島湾奥部）を挟む基線では、地下深部の膨張を示す長期の緩やかな伸びがみられる。 始良カルデラ深部にマグマが蓄積した状態、火山ガスも概ね多いことから、今後も噴火活動が継続すると考えられ、今後の火山情報に注意。
(次頁へ続く)		降灰予報(速報)	13 日 17 時 18 分 14 日 10 時 32 分 14 時 35 分 23 日 13 時 01 分	噴火発生から 1 時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
(前頁の続き) 桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	降灰予報(詳細)	13日 17時24分 14日 10時46分 14時46分 23日 13時11分 22時22分 23時56分	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に 予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
西之島	火口周辺警報 (火口周辺危険)	火口周辺警報	8日 11時00分	2023年10月5日以降、噴火の確認なし。周囲に比べて温度の高い領域なし。火山活動は低下、山頂火口から概ね1.5kmに影響を及ぼす噴火の可能性は低くなった。一報、海上保安庁の8月17日の上空からの観測で、山頂火口内で噴気を確認。今後も、小規模な水蒸気噴火の可能性。山頂火口から概ね1kmの範囲では引き続き警戒が必要。
		火山現象に関する海上警報	8日 11時00分	半径0.6海里以内の周辺海域警戒
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	火口周辺警報	1日 16時00分	火山性微動の振幅は概ね小さな状態、火山ガス(二酸化硫黄)放出量の急激な増減はなく、火山活動は低下傾向。このことから、中岳第一火口から1kmを超え、概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと考えられる。一方、火山ガス(二酸化硫黄)放出量が多い状態となるなど、火山活動は高まった状態。中岳第一火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がある。
		解説情報 第21～25号	1日 16時10分 4日 16時00分 11日 16時10分 18日、25日 16時00分	8月14日に火山性微動の振幅が増大、中岳西山腹観測点南北動成分1分間平均振幅が4[μm/秒]を超え、大きな状態となったが、18日頃からは振幅が低下した状態で推移。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は、8月14日に2700[t/日]と急増したが、17日以降は1000～2300[t/日]と急激な増減はない。火山活動に低下傾向が認められ、中岳第一火口から1kmを超え、概ね2kmの範囲に影響する噴火の可能性は低下したと判断し、9月1日16時00分に噴火警戒レベルを3(入山規制)から2(火口周辺規制)に引き下げ。火山性微動の振幅は、中岳西山腹観測点南北動成分1分間平均振幅は、やや大きな状態で経過していたが、4日頃からは、変動はあるものの小さい状態で推移。中岳第一火口では、白色の噴煙が最高で火口縁上1000mまで上がる。2日の現地調査で、中岳第一火口底に灰白色の湯だまりを確認。湯だまり量は、噴煙のため不明。1日、14日の現地調査では、火山ガス(二酸化硫黄)放出量は1400[t/日]、1800[t/日]とやや多い状態。GNSS連続観測で、2026年5月頃から、草千里を挟む基線や広域の基線で、草千里付近深部に推定されるマグマだまりへのマグマの蓄積を示唆する伸びが認められ、火山ガス(二酸化硫黄)放出量が多い状態となるなど、火山活動は高まった状態であり、中岳第一火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がある。

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
雌阿寒岳	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第43～46号	4日、11日、18日、 25日 16時00分	8月31日から9月4日の現地調査では、ボンマチネシリ96-1火口の火口内西壁から引き続き活発な噴煙が認められた一方、2025年9月の現地調査で火口内に新たに認められた活発な噴気孔はみられなくなり、噴煙の量は減少。 ボンマチネシリ96-1火口の噴煙活動は、5月頃からやや低下しているものの、活発な状態が継続。 2025年9月から続いていたボンマチネシリ火口方向が緩やかに上がる傾斜変動は、2026年5月以降は概ね火口方向下がりの変化となっていたが、16日頃から鈍化。 ボンマチネシリ火口付近の火山性地震は8月中旬に一時的に増加して以降、概ね少ない状態で経過していたが、16日頃から24日にかけてやや増加。 火山活動の活発な状態が継続しており、今後も噴火の可能性はある。
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第36～39号	4日、11日、18日、 25日 16時00分	2025年9月8日以降噴火はない。 監視カメラにより、火口縁上数百mの白色噴煙を観測。西側斜面割れ目の噴気はなし。火口直下の火山性地震は、少ない状態から9月上旬以降やや増加し、やや多い状態で経過。11日から13日に振幅の小さな火山性微動が継続（火山性微動の観測は6月13日以来）。 2日、8日の現地調査では、西側斜面の割れ目付近で、昨年引き続き地熱域を確認。また、火山ガス（二酸化硫黄）放出量は100[t/日]、200[t/日]とやや多い状態。 GNSS観測で霧島山を挟む一部の基線で、深部の膨張を示すと考えられるわずかな伸びが認められたが、2025年12月中旬頃から停滞。新燃岳付近の膨張を示すと考えられる基線の伸びは2025年7月以降認められない。 火山活動が高まった状態が継続。引き続き噴火の可能性はある。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第37～40号	4日、11日、18日、 25日 16時00分	硫黄岳火口では、白色の噴煙と夜間に高感度カメラで火映を観測。火山性地震は少ない状態で経過。6日に継続時間の短い火山性微動。長期的に熱活動や噴煙活動が高まった状態が継続。火口周辺に影響する噴火の可能性はある。
口永良部島 (次頁へ続く)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第23～26号	4日、11日、18日、 25日 16時00分	監視カメラによる観測では、古岳火口で噴煙なし。新岳火口で白色噴煙が最高で火口縁上400m。 古岳火口付近浅部を震源とする火山性地震は、やや多い状態で経過。新岳火口付近浅部を震源とする火山性地震は少ない状態で経過。 15日に実施した現地調査で、新岳及び古岳周辺の地熱域に特段の変化なし。 東大院理、京大防災研、屋久島町及び気象庁による17日の観測で、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、20[t/日]と少ない状態。 GNSS連続観測で、2023年11月以降、山体膨張を示す変動は認められない。 山体浅部でやや活発な地震活動が継続し、火山活動が高まった状態であるため、新岳火口及び古岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がある。
	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることを留意)	噴火予報 (警報解除)	28日 11時00分	7月中旬頃から主に古岳付近の浅部を震源とする火山性地震が増加していたが、8月上旬頃から減少。その他の観測データにも活動の高まりを示す変化は認められない。 火山活動は低下しており、噴火の可能性は低下。

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
(前頁の続き) 口永良部島	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報 第27号	28日 11時10分	7月中旬頃から主に古岳浅部を震源とする火山性地震が増加していたが、8月上旬頃に減少し、その後特段の増加なし。 火山ガス（二酸化硫黄）放出量は7月以降、10～30 [t/日]と、少ない状態で経過。 9月15日の山麓での現地調査では、新岳及び古岳周辺に地熱域を確認したが、特段の変化は認められない。 新岳及び古岳の火口周辺に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと判断し、28日11時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2から1に引き下げ。 火山活動は低下しているが、山体浅部を震源とする火山性地震がやや多い状態で経過、今後の火山情報に留意。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第36～39号	4日、11日、18日、 25日 16時00分	御岳火口で、噴火なし。夜間に高感度カメラで火映を観測。火山性地震は少ない状態で経過。火山性微動なし。GNSS 連続観測で、2024年10月以降、島の西側のマグマの蓄積量の増加を示唆する地殻変動が認められていたが、2025年11月頃から停滞。 長期にわたり噴火活動が継続し、御岳火口周辺では、大きな噴石飛散の可能性がある。
北海道 駒ヶ岳	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報 第1号	28日 16時00分	23日から24日にかけて山頂火口原付近の火山性地震がやや増加。その後、一旦減少したが、26日から再びやや増加。26日13時頃から山頂火口原付近の傾斜計で、山頂火口原方向が上がる傾斜変動を観測。火山性微動なし。山頂の監視カメラでは、引き続き昭和4年火口のごく弱い噴気が時折認められる程度で、特段の変化なし。 火山性地震がやや増加し、山頂火口原方向が上がる傾斜変動が認められており、今後の火山活動の推移に注意。
		解説情報(臨時) 第2～4号	28日 23時00分 29日、30日 16時00分	山頂火口原浅部を震源とする火山性地震が増加。28日20時30分頃にはM1.4（速報値）のやや規模の大きな地震が発生。火山性微動は観測なし。 火山性地震の発生状況（26～30日の日回数、30日は15時まで）は、山麓基準点で2～6回、山頂基準点で14回～41回（速報値）。26日13時頃からは山頂火口原付近の傾斜計で、山頂火口原方向が上がる傾斜変動を観測。昭和4年火口の噴気の状況は、平常時と比べ大きな変化なし。 今後、さらに火山活動が活発化した場合は、噴火警戒レベルを引き上げる可能性がある。今後の情報に注意

注1）表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2）雌阿寒岳、十勝岳、阿蘇山、霧島山(新燃岳)、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報（定時）を発表している。十勝岳は12日11時に開始した。口永良部島は28日8時で終了した。

世界の主な地震

令和8年（2026年）9月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

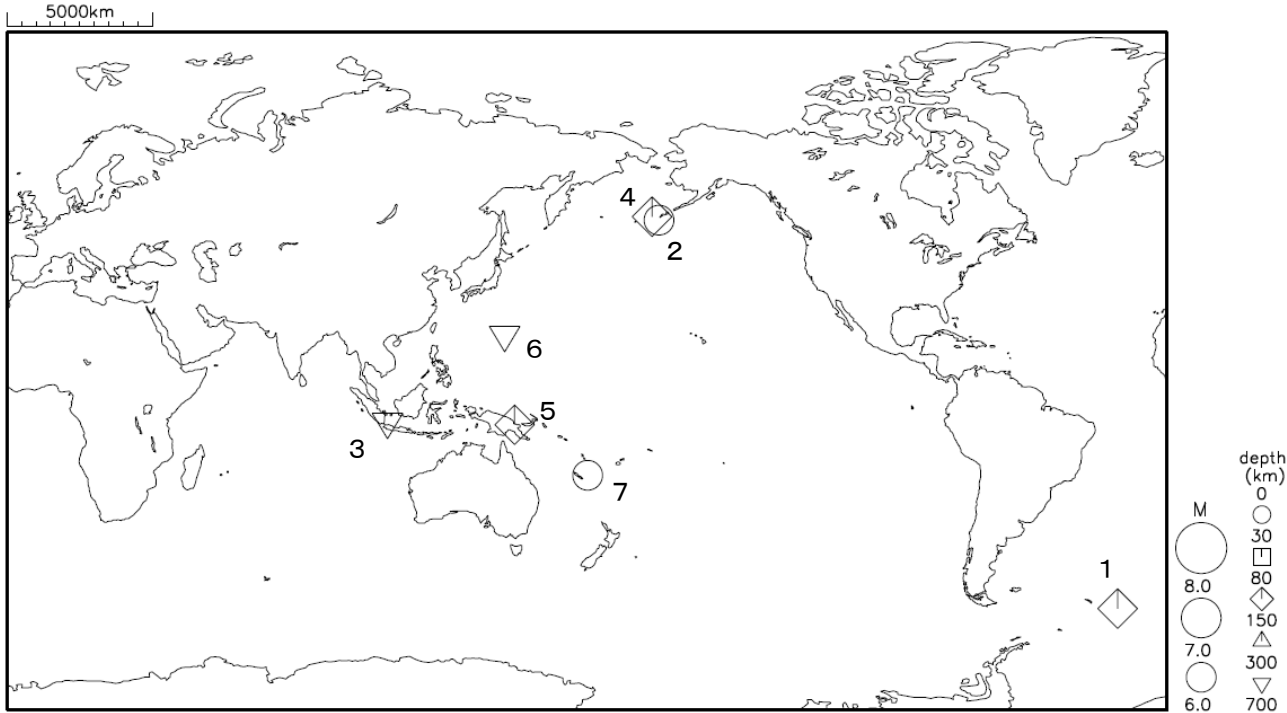


図1 令和8年（2026年）9月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和8年（2026年）9月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	09月03日08時46分	S56° 4.3′	W 27° 51.0′	111			6.2	サウスサンドウィッチ諸島			
2	09月03日20時17分	N52° 15.4′	W169° 24.5′	35			6.3	アリューシャン列島フォックス諸島			
3	09月12日06時23分	S 4° 58.9′	E106° 52.4′	372			6.5	インドネシア、スマトラ南部			
4	09月17日23時19分	N52° 51.5′	W171° 22.5′	98			6.5	アリューシャン列島フォックス諸島			
5	09月20日18時17分	S 5° 54.1′	E146° 5.5′	104			6.4	パプアニューギニア、ニューギニア東部			
6	09月23日22時01分	N21° 42.8′	E143° 1.6′	306		6.0		マリアナ諸島			
7	09月26日06時23分	S21° 17.8′	E168° 36.6′	10			6.6	ローヤリティー諸島			○

・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2026年10月7日現在)。
・地震発生時刻は日本時間 [日本時間＝協定世界時＋9時間] である。
・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」 (<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

● 世界の主な火山活動

令和8年（2026年）9月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。



図 令和8年（2026年）9月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (https://volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。

●付録1. 震度1以上を観測した地震の表

令和6年9月中に震度1以上を観測した地震は180回であった。

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（令和7年12月 地震・火山月報（防災編）の付録7参照）を記す。なお、*のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、(注)を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に'F'を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。本文中で震源の深さにCMT解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震源決定精度が十分ではない地震については、震源要素の記載対象外としている。震度3以上を観測した地震については、震源要素を太字で表示する。

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模
1	1 11 32	熊本県熊本地方 32° 44.6' N 130° 47.5' E 8km M: 2.7 熊本県 2 熊本西区春日=1.6 益城町宮園*=1.5 1 宇城市豊野町*=1.2 嘉島町上島*=1.1 熊本中央区大江*=1.1 熊本南区域城南町*=1.1 熊本東区佐土原*=1.0 御船町御船*=0.9
2	1 12 01	熊本県熊本地方 32° 33.8' N 130° 37.4' E 11km M: 3.3 熊本県 2 宇城市不知火町*=1.6 宇城市豊野町*=1.5 1 宇城市小川町*=1.3 八代市鏡町*=1.2 八代市東陽町*=1.2 宇城市松橋町=1.2 八代市千丁町*=1.2 甲佐町豊内*=1.1 氷川町島地*=1.1 上天草市松島町*=1.1 八代市平山新町=1.0 氷川町宮原*=1.0 八代市新地町*=1.0 熊本南区域城南町*=0.8 宇土市浦田町*=0.8 八代市坂本町*=0.7 上天草市姫戸町*=0.7 熊本美里町馬場*=0.6 熊本美里町永富*=0.6
3	1 18 44	熊本県天草・芦北地方 32° 37.1' N 130° 39.7' E 16km M: 2.8 熊本県 1 宇土市浦田町*=0.7 宇城市不知火町*=0.5
4	1 23 23	熊本県熊本地方 32° 34.4' N 130° 39.9' E 6km M: 2.9 熊本県 2 氷川町島地*=1.9 宇城市小川町*=1.8 1 宇城市不知火町*=1.3 宇城市豊野町*=1.3 氷川町宮原*=1.0 八代市鏡町*=0.9 八代市千丁町*=0.9 宇土市浦田町*=0.8 熊本南区域城南町*=0.8 八代市新地町*=0.6 八代市東陽町*=0.5 宇城市松橋町=0.5
5	2 00 58	熊本県天草・芦北地方 32° 26.4' N 130° 32.8' E 8km M: 2.3 熊本県 1 八代市平山新町=0.7
6	2 02 50	浦河沖 41° 55.9' N 142° 18.6' E 68km M: 4.1 北海道 1 新ひだか町静内山手町=1.1 様似町栄町*=1.1 えりも町えりも岬*=1.1 浦河町潮見=1.0 浦河町築地*=0.8 新ひだか町三石旭町*=0.8 新ひだか町静内御幸町*=0.8 浦幌町桜町*=0.8 安平町追分柏が丘*=0.7 厚真町鹿沼=0.6 むかわ町松風*=0.6
7	2 03 05	高知県中部 33° 47.1' N 133° 26.4' E 6km M: 2.7 高知県 1 土佐町土居*=1.3
8	2 04 21	青森県東方沖 41° 34.5' N 142° 05.6' E 54km M: 4.4 北海道 2 函館市泊町*=1.7 青森県 1 様似町栄町*=0.9 えりも町えりも岬*=0.7 2 東通村砂子又沢内*=1.6 階上町道仏*=1.5 1 東通村砂子又蒲谷地=1.3 八戸市南郷*=1.1 野辺地町田狭沢*=1.0 八戸市湊町=1.0 青森南部町苫米地*=0.9 むつ市金曲=0.8 八戸市内丸*=0.8 五戸町古館=0.7 野辺地町野辺地*=0.6 東北町上北南*=0.6 三沢市桜町*=0.6 七戸町森ノ上*=0.5 むつ市大畑町中島*=0.5 六ヶ所村尾駈=0.5 岩手県 1 久慈市枝成沢=0.8 盛岡市薮川*=0.7 軽米町軽米*=0.7
9 (注)	2 08 24 2 08 24	日向灘 31° 51.2' N 131° 45.7' E 42km M: 3.9 日向灘 31° 50.5' N 131° 46.2' E 39km M: 3.8 熊本県 1 熊本美里町永富*=0.7 多良木町多良木=0.6 宮崎県 1 川南町川南*=1.3 宮崎美郷町田代*=1.3 高鍋町上江*=1.2 宮崎市霧島=1.2 椎葉村総合運動公園*=1.1 小林市真方=1.1 西都市上の宮*=1.0 串間市役所*=1.0 椎葉村下福良*=0.9 日南市南郷町南町*=0.8 高千穂町三田井=0.8 国富町本庄*=0.8 宮崎市田野町体育館*=0.8 宮崎市佐土原町下田島*=0.7 新富町上富田=0.7 小林市野尻町東麓*=0.7 西都市聖陵町*=0.6 延岡市北方町総合支所*=0.6 都城市山之口町花木*=0.6 日南市油津=0.6 日南市吾田東*=0.6 宮崎都農町役場*=0.5 鹿児島県 1 大崎町仮宿*=1.1 鹿屋市札元*=1.0 鹿屋市新栄町=0.9 霧島市福山町牧之原*=0.9 鹿児島市喜入町*=0.7 垂水市田神*=0.7 鹿児島空港=0.6 曾於市大隅町中之内*=0.6 始良市蒲生町北*=0.5 霧島市国分中央*=0.5
10	2 10 27	宮古島近海 24° 50.5' N 125° 04.5' E 22km M: 3.2 沖縄県 1 宮古島市伊良部前里添=1.3 宮古島市平良狩俣*=0.9 宮古島市下地島空港*=0.8

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
11	2 11 54	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 芦北町芦北=0.7	32° 18.6' N	130° 24.8' E	8km	M: 2.7
12	2 14 24	伊予灘 大分県 1 豊後大野市犬飼町黒松*=1.0 国東市田深*=0.5 豊後大野市千歳町*=0.5	33° 27.0' N	131° 46.5' E	81km	M: 3.0
13	2 17 23	和歌山県北部 和歌山県 3 湯浅町青木*=2.5 2 有田川町下津野*=2.0 1 有田川町清水*=1.2 和歌山市男野芝丁=1.1 有田川町中井原*=1.0 海南市下津*=0.9 和歌山市一番丁*=0.8 御坊市湯川*=0.7 御坊市菌=0.5 かつらぎ町花園梁瀬*=0.5	34° 04.0' N	135° 16.6' E	9km	M: 3.3
14	2 19 12	秋田県内陸北部 秋田県 2 仙北市西木町上桧木内*=1.7 1 北秋田市阿仁水無*=1.1 大館市比内町扇田*=1.0 北秋田市新田目*=0.8 大館市桜町*=0.5 仙北市田沢湖田沢*=0.5	39° 58.9' N	140° 34.3' E	5km	M: 3.6
15	2 22 50	陸奥湾 青森県 2 むつ市脇野沢*=2.0	41° 07.9' N	140° 51.2' E	7km	M: 2.8
16	3 05 54	熊本県天草・芦北地方 熊本県 2 芦北町田浦町*=1.5 1 上天草市龍ヶ岳町*=1.3 球磨村渡*=1.2 八代市平山新町=1.1 天草市倉岳町*=1.0 芦北町芦北=0.9 上天草市姫戸町*=0.8 水俣市陣内*=0.6 上天草市松島町*=0.5 天草市御所浦町*=0.5 天草市栖本町*=0.5 長崎県 1 南島原市加津佐町*=0.5 鹿児島県 1 長島町獅子島*=0.6 長島町伊唐島*=0.5	32° 22.2' N	130° 27.0' E	13km	M: 3.4
17	3 06 39	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 球磨村渡*=0.5	32° 15.8' N	130° 30.0' E	7km	M: 1.9
18	3 08 22	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県 1 長島町鷹巣*=0.5	32° 10.3' N	130° 09.5' E	12km	M: 2.4
19	3 08 44	熊本県熊本地方 熊本県 2 益城町宮園*=1.6 1 熊本東区佐土原*=1.0 熊本西区春日=1.0 熊本南市区城南町*=1.0 嘉島町上島*=0.9 熊本中央区大江*=0.7 御船町御船*=0.5	32° 44.4' N	130° 47.5' E	7km	M: 2.5
20	3 11 55	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 芦北町芦北=0.7	32° 19.3' N	130° 27.8' E	6km	M: 2.4
21	3 16 53	熊本県熊本地方 熊本県 1 氷川町島地*=0.5	32° 33.7' N	130° 39.8' E	8km	M: 2.2
22	3 22 34	福島県会津 福島県 2 只見町黒谷*=2.1 1 只見町只見*=0.9 南会津町界*=0.9 新潟県 1 魚沼市須原*=1.4 魚沼市下折立=1.0 魚沼市今泉*=0.8 三条市荻堀*=0.7 魚沼市穴沢*=0.5	37° 13.8' N	139° 18.2' E	6km	M: 3.4
23	4 01 23	福島県沖 宮城県 1 名取市増田*=0.5	37° 43.2' N	141° 44.8' E	51km	M: 3.6
24	4 11 54	熊本県熊本地方 熊本県 1 宇城市松橋町=1.0 八代市平山新町=0.8 宇城市不知火町*=0.6 球磨村渡*=0.6	32° 31.5' N	130° 35.9' E	14km	M: 3.0
25	4 12 51	岩手県沖 青森県 1 八戸市内丸*=1.1 八戸市湊町=1.0 八戸市南郷*=0.9 青森南部町苫米地*=0.9 青森南部町平*=0.9 三戸町在府小路町*=0.7 階上町道仏*=0.5 五戸町古館=0.5 岩手県 1 軽米町軽米*=0.9 盛岡市薮川*=0.5	40° 19.4' N	142° 16.6' E	44km	M: 3.9
26	4 15 17	熊本県熊本地方 熊本県 1 宇城市豊野町*=1.3 宇城市不知火町*=1.0 熊本南市区城南町*=0.5	32° 35.3' N	130° 40.0' E	13km	M: 2.9
27	4 16 45	福島県沖 福島県 2 白河市新白河*=1.7 小野町小野新町*=1.5 1 石川町長久保*=1.4 檜倉町北田*=1.4 田村市都路町*=1.2 玉川村小高*=1.1 川内村上川内早渡*=1.1 大熊町大川原*=1.1 棚倉町棚倉中居野=1.1 二本松市油井*=1.0 福島広野町下北迫大谷地原*=1.0 白河市郭内=1.0 小野町中通*=1.0 田村市船引町=1.0 田村市常葉町*=1.0 須賀川市岩瀬支所*=0.9 田村市大越町*=0.9 川内村下川内=0.9 浅川町浅川*=0.9 鏡石町不時沼*=0.9 葛尾村落合落合*=0.9 いわき市平四ツ波*=0.9 浪江町幾世橋=0.8 富岡町本岡*=0.8 飯館村伊丹沢*=0.8 いわき市平梅本*=0.8 川俣町五百田*=0.8 二本松市針道*=0.7 西郷村熊倉*=0.7 大玉村玉井*=0.7 いわき市錦町*=0.7 本宮市本宮*=0.6	37° 17.0' N	141° 10.5' E	63km	M: 3.5

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		いわき市小名浜=0.6 いわき市三和町=0.6 大玉村南小屋=0.6 双葉町長塚*=0.6 郡山市朝日=0.5 川内村上川内小山平*=0.5 宮城県 1 岩沼市桜*=0.8 名取市増田*=0.5 茨城県 1 日立市助川小学校*=1.3 日立市役所*=0.9 北茨城市磯原町*=0.6				
28	4 18 23	福島県沖 福島県 1 檜葉町北田*=1.1	37° 46.5' N	141° 50.2' E	45km	M: 3.8
29	4 20 40	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本美里町永富*=0.6	32° 30.6' N	130° 35.6' E	11km	M: 3.2
30	4 21 09	宮城県沖 岩手県 2 一関市室根町*=1.8 一関市千厩町*=1.6 1 住田町世田米*=1.3 一関市藤沢町*=1.1 釜石市中妻町*=1.1 一関市東山町*=1.1 北上市相去町*=1.0 一関市大東町=1.0 平泉町平泉*=0.9 大船渡市大船渡町=0.8 大槌町上町*=0.8 大船渡市猪川町=0.7 奥州市衣川*=0.7 陸前高田市高田町*=0.7 釜石市只越町=0.7 花巻市東和町*=0.7 北上市柳原町=0.6 宮城県 2 気仙沼市笹が陣*=1.6 1 涌谷町新町裏=1.3 気仙沼市赤岩=1.2 登米市中田町=1.1 登米市豊里町*=1.1 気仙沼市唐桑町*=0.9 石巻市泉町=0.9 石巻市桃生町*=0.9 岩沼市桜*=0.8 栗原市栗駒=0.7 栗原市一迫*=0.7 大崎市鳴子*=0.7 大崎市古川大崎=0.6 栗原市築館*=0.6 石巻市大街道南*=0.5 石巻市北上町*=0.5 色麻町四竈*=0.5	38° 47.9' N	141° 40.1' E	67km	M: 3.7
31	4 23 52	釧路沖 北海道 2 浜中町茶内*=1.7 1 釧路市幸町=0.8 中標津町丸山*=0.8 標茶町塘路*=0.6 釧路町別保*=0.5	42° 48.8' N	144° 44.6' E	51km	M: 3.6
32	5 15 29	熊本県熊本地方 長崎県 1 雲仙市小浜町雲仙=0.6 熊本県 1 宇城市不知火町*=1.0 五木村甲*=0.9 宇土市浦田町*=0.8 宇城市松橋町=0.8 球磨村渡*=0.8 上天草市大矢野町=0.8 上天草市松島町*=0.8 熊本西区春日=0.5 熊本南区城南町*=0.5	32° 31.8' N	130° 36.1' E	15km	M: 3.3
33	5 17 26	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 八代市平山新町=0.7	32° 28.9' N	130° 33.5' E	2km	M: 2.3
34	5 21 44	和歌山県南部 三重県 1 熊野市紀和町板屋*=1.2 紀宝町神内*=0.7 奈良県 1 下北山村寺垣内*=0.6 和歌山県 1 湯浅町青木*=1.4 みなべ町土井*=1.3 白浜町日置*=1.1 田辺市中辺路町栗栖川*=1.0 田辺市東山*=0.9 田辺市中辺路町近露=0.9 御坊市湯川*=0.8 田辺市本宮町本宮*=0.8 田辺市龍神村西*=0.7 有田川町清水*=0.7 日高川町高津尾*=0.6 御坊市藺=0.6	33° 53.9' N	135° 25.9' E	52km	M: 3.6
35	6 03 00	茨城県沖 茨城県 1 水戸市栗崎町*=1.3 笠間市石井*=1.2 水戸市内原町*=1.0 日立市助川小学校*=0.9 水戸市千波町*=0.9 土浦市常名=0.9 高萩市安良川*=0.8 東海村東海*=0.7 小美玉市堅倉*=0.7 ひたちなか市南神敷台*=0.7 ひたちなか市東石川*=0.6 笠間市笠間*=0.6 桜川市真壁*=0.5	36° 24.8' N	140° 55.9' E	40km	M: 3.8
36	6 14 15	青森県東方沖 青森県 2 五戸町古館=2.0 青森南部町平*=1.9 八戸市南郷*=1.8 三戸町在府小路町*=1.8 青森南部町苦米地*=1.7 階上町道仏*=1.6 八戸市湊町=1.6 おいらせ町中下田*=1.5 平内町小湊=1.5 五戸町倉中市*=1.5 野辺地町田狭沢*=1.5 野辺地町野辺地*=1.5 八戸市内丸*=1.5 1 青森南部町沖田面*=1.4 七戸町森ノ上*=1.3 東北町上北南*=1.2 三沢市桜町*=1.2 十和田市奥瀬*=1.1 むつ市大畑町中島*=1.1 平内町東田沢*=1.1 田子町田子*=1.1 外ヶ浜町蟹田*=1.0 十和田市西十二番町*=1.0 七戸町七戸*=1.0 東通村砂子又沢内*=1.0 六戸町大落瀬*=1.0 十和田市西二番町*=0.9 むつ市金谷*=0.9 むつ市川内町*=0.8 おいらせ町上明堂*=0.8 横浜町林ノ脇*=0.8 青森市花園=0.8 つがる市木造*=0.7 青森市中央*=0.6 むつ市脇野沢*=0.6 八戸市島守=0.6 むつ市金曲=0.6 六ヶ所村尾駈=0.6 五所川原市敷島町*=0.6 横浜町寺下*=0.5 新郷村戸来*=0.5 東通村砂子又蒲谷地=0.5 佐井村長後*=0.5 岩手県 2 盛岡市薮川*=1.9 八幡平市田頭*=1.9 二戸市浄法寺町*=1.8 八幡平市野駄*=1.6 軽米町軽米*=1.6 1 盛岡市洪民*=1.4 八幡平市大更=1.4 九戸村伊保内*=1.3 岩手町五日市*=1.2 一戸町高善寺*=1.2 八幡平市叭田*=1.2 盛岡市山王町=1.2 矢巾町南矢幅*=1.2 普代村銅屋*=1.1 二戸市福岡=1.1 宮古市田老*=1.0 盛岡市馬場町*=1.0 紫波町紫波中央駅前*=1.0 滝沢市鶴郷*=1.0 一関市千厩町*=1.0 岩手洋野町種市=0.9 宮古市五月町*=0.9 宮古市区界*=0.9 花巻市東和町*=0.9 久慈市枝成沢=0.8 二戸市石切所*=0.8 花巻市石鳥谷町*=0.8 遠野市青笹町*=0.8 宮古市川井*=0.8 花巻市大迫町=0.7 釜石市中妻町*=0.7 久慈市川崎町=0.6 葛巻町葛巻元木=0.6 久慈市長内町*=0.6 宮古市鯉ヶ崎=0.6 住田町世田米*=0.6 山田町大沢*=0.5 大船渡市大船渡町=0.5 北海道 1 函館市泊町*=1.4 函館市新浜町*=1.0 むかわ町松風*=0.7 厚真町鹿沼=0.5 宮城県 1 涌谷町新町裏=0.7 石巻市桃生町*=0.7 気仙沼市赤岩=0.5 栗原市栗駒=0.5 秋田県 1 鹿角市花輪*=1.0 大館市早口*=0.8 小坂町小坂砂森*=0.8 大館市桜町*=0.6 北秋田市花園町=0.6	40° 42.5' N	142° 56.2' E	39km	M: 4.8
37	6 16 19	熊本県熊本地方 熊本県 1 八代市平山新町=0.9	32° 29.3' N	130° 37.5' E	3km	M: 2.3

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
38	6 16 48	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 水俣市陣内※=0.8	32° 13.5' N	130° 25.1' E	3km	M: 1.9
39	6 19 28	千葉県北東部 茨城県 1 茨城鹿嶋市鉢形※=0.8 稲敷市江戸崎甲※=0.6 千葉県 1 成田市名古屋※=1.3 香取市仁良※=0.8 香取市役所※=0.7 栄町安食台※=0.7 神崎町神崎本宿※=0.6 芝山町小池※=0.6 成田市猿山※=0.5 香取市佐原諏訪台※=0.5	35° 52.3' N	140° 29.2' E	37km	M: 3.2
40	7 02 04	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校※=0.6	36° 38.2' N	140° 36.9' E	8km	M: 2.1
41	7 15 33	和歌山県北部 大阪府 1 大阪岬町深日※=0.5 和歌山県 1 和歌山市一番丁※=1.2 和歌山市男野芝丁※=0.7	34° 15.8' N	135° 10.9' E	8km	M: 2.8
42	7 17 47	岩手県沿岸南部 岩手県 1 一関市千厩町※=1.0 一関市東山町※=0.5 宮城県 1 登米市東和町※=0.6 気仙沼市赤岩※=0.5	39° 02.6' N	141° 49.1' E	57km	M: 3.3
43	7 23 21	熊本県天草・芦北地方 32° 29.7' N 130° 32.8' E 10km M: 3.7 熊本県 3 上天草市大矢野町※=2.5 2 八代市新地町※=2.2 八代市平山新町※=2.1 上天草市姫戸町※=2.1 八代市千丁町※=2.0 芦北町芦北※=1.8 宇城市小川町※=1.8 芦北町田浦町※=1.7 上天草市松島町※=1.7 宇城市豊野町※=1.7 天草市倉岳町※=1.7 氷川町島地※=1.6 熊本美里町永富※=1.6 宇城市三角町※=1.6 八代市鏡町※=1.5 熊本南区城南町※=1.5 上天草市龍ヶ岳町※=1.5 1 甲佐町豊内※=1.4 あさぎり町免田東※=1.4 八代市坂本町※=1.3 宇城市不知火町※=1.3 宇城市松橋町※=1.2 五木村甲※=1.2 球磨村渡※=1.2 天草市有明町※=1.2 八代市東陽町※=1.2 宇土市浦田町※=1.1 西原村小森※=1.1 天草市栖本町※=1.1 あさぎり町須恵※=1.1 水俣市牧ノ内※=1.0 熊本美里町馬場※=1.0 山都町浜町※=1.0 天草市五和町※=1.0 氷川町宮原※=1.0 熊本西区春日※=1.0 津奈木町小津奈木※=0.9 あさぎり町岡原※=0.9 八代市泉支所※=0.9 人吉市蟹作町※=0.9 水俣市陣内※=0.8 熊本高森町高森※=0.8 八代市泉町※=0.8 湯前町役場※=0.8 嘉島町上島※=0.8 山江村山田※=0.8 あさぎり町深田※=0.7 多良木町上球磨消防署※=0.7 人吉市西間下町※=0.7 天草市新和町※=0.6 天草市御所浦町※=0.6 御船町御船※=0.6 大津町大津※=0.6 天草市牛深町※=0.6 水上村岩野※=0.5 熊本北区植木町※=0.5 長崎県 2 雲仙市小浜町雲仙※=1.9 1 雲仙市雲仙出張所※=1.4 南島原市深江町※=1.1 南島原市加津佐町※=0.9 南島原市北有馬町※=0.9 南島原市口之津町※=0.8 大村市玖島※=0.8 南島原市布津町※=0.8 南島原市南有馬町※=0.6 鹿児島県 2 長島町獅子島※=1.5 長島町伊唐島※=1.5 1 長島町鷹巣※=1.4 伊佐市大口鳥巣※=0.8 鹿児島出水市高尾野町※=0.6 さつま町神子※=0.6 薩摩川内市神田町※=0.5 さつま町宮之城保健センタ※=0.5 宮崎県 1 西都市上の宮※=1.1 宮崎市高岡町内山※=0.9 国富町本庄※=0.7 小林市中原※=0.7 延岡市北川町川内名白石※=0.7 宮崎都農町役場※=0.6 椎葉村総合運動公園※=0.5 綾町南俣健康センター※=0.5 小林市真方※=0.5	32° 29.7' N	130° 32.8' E	10km	M: 3.7
44	8 08 53	天草灘 鹿児島県 1 阿久根市赤瀬川※=0.8 阿久根市鶴見町※=0.5	31° 59.2' N	130° 11.0' E	4km	M: 1.8
45	8 09 32	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 水俣市陣内※=1.3 水俣市牧ノ内※=1.2	32° 13.0' N	130° 21.3' E	2km	M: 2.4
46	8 13 54	熊本県天草・芦北地方 熊本県 2 八代市平山新町※=2.1 上天草市松島町※=2.1 上天草市大矢野町※=1.9 上天草市姫戸町※=1.6 芦北町芦北※=1.5 1 八代市千丁町※=1.3 芦北町田浦町※=1.3 宇城市豊野町※=1.1 五木村甲※=1.1 宇城市不知火町※=1.1 天草市有明町※=1.1 熊本南区城南町※=1.0 宇城市小川町※=1.0 天草市五和町※=1.0 氷川町島地※=0.8 宇土市浦田町※=0.8 宇城市松橋町※=0.8 水俣市牧ノ内※=0.8 八代市新地町※=0.8 上天草市龍ヶ岳町※=0.8 八代市鏡町※=0.8 八代市坂本町※=0.8 宇城市三角町※=0.7 球磨村渡※=0.7 八代市東陽町※=0.6 熊本美里町永富※=0.6 天草市倉岳町※=0.6 長崎県 1 雲仙市小浜町雲仙※=0.9 南島原市口之津町※=0.6 宮崎県 1 西都市上の宮※=0.8 宮崎美郷町田代※=0.7 椎葉村下福良※=0.6 鹿児島県 1 長島町伊唐島※=0.7 長島町獅子島※=0.5 伊佐市大口鳥巣※=0.5	32° 28.9' N	130° 31.9' E	10km	M: 3.7
47	8 16 19	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町※=1.1 一関市千厩町※=0.9 一関市藤沢町※=0.6 大船渡市大船渡町※=0.5 宮城県 1 気仙沼市笹が陣※=1.0 気仙沼市唐桑町※=0.9	38° 51.8' N	142° 02.2' E	45km	M: 3.6
48	8 21 02	熊本県熊本地方 熊本県 2 八代市千丁町※=1.7 宇城市小川町※=1.6 氷川町島地※=1.6 上天草市姫戸町※=1.5 1 八代市平山新町※=1.4 八代市鏡町※=1.4 熊本美里町永富※=1.4 上天草市大矢野町※=1.4 八代市東陽町※=1.3 宇城市松橋町※=1.2 宇城市豊野町※=1.2 五木村甲※=1.2 八代市新地町※=1.2 熊本西区春日※=1.1 熊本南区城南町※=1.1 宇城市不知火町※=1.1 芦北町芦北※=1.1 芦北町田浦町※=1.1 宇土市浦田町※=1.1 上天草市松島町※=1.1 嘉島町上島※=1.0 八代市坂本町※=1.0 あさぎり町須恵※=0.9 氷川町宮原※=0.9 八代市泉支所※=0.8 球磨村渡※=0.8	32° 30.6' N	130° 35.3' E	13km	M: 3.6

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		上天草市龍ヶ岳町※=0.8 八代市泉町=0.7 あさぎり町免田東※=0.7 天草市倉岳町※=0.7 甲佐町豊内※=0.6 水俣市陣内※=0.5 宇城市三角町※=0.5 長崎県 1 雲仙市小浜町雲仙=1.0 南島原市北有馬町※=0.8 雲仙市雲仙出張所※=0.7 雲仙市南串山町※=0.7 南島原市加津佐町※=0.6 大村市玖島※=0.5 鹿児島県 1 長島町獅子島※=0.6 長島町伊唐島※=0.5				
49	8 22 23	根室半島南東沖 北海道 1 根室市厚床※=1.0	42° 59.6' N	145° 40.1' E	74km	M: 3.9
50	8 23 40	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 上天草市龍ヶ岳町※=0.7	32° 20.8' N	130° 26.6' E	12km	M: 2.6
51	9 05 19	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 上天草市大矢野町=0.8 芦北町田浦町※=0.5 八代市平山新町=0.5 上天草市松島町※=0.5	32° 30.9' N	130° 33.0' E	11km	M: 3.1
52	9 07 15	釧路沖 北海道 2 根室市牧の内※=1.5 根室市厚床※=1.5 1 浜中町茶内※=1.3 根室市瑤瑤瑤※=1.3 根室市落石東※=0.9 浜中町湯沸=0.7	42° 53.3' N	145° 30.0' E	39km	M: 4.0
53	9 10 55	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 水俣市牧ノ内※=0.8 水俣市陣内※=0.8	32° 13.2' N	130° 21.4' E	1km	M: 2.1
54	9 14 27	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 芦北町田浦町※=1.4 球磨村渡※=1.3 水俣市陣内※=1.2 水俣市牧ノ内※=1.2 津奈木町小津奈木※=1.1 芦北町芦北=0.8 上天草市龍ヶ岳町※=0.7 八代市平山新町=0.6 上天草市姫戸町※=0.6 天草市倉岳町※=0.5	32° 18.8' N	130° 27.3' E	11km	M: 3.1
55	9 14 58	熊本県天草・芦北地方 長崎県 1 雲仙市小浜町雲仙=0.6 熊本県 1 上天草市大矢野町=1.1 八代市平山新町=0.9 八代市千丁町※=0.7 八代市新地町※=0.6	32° 30.3' N	130° 32.3' E	10km	M: 3.1
56	9 17 38	秋田県内陸北部 秋田県 1 仙北市西木町上桧木内※=0.5	39° 58.9' N	140° 34.4' E	5km	M: 3.0
57	10 02 11	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市下地※=0.8	24° 50.1' N	125° 26.3' E	48km	M: 3.5
58	10 08 15	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 八代市平山新町=0.9	32° 26.7' N	130° 33.7' E	6km	M: 2.8
59	10 10 20	熊本県熊本地方 熊本県 1 八代市新地町※=0.9 八代市平山新町=0.5	32° 30.1' N	130° 35.1' E	7km	M: 2.6
60	10 11 49	岐阜県美濃中西部 岐阜県 2 郡上市明宝※=2.3 下呂市馬瀬※=2.2 下呂市萩原町※=2.0 高山市荘川町※=1.9 高山市高根町※=1.8 郡上市八幡町島谷=1.7 郡上市白鳥町長滝※=1.6 下呂市森=1.5 郡上市八幡町旭※=1.5 1 郡上市大和町※=1.3 下呂市下呂小学校※=1.2 高山市上宝町本郷※=1.1 郡上市高鷲町※=1.0 郡上市白鳥町白鳥※=0.9 関市板取※=0.9 飛騨市河合町元田※=0.8 岐阜山県市大門※=0.8 下呂市小坂町※=0.8 瑞浪市上平町※=0.8 揖斐川町東杉原※=0.7 恵那市山岡町※=0.7 川辺町中川辺※=0.7 白川村鳩谷※=0.7 関市洞戸市場※=0.7 関市上之保※=0.6 八百津町八百津※=0.6 土岐市泉町※=0.5 可児市広見※=0.5 高山市久々野町※=0.5 美濃加茂市太田町=0.5 揖斐川町東津波※=0.5 福井県 1 大野市貝皿※=0.8 長野県 1 木曽町新開※=1.1 愛知県 1 一宮市千秋=0.6	35° 47.2' N	137° 00.5' E	10km	M: 3.7
61	10 17 15	熊本県熊本地方 熊本県 2 八代市新地町※=1.7 八代市千丁町※=1.5 1 八代市平山新町=1.3 八代市鏡町※=1.1 氷川町島地※=1.0 上天草市姫戸町※=0.9 熊本南区城南町※=0.7 上天草市松島町※=0.7 宇城市小川町※=0.7 氷川町宮原※=0.6 八代市東陽町※=0.6 宇城市不知火町※=0.5	32° 31.8' N	130° 35.6' E	7km	M: 2.9
62	10 18 55	福島県会津 福島県 3 檜枝岐村上河原※=2.9	37° 01.9' N	139° 21.8' E	5km	M: 3.1
63	11 00 21	岩手県沿岸北部 岩手県 2 遠野市青笹町※=1.5 1 宮古市茂市※=1.2 宮古市区界※=0.9 花巻市大迫総合支所※=0.9 住田町世田米※=0.8 葛巻町葛巻元木=0.8 宮古市川井※=0.8 一関市室根町※=0.8 普代村銅屋※=0.7 八幡平市田頭※=0.7 宮古市田老※=0.7 盛岡市薮川※=0.7 花巻市東和町※=0.6 大槌町上町※=0.6 田野畑村田野畑=0.5 盛岡市渋民※=0.5 一関市千厩町※=0.5 花巻市大迫町=0.5	39° 45.5' N	141° 50.9' E	58km	M: 3.6
64	11 00 52	熊本県熊本地方	32° 44.0' N	130° 47.0' E	8km	M: 2.3

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		熊本県 2 嘉島町上島*=1.7 1 熊本南区城南町*=1.1 御船町御船*=0.8 熊本東区佐土原*=0.5				
65	11 02 09	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 上天草市龍ヶ岳町*=0.5	32° 23.0' N	130° 28.6' E	10km	M: 2.7
66	11 10 07	熊本県熊本地方 熊本県 1 宇城市豊野町*=1.1 熊本西区春日=1.0 嘉島町上島*=0.9 熊本東区佐土原*=0.9 益城町宮園*=0.9 宇城市松橋町=0.8 熊本南区城南町*=0.8 宇土市浦田町*=0.7 山都町浜町*=0.6 大津町大津*=0.6 宇城市不知火町*=0.6 御船町御船*=0.6	32° 43.4' N	130° 46.7' E	11km	M: 2.9
67	11 17 55	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県 1 長島町伊唐島*=1.4 長島町獅子島*=0.9 長島町鷹巣*=0.8	32° 13.8' N	130° 16.4' E	11km	M: 2.5
68	11 20 39	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 上天草市龍ヶ岳町*=0.6	32° 23.9' N	130° 28.0' E	12km	M: 2.8
69	12 15 56	千葉県南部 千葉県 1 大多喜町大多喜*=1.1 勝浦市墨名=1.0 勝浦市新官*=1.0 睦沢町下之郷*=1.0	35° 13.2' N	140° 16.7' E	20km	M: 3.0
70 (注)	12 16 49	千葉県南部	35° 11.4' N	140° 17.1' E	23km	M: 3.4
70 (注)	12 16 50	千葉県南部	35° 13.5' N	140° 16.2' E	19km	M: 3.2
70 (注)	12 16 49	千葉県南部 千葉県 1 大多喜町大多喜*=1.1 勝浦市新官*=1.0 勝浦市墨名=0.8 睦沢町下之郷*=0.6	35° 14.0' N	140° 17.2' E	17km	M: 3.1
71	13 01 03	長野県北部 長野県 1 松川村役場*=0.7	36° 23.1' N	137° 37.8' E	1km	M: 2.8
72	13 04 18	三宅島近海 東京都 2 三宅村坪田=1.8 三宅村阿古*=1.6 御蔵島村西川=1.6 1 神津島村役場*=1.4 神津島村金長=1.3 三宅村神着=1.3 新島村大原=0.5	33° 48.9' N	139° 21.5' E	19km	M: 4.3
73	13 05 32	奄美大島北東沖 鹿児島県 2 鹿児島十島村中之島徳之尾=2.4 鹿児島十島村口之島出張所*=2.0 鹿児島十島村中之島出張所*=2.0 屋久島町口永良部島公民館*=1.5 1 喜界町滝川=1.1 屋久島町平内=0.6	29° 17.1' N	130° 25.0' E	58km	M: 5.0
74	13 12 50	父島近海 東京都 1 小笠原村母島=0.5	26° 28.3' N	142° 50.0' E	17km	M: 4.6
75	13 13 53	宮城県沖 岩手県 宮城県 1 大船渡市大船渡町=0.7 大船渡市猪川町=0.5 1 気仙沼市笹が陣*=0.5	38° 48.8' N	142° 00.9' E	46km	M: 3.3
76	13 17 31	津軽海峡 北海道 3 函館市泊町*=3.1 2 函館市新浜町*=2.0 函館市日ノ浜町*=2.0 白老町竹浦=1.7 千歳市若草*=1.6 むかわ町穂別*=1.6 1 浦幌町桜町*=1.4 室蘭市寿町*=1.3 新ひだか町三石旭町*=1.2 新千歳空港=1.2 千歳市北栄=1.2 安平町早来北進*=1.2 むかわ町松風*=1.2 日高地方日高町門別*=1.1 新冠町北星町*=1.1 厚真町鹿沼=1.1 新ひだか町静内山手町=1.0 平取町振内*=1.0 浦河町潮見=1.0 様似町栄町*=1.0 安平町追分柏が丘*=1.0 江別市緑町*=0.9 新ひだか町静内御幸町*=0.9 函館市川汲町*=0.9 恵庭市京町*=0.8 幕別町忠類錦町*=0.8 七飯町本町*=0.8 福島町福島*=0.8 七飯町桜町=0.7 浦河町築地*=0.7 登別市鉾山=0.7 函館市大森町*=0.7 十勝池田町西1条*=0.7 北広島市中の沢*=0.7 別海町常盤=0.7 札幌東区元町*=0.6 登別市桜木町*=0.6 浦河町野深=0.6 胆振伊達市梅本=0.6 胆振伊達市大滝区本町*=0.6 千歳市支笏湖温泉*=0.6 帯広市東4条=0.6 根室市落石東*=0.5 上ノ国町小砂子*=0.5 渡島森町上台町*=0.5 函館市美原=0.5 十勝大樹町生花*=0.5 帯広市東6条*=0.5 別海町本別海*=0.5 青森県 3 東通村砂子又沢内*=3.4 野辺地町田狭沢*=2.6 2 むつ市大畑町中島*=2.4 野辺地町野辺地*=2.3 八戸市湊町=2.3 東通村砂子又蒲谷地=2.3 八戸市内丸*=2.2 五戸町倉石中市*=2.1 階上町道仏*=2.0 むつ市金谷*=2.0 むつ市川内町*=2.0 青森南部町苫米地*=1.9 東通村尻屋*=1.9 東通村白糠*=1.9 六ヶ所村尾駁=1.8 むつ市金曲=1.8 むつ市大畑町奥栗研=1.8 五戸町古館=1.7 三沢市桜町*=1.7 平内町小湊=1.7 横浜町林ノ脇*=1.6 八戸市南郷*=1.6 六ヶ所村出戸=1.5 おいらせ町中下田*=1.5 東北町上北南*=1.5 1 青森南部町平*=1.4 横浜町寺下*=1.3 平内町東田沢*=1.2 七戸町森ノ上*=1.2 六戸町大落瀬*=1.1 三戸町在府小路町*=1.1 十和田市西二番町*=1.1 蓬田村阿弥陀川*=1.0 おいらせ町上明堂*=1.0 十和田市奥瀬*=1.0 外ヶ浜町蟹田*=0.9 むつ市脇野沢*=0.9 十和田市西十二番町*=0.9 青森市花園=0.9 青森市中央*=0.9 七戸町七戸*=0.9 青森市浪岡*=0.9 八戸市島守=0.8 佐井村長後*=0.7 外ヶ浜町三厩*=0.7 藤崎町水木*=0.7 青森南部町沖田面*=0.7 岩手県 2 軽米町軽米*=1.7 久慈市枝成沢=1.6 久慈市川崎町=1.5 1 岩手洋野町大野*=1.4 岩手洋野町種市=1.2 久慈市長内町*=1.1 盛岡市薮川*=1.1 九戸村伊保内*=1.1 宮古市田老*=0.9 田野畑村役場*=0.9 二戸市浄法寺町*=0.8 普代村銅屋*=0.7 八幡平市田頭*=0.7 住田町世田米*=0.6 二戸市石切所*=0.6 宮古市鉾ヶ崎=0.6 大槌町上町*=0.5 宮古市区界*=0.5 葛巻町葛巻元木=0.5	41° 30.0' N	141° 19.7' E	121km	M: 4.6

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
77	13 19 17	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 水俣市陣内※=0.5	32° 18.8' N	130° 28.3' E	9km	M: 2.5
78	13 20 19	岩手県沖 青森県 2 階上町道仏※=1.5 1 八戸市湊町=1.2 八戸市内丸※=1.1 青森南部町苫米地※=0.8 八戸市南郷※=0.6 青森南部町平※=0.5 岩手県 1 軽米町軽米※=1.0 岩手洋野町大野※=0.7 九戸村伊保内※=0.6	40° 20.5' N	142° 07.4' E	49km	M: 3.8
79	14 07 17	岩手県沿岸北部 岩手県 1 久慈市川崎町=0.5	40° 08.3' N	141° 42.9' E	12km	M: 2.9
80	14 16 33	福島県沖 宮城県 1 岩沼市桜※=0.6 利府町利府※=0.5 福島県 1 いわき市三和町=0.5	37° 13.8' N	142° 09.4' E	23km	M: 4.3
81 (注)	14 16 54 14 16 54	日向灘 日向灘 宮崎県 1 宮崎市霧島=0.8 宮崎市高岡町内山※=0.7 国富町本庄※=0.7 西都市上の宮※=0.6 宮崎市田野町体育館※=0.6	31° 45.5' N 31° 45.6' N	131° 52.4' E 131° 51.6' E	7km 7km	M: 4.0 M: 3.9
82	14 19 36	熊本県熊本地方 熊本県 3 八代市千丁町※=2.5 2 八代市平山新町=2.4 上天草市姫戸町※=2.2 上天草市松島町※=1.9 八代市新地町※=1.8 天草市有明町※=1.8 八代市鏡町※=1.6 八代市坂本町※=1.6 芦北町芦北=1.6 上天草市大矢野町=1.5 1 宇城市松橋町=1.4 津奈木町小津奈木※=1.4 天草市五和町※=1.4 球磨村渡※=1.2 芦北町田浦町※=1.2 宇城市小川町※=1.2 氷川町島地※=1.2 天草市倉岳町※=1.1 熊本南区城南町※=1.0 天草市栖本町※=1.0 宇城市三角町※=1.0 上天草市龍ヶ岳町※=0.9 五木村甲※=0.8 水俣市牧ノ内※=0.8 人吉市蟹作町※=0.7 玉名市中尾※=0.6 熊本美里町永富※=0.6 熊本西区春日=0.5 天草市天草町※=0.5 長崎県 1 南島原市加津佐町※=1.1 南島原市口之津町※=1.1 雲仙市小浜町雲仙=1.0 雲仙市南串山町※=0.9 鹿児島県 1 長島町伊唐島※=0.8 長島町獅子島※=0.5	32° 24.4' N	130° 35.5' E	6km	M: 4.0
83	14 19 55	宮城県沖 宮城県 2 石巻市桃生町※=1.6 1 涌谷町新町裏=1.2 石巻市北上町※=1.2 松島町高城=1.1 大崎市田尻※=1.0 大崎市古川三日町=0.9 大崎市古川大崎=0.9 石巻市大街道南※=0.9 登米市豊里町※=0.9 東松島市矢本※=0.8 気仙沼市唐桑町※=0.8 登米市迫町※=0.7 大崎市古川旭※=0.7 宮城美里町北浦※=0.7 大崎市鹿島台※=0.6 南三陸町歌津※=0.6 石巻市泉町=0.6 登米市東和町※=0.6 石巻市相野谷※=0.6 気仙沼市笹が陣※=0.6 登米市中田町=0.5 岩手県 1 一関市藤沢町※=0.9 一関市室根町※=0.9 一関市千厩町※=0.8 住田町世田米※=0.7 釜石市中妻町※=0.6 大船渡市大船渡町=0.6	38° 12.1' N	142° 05.3' E	32km	M: 4.1
84	14 19 59	福島県沖 福島県 2 檜葉町北田※=1.7 浪江町幾世橋=1.6 双葉町長塚※=1.5 1 相馬市中村※=1.4 富岡町本岡※=1.4 田村市都路町※=1.3 いわき市三和町=1.3 南相馬市原町区高見町※=1.3 田村市大越町※=1.2 国見町藤田※=1.2 大熊町大川原※=1.0 新地町谷地小屋※=1.0 南相馬市原町区三島町=1.0 福島広野町下北迫大谷地原※=0.9 田村市常葉町※=0.9 白河市新白河※=0.9 棚倉町棚倉中居野=0.8 二本松市油井※=0.8 福島市花園町=0.8 川俣町五百田※=0.7 天栄村下松本※=0.7 福島市桜木町※=0.7 福島伊達市梁川町※=0.7 本宮市本宮※=0.7 郡山市湖南町※=0.6 須賀川市八幡山※=0.6 飯舘村伊丹沢※=0.5 玉川村小高※=0.5 川内村下川内=0.5 宮城県 1 角田市角田※=1.4 丸森町鳥屋※=1.4 石巻市桃生町※=1.2 岩沼市桜※=1.0 山元町浅生原※=1.0 松島町高城=0.8 登米市迫町※=0.7 利府町利府※=0.7 涌谷町新町裏=0.7 石巻市大街道南※=0.6 登米市中田町=0.5 仙台空港=0.5	37° 31.0' N	141° 33.8' E	47km	M: 4.5
85	15 07 14	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 上天草市大矢野町=1.0 上天草市松島町※=0.6 八代市平山新町=0.5 熊本南区城南町※=0.5	32° 30.7' N	130° 33.2' E	12km	M: 3.1
86	15 08 59	天草灘 鹿児島県 1 阿久根市赤瀬川=0.9 阿久根市鶴見町※=0.5	31° 58.4' N	130° 10.7' E	4km	M: 2.4
87	15 17 54	熊本県天草・芦北地方 熊本県 2 水俣市陣内※=1.6 1 水俣市牧ノ内※=1.2 津奈木町小津奈木※=1.2 芦北町芦北=0.6 鹿児島県 1 長島町伊唐島※=0.9 長島町鷹巣※=0.8	32° 14.3' N	130° 26.1' E	7km	M: 2.7
88	15 18 01	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 水俣市陣内※=0.9 水俣市牧ノ内※=0.6	32° 14.2' N	130° 26.1' E	7km	M: 2.1
89	16 02 57	熊本県熊本地方 熊本県 1 氷川町島地※=0.5	32° 34.2' N	130° 40.3' E	1km	M: 1.3

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	経度	深さ	規模
90	16 03 17	新島・神津島近海 東京都 1 神津島村金長=0.7	34° 11.6' N 139° 14.8' E	11km	M: 2.4
91	16 03 54	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 八代市平山新町=1.0 上天草市姫戸町*=1.0	32° 26.9' N 130° 33.8' E	2km	M: 2.6
92	16 06 09	熊本県天草・芦北地方 熊本県 4 水俣市陣内*=3.6 水俣市牧ノ内*=3.5 3 津奈木町小津奈木*=3.1 芦北町芦北=2.7 2 熊本美里町永富*=2.1 球磨村渡*=1.5 1 上天草市大矢野町=1.4 上天草市姫戸町*=1.3 天草市五和町*=1.3 八代市平山新町=1.3 天草市御所浦町*=1.2 宇城市松橋町=1.2 芦北町田浦町*=1.2 上天草市松島町*=1.1 天草市天草町*=1.1 熊本南区域城南町*=0.9 八代市新地町*=0.8 熊本西区春日=0.7 上天草市龍ヶ岳町*=0.6 人吉市蟹作町*=0.6 天草市新和町*=0.6 山都町浜町*=0.5 天草市倉岳町*=0.5 人吉市西間下町=0.5 宇城市三角町*=0.5 鹿児島県 3 伊佐市大口山野=2.8 2 長島町獅子島*=2.3 長島町伊唐島*=2.2 鹿児島出水市野田町*=1.9 伊佐市大口鳥巢*=1.9 鹿児島出水市緑町*=1.8 鹿児島出水市高尾野町*=1.8 伊佐市菱刈前目*=1.8 長島町指江*=1.6 長島町鷹巣*=1.5 1 さつま町宮之城保健センタ*=1.4 阿久根市鶴見町*=1.2 さつま町神子*=1.2 阿久根市赤瀬川=1.1 薩摩川内市神田町*=1.0 薩摩川内市中郷=0.9 薩摩川内市祁答院町*=0.9 薩摩川内市東郷町*=0.9 霧島市横川町中ノ*=0.9 薩摩川内市入来町*=0.8 いちき串木野市緑町*=0.8 鹿児島空港=0.8 湧水町吉松*=0.7 さつま町宮之城屋地=0.7 始良市蒲生町北*=0.7 湧水町栗野*=0.6 枕崎市高見町=0.5 長崎県 1 南島原市口之津町*=0.9 南島原市加津佐町*=0.8 雲仙市小浜町雲仙=0.6 宮崎県 1 えびの市加久藤*=1.0 小林市真方=0.9 宮崎市高岡町内山*=0.7 小林市役所*=0.5 宮崎都農町役場*=0.5	32° 13.3' N 130° 25.1' E	4km	M: 4.0
93	16 14 23	遠州灘 静岡県 1 湖西市新居町浜名*=1.2 湖西市吉美*=0.7 愛知県 1 豊橋市向山=1.3 豊川市御津町*=1.0 新城市作手清岳=0.8 蒲郡市御幸町*=0.8 西尾市矢曾根町*=0.7 新城市東入船*=0.6 三重県 1 伊勢市楠部町*=1.2	34° 26.0' N 137° 15.0' E	33km	M: 3.5
94	16 17 21	栃木県北部 栃木県 2 日光市湯元*=1.6 福島県 1 檜枝岐村上河原*=0.5	36° 48.8' N 139° 26.4' E	3km	M: 2.7
95	16 21 35	熊本県熊本地方 熊本県 1 八代市平山新町=0.6	32° 28.7' N 130° 36.2' E	0km	M: 1.0
96	17 00 07	茨城県南部 茨城県 3 桜川市真壁*=2.8 土浦市常名=2.8 筑西市舟生=2.8 茨城町小堤*=2.7 かすみがうら市上土田*=2.7 取手市寺田*=2.7 つくばみらい市福田*=2.7 取手市井野*=2.7 石岡市柿岡=2.6 石岡市八郷*=2.6 龍ヶ崎市役所*=2.6 笠間市石井*=2.6 小美玉市上玉里*=2.5 取手市藤代*=2.5 笠間市中央*=2.5 2 笠間市下郷*=2.4 石岡市若宮*=2.4 坂東市馬立*=2.4 稲敷市伊佐津*=2.4 桜川市岩瀬*=2.4 稲敷市役所*=2.3 土浦市藤沢*=2.3 美浦村受領*=2.3 常総市新石下*=2.3 茨城古河市仁連*=2.3 守谷市大柏*=2.2 利根町布川=2.2 水戸市内原町*=2.2 坂東市山*=2.2 稲敷市江戸崎甲*=2.2 石岡市石岡*=2.2 下妻市本城町*=2.2 つくば市小茎*=2.2 茨城古河市下大野*=2.2 常総市海海道諏訪町*=2.2 かすみがうら市大和田*=2.1 笠間市笠間*=2.1 桜川市羽田*=2.1 坂東市岩井=2.1 下妻市鬼怒*=2.1 ひたちなか市南神敷*=2.1 小美玉市堅倉*=2.1 河内町源清田*=2.1 北茨城市中郷町*=2.1 筑西市門井*=2.1 日立市助川小学校*=2.0 つくば市天王台*=2.0 筑西市二本成*=2.0 土浦市田中*=2.0 常陸大宮市野口*=2.0 坂東市役所*=2.0 阿見町中央*=2.0 小美玉市小川*=2.0 境町旭町*=2.0 牛久市中央*=1.9 常陸太田市金井町*=1.9 水戸市金町=1.9 つくばみらい市加藤*=1.8 大洗町磯浜町*=1.8 稲敷市結佐*=1.8 つくば市研究学園*=1.8 筑西市海老ヶ島*=1.8 東海村東海*=1.8 潮来市辻*=1.8 行方市玉造*=1.8 結城市中央町*=1.8 水戸市千波町*=1.8 城里町石塚*=1.8 茨城鹿嶋市鉢形=1.7 茨城鹿嶋市宮中*=1.7 鉾田市鉾田=1.7 常陸太田市町屋町=1.7 水戸市栗崎町*=1.7 常陸大宮市北町*=1.7 八千代町菅谷*=1.7 五霞町小福田*=1.7 神栖市溝口*=1.6 行方市麻生*=1.6 行方市山田*=1.6 高萩市安良川*=1.6 常陸大宮市山方*=1.6 鉾田市汲上*=1.6 那珂市福田*=1.6 日立市役所*=1.6 ひたちなか市山ノ上町=1.6 日立市十王町友部*=1.6 ひたちなか市東石川*=1.6 北茨城市磯原町*=1.5 那珂市瓜連*=1.5 鉾田市造谷*=1.5 城里町阿波山*=1.5 1 常陸太田市高柿町*=1.4 常陸大宮市中富町=1.4 潮来市堀之内=1.4 稲敷市須賀津*=1.4 大子町池田*=1.3 城里町徳蔵*=1.3 茨城古河市長谷町*=1.3 常陸大宮市上小瀬*=1.2 常陸太田市町田町*=1.1 高萩市本町*=1.1 常陸大宮市高部*=1.0 栃木県 3 栃木市岩舟町静*=2.6 益子町益子=2.6 栃木市大平町富田*=2.5 鹿沼市晃望台*=2.5 2 佐野市葛生東*=2.4 真岡市田町*=2.4 小山市神鳥谷*=2.3 真岡市荒野*=2.3 足利市大正町*=2.3 宇都宮市明保野町=2.2 宇都宮市中里町*=2.2 真岡市石島*=2.2 壬生町壬生甲*=2.2 下野市田中*=2.1 日光市鬼怒川温泉大原*=2.1 栃木市旭町=2.1 小山市中央町*=2.1 高根沢町石末*=2.0 下野市笹原*=2.0 大田原市湯津上*=2.0 宇都宮市中岡本町*=1.9 日光市足尾町中才*=1.9 佐野市高砂町*=1.9 日光市芹沼*=1.9 鹿沼市口栗野*=1.8 矢板市本町*=1.7 那須塩原市塩原庁舎*=1.7 茂木町茂木*=1.7 市貝町市塙*=1.7 野木町丸林*=1.7 栃木市藤岡町藤岡*=1.7 佐野市田沼町*=1.7 那須町寺子*=1.6 芳賀町祖母井*=1.6	36° 04.5' N 140° 08.9' E	67km	M: 4.9

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各地の震度 (計測震度)
		栃木さくら市氏家*=1.6 栃木市西方町本城*=1.6 日光市藤原庁舎*=1.6 日光市足尾町通洞*=1.5 栃木市万町*=1.5 栃木市都賀町原宿*=1.5 日光市黒部*=1.5 日光市瀬川=1.5 1 日光市湯元*=1.4 日光市御幸町*=1.4 宇都宮市塙田*=1.4 宇都宮市旭*=1.4 佐野市中町*=1.4 鹿沼市今宮町*=1.4 栃木さくら市喜連川*=1.4 那須塩原市あたご町*=1.3 栃木那珂川町馬頭*=1.3 栃木那珂川町小川*=1.3 塩谷町玉生*=1.3 下野市大松山*=1.2 日光市今市本町*=1.2 大田原市本町*=1.1 茂木町北高岡天矢場*=1.1 上三川町しらさぎ*=1.0 那須烏山市神長=1.0 那須烏山市大金*=0.9 那須塩原市鍋掛*=0.9 那須塩原市中塩原*=0.9 大田原市黒羽田町=0.9 那須塩原市共壘社*=0.8 那須烏山市役所*=0.8 日光市中宮祠=0.7 那須塩原市墓沼=0.5 3 館林市上三林町*=2.9 千代田町赤岩*=2.8 邑楽町中野*=2.8 大泉町日の出*=2.6 板倉町板倉=2.5 沼田市白沢町*=2.5 太田市西本町*=2.5 2 前橋市堀越町*=2.1 前橋市富士見町*=2.1 桐生市新里町*=2.1 太田市粕川町*=2.1 渋川市赤城町*=2.1 群馬明和町新里*=2.1 前橋市粕川町*=2.0 桐生市元宿町*=2.0 桐生市黒保根町*=2.0 伊勢崎市西久保町*=2.0 館林市城町*=2.0 沼田市西倉内町=1.9 太田市浜町*=1.8 渋川市吹屋*=1.8 みどり市笠懸町*=1.8 みどり市大間々町*=1.8 桐生市錦町=1.7 伊勢崎市今泉町*=1.7 伊勢崎市東町*=1.7 太田市大原町*=1.7 前橋市鼻毛石町*=1.7 沼田市下久屋町*=1.5 吉岡町下野田*=1.5 1 前橋市駒形町*=1.4 伊勢崎市境*=1.4 太田市新田金井町*=1.4 渋川市伊香保町*=1.4 安中市安中*=1.4 群馬昭和村糸井*=1.3 藤岡市鬼石*=1.3 玉村町下新田*=1.3 前橋市大手町*=1.2 高崎市高松町*=1.2 高崎市吉井町吉井川*=1.2 東吾妻町奥田*=1.0 渋川市有馬*=1.0 渋川市石原*=1.0 渋川市北橋町*=1.0 神流町生利*=1.0 みどり市東町*=1.0 沼田市利根町*=0.9 甘楽町小幡*=0.9 前橋市昭和町=0.9 高崎市箕郷町*=0.9 高崎市新町*=0.9 安中市松井田町*=0.8 高崎市足門町*=0.8 沼田市尾瀬高等学校=0.8 中之条町中之条町*=0.7 川場村谷地*=0.7 みなかみ町鹿野沢*=0.7 富岡市七日市=0.7 富岡市妙義町*=0.7 東吾妻町本宿*=0.7 みなかみ町後閑*=0.6 榛東村新井*=0.6 渋川市村上*=0.6 神流町神ヶ原*=0.6 群馬高山村中山*=0.5 3 加須市駒西*=2.8 八潮市中央*=2.8 行田市本丸*=2.7 行田市南河原*=2.7 宮代町笠原*=2.6 さいたま中央区下落合*=2.5 2 熊谷市妻沼*=2.4 久喜市下早見=2.4 羽生市東*=2.3 鴻巣市中央*=2.3 鴻巣市吹上富士見*=2.3 春日部市粕壁*=2.3 春日部市金崎*=2.3 さいたま大宮区大門*=2.3 さいたま南区別所*=2.2 本庄市児玉町=2.2 さいたま見沼区堀崎*=2.1 さいたま浦和区高砂=2.1 加須市大利根*=2.1 久喜市菖蒲*=2.1 上尾市本町*=2.1 蕨市中央*=2.1 桶川市泉*=2.1 さいたま北区宮原*=2.1 さいたま大宮区天沼町*=2.1 鴻巣市川里*=2.0 深谷市仲町*=2.0 川口市中青木分室*=2.0 春日部市谷原新田*=2.0 戸田市上戸田*=2.0 和光市広沢*=2.0 杉戸町清地*=2.0 熊谷市桜町=2.0 熊谷市宮町*=2.0 白岡市千駄野*=2.0 熊谷市大里*=2.0 熊谷市江南*=2.0 吉川市きよみ野*=1.9 吉見町下細谷*=1.9 さいたま桜区道場*=1.9 加須市北川辺*=1.9 東松山市松葉町*=1.9 三郷市中央*=1.9 草加市中央*=1.8 新座市野火止*=1.8 北本市本町*=1.8 富士見市鶴馬*=1.8 幸手市東*=1.8 越生町越生*=1.8 川島町下八ツ林*=1.8 滑川町福田*=1.8 埼玉美里町本部*=1.8 さいたま緑区中尾*=1.8 坂戸市千代田*=1.7 深谷市菅沼*=1.7 さいたま西区西大宮*=1.7 久喜市青葉*=1.7 久喜市栗橋*=1.7 久喜市鷲宮*=1.7 ときがわ町桃木*=1.7 さいたま岩槻区本丸*=1.7 加須市三俣*=1.7 朝霞市本町*=1.7 志木市中宗岡*=1.7 狭山市入間川*=1.6 さいたま浦和区常盤*=1.6 越谷市越ヶ谷*=1.6 川口市三ツ和*=1.6 川口市安行領家*=1.6 深谷市普濟寺*=1.5 松伏町松伏*=1.5 東松山市市ノ川*=1.5 所沢市北有楽町*=1.5 伊奈町中央*=1.5 1 深谷市花園*=1.4 毛呂山町中央*=1.4 鳩山町大豆戸=1.3 川越市新宿町*=1.3 入間市豊岡*=1.3 埼玉三芳町藤久保*=1.3 長瀨町野上下郷*=1.3 嵐山町杉山*=1.2 ときがわ町玉川*=1.2 鶴ヶ島市三ツ木*=1.2 小川町大塚*=1.1 ふじみ野市福岡*=1.1 長瀨町本野上*=1.1 埼玉神川町植竹*=1.0 上里町七本木*=1.0 川越市旭町*=1.0 秩父市近戸町*=1.0 本庄市本庄*=1.0 秩父市上町=0.9 皆野町皆野*=0.9 埼玉神川町下阿久原*=0.9 東秩父村御堂*=0.8 所沢市並木*=0.8 飯能市征矢町*=0.8 飯能市名栗*=0.8 ふじみ野市大井*=0.8 秩父市熊木町*=0.7 横瀬町横瀬*=0.7 日高市南平沢*=0.7 秩父市荒川*=0.5 小鹿野町小鹿野*=0.5 寄居町寄居*=0.5 3 柏市柏*=2.9 千葉花見川区花島町*=2.7 成田国際空港=2.7 野田市鶴寿*=2.6 八千代市大和田新田*=2.6 印西市大森*=2.6 柏市大島田*=2.5 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=2.5 印西市笠神*=2.5 白井市復*=2.5 2 千葉美浜区ひび野=2.4 柏市旭町=2.4 山武市埴谷*=2.3 市川市本行徳*=2.3 松戸市西馬橋*=2.3 千葉佐倉市海隣寺町*=2.3 浦安市日の出=2.3 印西市美瀬*=2.3 東金市日吉台*=2.2 市川市大町*=2.2 成田市役所*=2.2 習志野市鷺沼*=2.2 市原市姉崎*=2.2 我孫子市我孫子*=2.2 栄町安食台*=2.2 富里市七栄*=2.2 芝山町小池*=2.1 山武市蓮沼ニ*=2.1 船橋市湊町*=2.1 成田市中台*=2.1 千葉若葉区小倉台*=2.0 茂原市道表*=2.0 香取市役所*=2.0 千葉中央区中央港=1.9 千葉稲毛区園生町*=1.9 野田市東宝珠花*=1.9 成田市名古屋=1.9 流山市平和台*=1.9 神崎町神崎本宿*=1.9 君津市久留里市場*=1.9 南房総市白浜町白浜*=1.9 多古町多古=1.8 一宮町一宮=1.8 山武市松尾町富士見台=1.8 千葉美浜区稲毛海岸*=1.8 成田市松子*=1.8 浦安市猫実*=1.8 八街市八街*=1.8 旭市南堀之内*=1.8 山武市殿台*=1.7 四街道市鹿渡*=1.7 東金市東岩崎*=1.7 館山市北条*=1.7 富津市下飯野*=1.7 鯉南町下佐久間*=1.7 九十九里町片貝*=1.7 長南町総合グラウンド=1.7 香取市佐原諏訪台*=1.7 香取市羽根川*=1.7 山武市松尾町五反田*=1.6 南房総市岩糸*=1.6 南房総市谷向*=1.6 千葉若葉区野呂町*=1.6 東金市東新宿=1.6 市原市国分寺台中央*=1.6 香取市佐原平田=1.6 香取市仁良*=1.6 横芝光町宮川*=1.6 横芝光町栗山*=1.6 大多喜町大多喜*=1.5 いすみ市岬町長者*=1.5 いすみ市弥正*=1.5 南房総市富浦町青木*=1.5 市川市八幡*=1.5 睦沢町下之郷*=1.5 白子町関*=1.5 香取市岩部*=1.5 山武市蓮沼ハ*=1.5 大網白里市大網*=1.5 館山市長須賀=1.5 木更津市富士見*=1.5 千葉緑区おゆみ野*=1.5 1 長柄町桜谷*=1.4 長南町長南*=1.4 匝瑳市八日市場ハ*=1.4 酒々井町中央台*=1.4 いすみ市大原*=1.4 松戸市根本*=1.3 成田市猿山*=1.3 鴨川市横渚*=1.3 袖ヶ浦市坂戸市場*=1.3 長生村本郷*=1.3 旭市萩園*=1.2 匝瑳市今泉*=1.2 君津市久保*=1.2 木更津市太田=1.1

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		神奈川県 鴨川市八色=1.1 勝浦市墨名=1.0 南房総市上堀=1.0 旭市高生*=1.0 旭市ニ*=1.0 勝浦市新官*=0.9 銚子市川口町=0.7 銚子市小畑新町=0.7 横浜神奈川県区神大寺*=2.6 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=2.3 横浜戸塚区鳥が丘*=2.3 横浜港北区日吉本町*=2.2 横浜神奈川県区広台太田町*=2.1 横浜緑区十日市場町*=2.1 横浜鶴見区末広町*=2.0 横浜中区山手町=2.0 横浜緑区鴨居*=2.0 横浜瀬谷区中屋敷*=2.0 横浜旭区川井宿町*=1.9 横浜瀬谷区三ツ境*=1.9 川崎川崎区宮前町*=1.9 寒川町宮山*=1.9 厚木市中町*=1.9 湯河原町中央=1.9 横浜都筑区池辺町*=1.8 大和市下鶴間*=1.8 横浜西区浜松町*=1.7 横浜港南区野庭町*=1.7 横浜旭区大池町*=1.7 横浜旭区今宿東町*=1.7 川崎宮前区宮前平*=1.7 川崎宮前区野川*=1.7 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.7 座間市相武台*=1.7 綾瀬市深谷中*=1.7 山北町山北*=1.7 相模原緑区大島*=1.7 相模原緑区橋本*=1.7 横浜鶴見区鶴見*=1.6 横浜中区山吹町*=1.6 横浜磯子区磯子*=1.6 横浜戸塚区戸塚町*=1.6 横浜栄区小菅ヶ谷*=1.6 川崎川崎区千鳥町*=1.6 中井町比奈窪*=1.6 愛川町角田*=1.6 清川村煤ヶ谷*=1.6 相模原中央区中央=1.6 相模原緑区中野*=1.6 横浜中区山下町*=1.6 横浜金沢区白帆*=1.5 横浜戸塚区平戸町*=1.5 横浜泉区岡津町*=1.5 横浜泉区和泉中央北*=1.5 平塚市浅間町*=1.5 秦野市曾屋=1.5 厚木市下津古久*=1.5 松田町松田惣領*=1.5 相模原南区相模大野*=1.5 相模原緑区久保沢*=1.5 1 横浜保土ヶ谷区神戸町*=1.4 横浜磯子区洋光台*=1.4 横浜金沢区釜利谷南*=1.4 横浜港北区大倉山*=1.4 横浜港北区綱島西*=1.4 川崎中原区小杉陣屋町=1.4 横須賀市光の丘=1.4 海老名市大谷*=1.4 箱根町湯本*=1.4 相模原南区磯部*=1.4 横浜西区みなとみらい*=1.3 横浜金沢区寺前*=1.3 小田原市荻窪*=1.3 相模原中央区田名*=1.3 横浜中区日本大通*=1.2 横浜栄区桂台南*=1.2 横浜青葉区鴨志田町*=1.2 横浜都筑区茅ヶ崎*=1.2 川崎麻生区片平*=1.2 神奈川大井町金子*=1.2 横須賀市坂本町*=1.1 横浜港南区丸山台北部*=1.1 川崎川崎区中島*=1.1 川崎多摩区登戸*=1.1 藤沢市朝日町*=1.0 逗子市桜山*=1.0 三浦市三崎町*=1.0 伊勢原市伊勢原*=1.0 南足柄市関本*=1.0 横浜南区六ツ川*=1.0 川崎幸区戸手本町*=1.0 大磯町月京*=0.9 秦野市平沢*=0.8 相模原緑区小淵*=0.8 川崎麻生区万福寺*=0.8 鎌倉市御成町*=0.7 小田原市久野=0.6 福島県 2 玉川村小高*=1.9 いわき市錦町*=1.9 古殿町松川新桑原*=1.8 双葉町長塚*=1.7 西郷村熊倉*=1.6 大熊町大川原*=1.6 白河市東*=1.6 白河市表郷*=1.6 須賀川市八幡山*=1.5 白河市新白河*=1.5 田村市常葉町*=1.5 いわき市三和町=1.5 泉崎村泉崎*=1.5 1 二本松市針道*=1.4 棚倉町棚倉中居野=1.4 石川町長久保*=1.4 田村市都路町*=1.4 浪江町幾世橋=1.4 南相馬市小高区*=1.4 川内村上川内早渡*=1.3 鏡石町不時沼*=1.3 白河市大信*=1.3 須賀川市岩瀬支所*=1.3 浅川町浅川*=1.3 田村市大越町*=1.3 郡山市湖南町*=1.3 田村市滝根町*=1.3 いわき市小名浜=1.3 矢祭町東館*=1.2 須賀川市八幡町*=1.2 矢吹町一本木*=1.2 小野町小野新町*=1.1 相馬市中村*=1.1 檜葉町北田*=1.1 川内村上川内小山平*=1.1 福島市五老内町*=1.1 福島市花園町=1.1 南相馬市鹿島区西町*=1.1 川俣町五百田*=1.1 白河市郭内=1.0 本宮市本宮*=1.0 平田村永田*=1.0 檜枝岐村上河原*=1.0 南会津町田島=1.0 天栄村下松本*=1.0 福島広野町下北迫大谷地原*=1.0 二本松市油井*=1.0 白河市八幡小路*=0.9 小野町中通*=0.9 本宮市白岩*=0.9 葛尾村落合落合*=0.9 郡山市朝日=0.9 田村市船引町=0.9 天栄村湯本支所*=0.9 福島市桜木町*=0.9 猪苗代町城南=0.8 猪苗代町下園*=0.8 新地町谷地小屋*=0.8 飯館村伊丹沢*=0.8 南相馬市原町区三島町=0.8 南相馬市原町区高見町*=0.8 大熊町野上*=0.8 大玉村南小屋=0.8 矢祭町戸塚*=0.7 古殿町松川横川=0.7 いわき市平四ツ波*=0.7 川内村下川内=0.6 棚倉町棚倉館ヶ丘*=0.6 福島広野町下北迫苗代替*=0.6 只見町黒谷*=0.5 東京都 2 東京千代田区大手町=2.4 小平市小川町*=2.3 東京渋谷区本町*=2.2 東京中野区中野*=2.2 東京杉並区高井戸*=2.2 東京江戸川区中央=2.2 調布市西つつじヶ丘*=2.2 東京世田谷区三軒茶屋*=2.1 東京足立区神明南*=2.1 東京江戸川区鹿骨*=2.1 東京中央区勝どき*=2.0 東京江戸川区船堀*=2.0 町田市本町田*=2.0 小金井市本町*=2.0 東京墨田区吾妻橋*=1.9 東京江東区森下*=1.9 東京板橋区相生町*=1.9 東京練馬区光が丘*=1.9 東京千代田区富士見*=1.8 東京新宿区上落合*=1.8 東京文京区本郷*=1.8 東京江東区越中島*=1.8 東京世田谷区世田谷*=1.8 東京中野区江古田*=1.8 東京北区西ヶ原*=1.8 東京板橋区高島平*=1.8 東京足立区伊興*=1.8 東京葛飾区立石*=1.8 八王子市堀之内*=1.8 東京品川区北品川*=1.7 東京品川区平塚*=1.7 東京杉並区桃井*=1.7 東京豊島区南池袋*=1.7 東京荒川区東尾久*=1.7 東京練馬区豊玉北*=1.7 東京練馬区東大泉*=1.7 東京葛飾区金町*=1.7 八王子市石川町*=1.7 町田市忠生*=1.7 町田市森野*=1.7 東村山市本町*=1.7 東大和市中央*=1.7 多摩市関戸*=1.7 東京港区南青山*=1.7 東京中央区日本橋兜町*=1.6 東京港区海岸=1.6 日野市神明*=1.6 東京港区白金*=1.6 国分寺市泉町*=1.6 西東京市中町*=1.6 東京文京区大塚*=1.6 東京台東区千束*=1.6 東京墨田区東向島*=1.6 東京江東区青海=1.6 東京江東区東陽*=1.6 東京江東区枝川*=1.6 東京目黒区中央町*=1.6 東京世田谷区中町*=1.6 東京北区赤羽南*=1.6 東京足立区千住中居町*=1.6 東京荒川区荒川*=1.5 東京板橋区板橋*=1.5 東京千代田区麹町*=1.5 東京新宿区百人町*=1.5 東京墨田区横川=1.5 武蔵野市緑町*=1.5 国分寺市並木町=1.5 東京大田区本羽田*=1.5 東京世田谷区成城*=1.5 1 東京文京区スポーツセンタ*=1.4 東京台東区東上野*=1.4 東京江東区亀戸*=1.4 東京国際空港=1.4 東京大田区多摩川*=1.4 稲城市東長沼*=1.4 東京中央区築地*=1.3 東京新宿区西新宿=1.3 東京品川区広町*=1.3 東京大田区大森東*=1.3 八王子市大横町=1.3 武蔵野市吉祥寺東町*=1.3 三鷹市新川*=1.3 東京府中市朝日町*=1.3 東村山市美住町*=1.3 狛江市和泉本町*=1.3 東久留米市本町*=1.3 武蔵村山市本町*=1.3 あきる野市伊奈*=1.3 東京渋谷区宇田川町*=1.2 東京足立区中央本町*=1.2 国立市富士見台*=1.2 清瀬市中里*=1.2 清瀬市中清戸*=1.2 青梅市日向和田*=1.2 東京新宿区歌舞伎町*=1.2 瑞穂町箱根ヶ崎*=1.1 東京杉並区阿佐谷=1.1 東京府中市寿町*=1.1 東京港区芝公園*=1.1 昭島市田中町*=1.0 調布市小島町*=1.0 羽村市緑ヶ丘*=0.9 東京大田区蒲田*=0.9 立川市泉町*=0.9 多摩市鶴牧*=0.7 青梅市東青梅=0.6 日の出町平井*=0.6 檜原村本宿*=0.6 伊豆大島町元町=0.6 伊豆大島町差木地=0.5 山梨県 2 富士川町鯉沢*=2.0 山梨北杜市長坂町*=1.8 富士河口湖町長浜*=1.8 南アルプス市寺部*=1.6				

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		忍野村忍草*=1.6 1 甲府市相生*=1.4 笛吹市境川町藤壘*=1.4 大月市御太刀*=1.4 上野原市役所*=1.4 山中湖村山中*=1.4 昭和町押越*=1.3 市川三郷町六郷支所*=1.3 甲州市塩山上於曽*=1.3 甲府市飯田=1.2 甲州市勝沼町勝沼*=1.2 都留市上谷*=1.2 富士河口湖町船津=1.2 甲府市下曽根町*=1.1 笛吹市役所*=1.1 甲州市役所*=1.1 中央市大鳥居*=1.1 鳴沢村役場*=1.1 富士河口湖町勝山*=1.1 山梨市牧丘町窪平*=1.0 南アルプス市鮎沢*=1.0 笛吹市八代町南*=1.0 山梨北杜市高根町*=1.0 山梨北杜市大泉町*=1.0 甲州市塩山下於曽=1.0 中央市成島*=1.0 富士吉田市下吉田*=1.0 大月市大月=1.0 道志村釜之前*=1.0 西桂町小沼*=1.0 中央市臼井阿原*=0.9 富士川町天神中条*=0.9 身延町大磯小磯=0.9 笛吹市春日居町寺本*=0.9 山梨北杜市明野町*=0.9 大月市役所*=0.8 笛吹市一宮町末木*=0.8 富士吉田市上吉田*=0.8 富士河口湖町本栖*=0.7 小菅村小菅小学校*=0.7 甲府市古閑町*=0.7 上野原市四方津=0.7 山梨北杜市健康ランド須玉*=0.7 丹波山村丹波*=0.6 長野県 2 長野南牧村海ノ口*=1.6 茅野市葛井公園*=1.5 静岡県 1 佐久市中込*=1.2 富士見町落合*=0.9 中川村大草*=0.9 小海町豊里*=0.8 長野川上村大深山*=0.8 諏訪市湖岸通り=0.7 原村役場*=0.7 佐久市下小田切=0.6 軽井沢町追分=0.5 飯田市高羽町=0.5 2 東伊豆町奈良本*=1.8 伊豆市中伊豆グラウンド=1.7 1 富士宮市弓沢町=1.3 富士市吉永*=1.3 河津町田中*=1.2 伊豆の国市長岡*=1.2 富士宮市野中*=1.2 沼津市西間門*=1.0 富士市大淵*=1.0 御殿場市竈*=1.0 小山町藤曲*=1.0 小山町須走*=1.0 熱海市網代=0.9 西伊豆町宇久須*=0.9 函南町平井*=0.9 沼津市戸田*=0.9 熱海市泉*=0.8 沼津市原*=0.8 御殿場市萩原=0.7 静岡駿河区曲金=0.7 伊東市大原=0.6 西伊豆町仁科*=0.6 御殿場市茱萸沢*=0.6 三島市大社町*=0.5 松崎町江奈*=0.5 宮城県 1 岩沼市桜*=1.2 丸森町鳥屋*=1.0 角田市角田*=1.0 大河原町新南*=0.8 名取市増田*=0.7 大崎市田尻*=0.6 松島町高城=0.6 新潟県 1 南魚沼市六日町=1.1 湯沢町神立*=0.7 十日町市上山*=0.6 南魚沼市塩沢小学校*=0.6 南魚沼市塩沢庁舎*=0.5				
97	17 01 45	岩手県沖 青森県	40° 11.7' N	142° 15.5' E	44km	M: 3.8 1 八戸市湊町=0.7 八戸市内丸*=0.7 八戸市南郷*=0.7 三戸町在府小路町*=0.7 五戸町古館=0.6 青森南部町苫米地*=0.6
98	17 03 40	千葉県東方沖 茨城県 千葉県	35° 51.7' N	140° 54.7' E	32km	M: 3.4 1 茨城鹿嶋市宮中*=0.7 神栖市波崎*=0.7 茨城鹿嶋市鉢形=0.7 1 旭市南堀之内*=1.1 銚子市小畑新町=0.7 香取市仁良*=0.7 多古町多古=0.6
99	17 06 11	茨城県南部 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県	36° 06.1' N	139° 53.0' E	48km	M: 3.2 1 坂東市馬立*=1.0 笠間市笠間*=0.8 笠間市石井*=0.7 桜川市岩瀬*=0.7 常陸大宮市北町*=0.5 筑西市門井*=0.5 1 下野市笹原*=0.9 下野市田中*=0.8 宇都宮市明保野町=0.7 壬生町壬生甲*=0.6 1 板倉町板倉=0.5 1 宮代町笠原*=0.6
100	17 18 24	熊本県天草・芦北地方 熊本県	32° 22.0' N	130° 31.4' E	0km	M: 2.2 2 芦北町田浦町*=1.7
101	17 21 52	熊本県熊本地方 熊本県	32° 33.8' N	130° 38.0' E	11km	M: 3.3 2 八代市千丁町*=1.7 1 八代市新地町*=1.3 八代市平山新町=1.1 八代市鏡町*=1.1 八代市東陽町*=0.9 八代市泉支所*=0.9 宇土市浦田町*=0.8 宇城市不知火町*=0.8 宇城市小川町*=0.8 上天草市姫戸町*=0.8 氷川町島地*=0.7 氷川町宮原*=0.7 上天草市松島町*=0.7 八代市泉町=0.7 宇城市松橋町=0.6 五木村甲*=0.6 上天草市大矢野町=0.5
102	17 22 40	熊本県熊本地方 熊本県	32° 40.6' N	130° 42.5' E	16km	M: 3.0 1 熊本西区春日=1.1 宇土市浦田町*=0.6
103	18 02 04	熊本県熊本地方 熊本県	32° 42.1' N	130° 43.5' E	17km	M: 2.7 1 熊本西区春日=0.5
104	18 03 06	沖縄本島近海 鹿児島県	27° 15.5' N	128° 24.6' E	47km	M: 3.4 1 知名町瀬利寛=0.9
105	18 08 31	熊本県天草・芦北地方 熊本県	32° 14.2' N	130° 26.0' E	8km	M: 2.3 1 水俣市陣内*=0.9
106	18 10 07	日向灘 宮崎県 大分県 鹿児島県	32° 11.6' N	131° 57.9' E	20km	M: 4.3 2 宮崎都農町役場*=2.0 日南市南郷町南町*=1.5 1 高鍋町上江*=1.2 川南町川南*=1.2 宮崎美郷町田代*=1.1 串間市都井*=1.1 門川町平城東*=1.0 串間市役所*=1.0 宮崎市霧島=0.9 宮崎市田野町体育館*=0.9 宮崎市高岡町内山*=0.9 新富町上富田=0.9 西都市上の宮*=0.9 延岡市天神小路=0.8 宮崎市松橋*=0.8 日向市大王谷運動公園=0.8 西都市聖陵町*=0.7 国富町本庄*=0.6 日南市中央通*=0.6 日南市油津=0.5 日南市吾田東*=0.5 1 竹田市直入町*=0.5 1 鹿屋市新栄町=0.7 錦江町田代支所*=0.6

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
107	18 20 34	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 八代市平山新町=0.6	32° 27.2' N	130° 33.0' E	10km	M: 2.6
108	19 01 59	熊本県熊本地方 熊本県 2 宇城市豊野町*=2.0 1 宇城市不知火町*=1.3 宇城市松橋町=0.9 八代市鏡町*=0.8 宇城市小川町*=0.8 氷川町島地*=0.7 熊本南市区城南町*=0.5	32° 36.3' N	130° 41.7' E	10km	M: 2.8
109	19 04 45	福島県沖 宮城県 1 角田市角田*=0.5 福島県 1 白河市新白河*=0.8 玉川村小高*=0.5 茨城県 1 笠間市石井*=1.3 土浦市常名=0.8 日立市助川小学校*=0.7 水戸市千波町*=0.7 水戸市内原町*=0.7 筑西市門井*=0.7 桜川市岩瀬*=0.7 水戸市栗崎町*=0.6 笠間市笠間*=0.6 ひたちなか市南神敷台*=0.6 銚田市汲上*=0.6 東海村東海*=0.5 常陸大宮市北町*=0.5 城里町石塚*=0.5 高萩市安良川*=0.5 水戸市金町=0.5	36° 52.1' N	141° 40.0' E	72km	M: 4.2
110	19 06 15	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*=1.1 ひたちなか市南神敷台*=1.1 茨城鹿嶋市宮中*=1.0 水戸市千波町*=0.7 茨城鹿嶋市鉢形=0.6 東海村東海*=0.6 日立市役所*=0.5 城里町石塚*=0.5 ひたちなか市山ノ上町=0.5 水戸市栗崎町*=0.5	36° 12.9' N	141° 02.2' E	38km	M: 4.1
111	19 06 57	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日=1.1	32° 41.8' N	130° 44.1' E	13km	M: 2.5
112	19 07 48	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 芦北町芦北=1.3	32° 19.9' N	130° 30.4' E	9km	M: 2.7
113	19 09 29	日向灘 宮崎県 1 国富町本庄*=1.1 西都市上の宮*=0.9 宮崎市霧島=0.7 川南町川南*=0.7 綾町役場*=0.7 都城市山之口町花木*=0.6 日南市油津=0.5 宮崎市田野町体育館*=0.5 小林市真方=0.5	31° 45.1' N	131° 54.9' E	8km	M: 3.9
114	19 14 00	岩手県沖 岩手県 1 釜石市中妻町*=1.3 住田町世田*=1.0 山田町大沢*=0.9 一関市千厩町*=0.9 一関市東山町*=0.9 釜石市只越町=0.8 遠野市青笹町*=0.8 平泉町平泉*=0.7 一関市室根町*=0.6 大槌町上町*=0.6 奥州市前沢*=0.5	39° 08.4' N	142° 19.6' E	34km	M: 3.9
115	19 14 04	熊本県熊本地方 熊本県 1 甲佐町豊内*=0.5 山都町浜町*=0.5	32° 42.0' N	130° 43.3' E	17km	M: 2.7
116	19 21 07	天草灘 熊本県 3 天草市牛深町=2.7 天草市天草町*=2.6 2 天草市五和町*=2.4 天草市河浦町*=1.9 天草市新和町*=1.6 上天草市大矢野町=1.5 1 水俣市牧ノ内*=1.3 上天草市姫戸町*=1.3 水俣市陣内*=1.2 芦北町芦北=1.2 津奈木町小津奈木*=1.2 天草市倉岳町*=1.2 宇城市豊野町*=1.1 上天草市松島町*=1.1 天草市本渡町本渡*=1.0 球磨村渡*=1.0 苓北町志岐*=0.8 上天草市龍ヶ岳町*=0.8 八代市平山新町=0.8 熊本美里町永富*=0.8 人吉市蟹作町*=0.8 天草市本町=0.7 芦北町田浦町*=0.7 多良木町上球磨消防署*=0.7 八代市新地町*=0.6 宇城市松橋町=0.6 宇城市三角町*=0.6 熊本西区春日=0.5 人吉市西間下町=0.5 鹿児島県 3 長島町鷹巣*=2.6 長島町伊唐島*=2.6 2 薩摩川内市上飯町*=2.2 さつま町神子*=2.0 長島町指江*=1.9 伊佐市菱刈前目*=1.7 伊佐市大口鳥巢*=1.6 阿久根市鶴見町*=1.6 薩摩川内市祁答院町*=1.5 さつま町宮之城保健センタ*=1.5 1 長島町獅子島*=1.4 薩摩川内市入来町*=1.4 薩摩川内市東郷町*=1.3 南さつま市坊津町久志*=1.3 鹿児島出水市緑町*=1.2 鹿児島出水市野田町*=1.2 南さつま市大浦町*=1.2 南さつま市金峰町尾下*=1.2 薩摩川内市鹿島町*=1.2 鹿児島市東郡元=1.1 湧水町吉松*=1.1 始良市蒲生町北*=1.1 薩摩川内市里町*=1.1 薩摩川内市神田町*=1.1 鹿児島市喜入町*=1.0 霧島市横川町中ノ*=1.0 いちき串木野市緑町*=0.9 鹿児島市上谷口*=0.9 伊佐市大口山野=0.9 薩摩川内市中郷=0.9 さつま町宮之城屋地=0.8 枕崎市高見町=0.8 始良市加治木町本町*=0.8 鹿児島市本城*=0.7 阿久根市赤瀬川=0.7 鹿児島出水市高尾野町*=0.7 鹿児島空港=0.7 霧島市国分中央*=0.7 薩摩川内市下飯町青瀬=0.7 始良市宮島町*=0.6 薩摩川内市下飯町手打*=0.6 薩摩川内市樋脇町*=0.5 鹿児島市下福元=0.5 長崎県 2 長崎市元町*=2.1 長崎市野母町*=1.9 雲仙市小浜町雲仙=1.8 時津町浦*=1.8 諫早市東小路町=1.7 諫早市多良見町*=1.7 長崎市長浦町=1.7 1 松浦市志佐町*=1.4 長崎市黒浜町=1.4 南島原市口之津町*=1.4 南島原市加津佐町*=1.4 新上五島町有川*=1.4 諫早市堂崎町*=1.3 長崎市南山手=1.3 大村市玖島*=1.2 西海市西海町*=1.2 雲仙市雲仙出張所*=1.2 雲仙市南串山町*=1.2 諫早市森山町*=1.2 五島市岐宿町*=1.2 諫早市飯盛町*=1.1 平戸市鏡川町*=1.1 平戸市岩の上町=1.0 平戸市志々伎町*=1.0 川棚町中組*=1.0 佐世保市世知原町*=1.0 南島原市深江町*=0.9 雲仙市千々石町*=0.9 平戸市田平町*=0.9 長与町嬉里*=0.9 佐世保市鹿町町*=0.9 南島原市南有馬町*=0.9 南島原市北有馬町*=0.9 南島原市西有家町*=0.8 南島原市有家町*=0.8 東彼杵町蔵本*=0.8 佐世保市干尽町=0.8 佐々町本田原*=0.8 西海市西彼町*=0.8 雲仙市国見町=0.5 西海市大瀬戸町*=0.5 福岡県 1 久留米市津福本町=0.7	32° 20.4' N	129° 44.0' E	15km	M: 4.5

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		佐賀県 1 上峰町坊所※=1.4 白石町有明※=1.2 佐賀市川副※=1.0 神埼市千代田※=1.0 みやき町三根※=0.8 唐津市北波多※=0.8 武雄市武雄町昭和※=0.8 唐津市肥前※=0.7 みやき町北茂安※=0.7 白石町福田※=0.7 白石町福富※=0.7 佐賀市東与賀※=0.6 佐賀市久保田※=0.6 佐賀市駅前中央=0.5 江北町山口※=0.5				
		宮崎県 1 えびの市加久藤※=0.7 小林市真方=0.5				
117	19 21 23	宮古島近海 24° 59.5' N 125° 15.1' E 61km M: 3.7 沖縄県 1 宮古島市下地※=0.8 宮古島市平良池間=0.7 宮古島市平良西里※=0.6				
118	20 15 55	熊本県天草・芦北地方 32° 14.3' N 130° 25.7' E 0km M: 1.7 熊本県 1 水俣市陣内※=0.9 水俣市牧ノ内※=0.7				
119	20 16 28	奄美大島近海 28° 29.7' N 129° 21.6' E 66km M: 5.0 鹿児島県 3 奄美市名瀬矢之脇町=2.8 喜界町滝川=2.7 宇検村湯湾※=2.6 瀬戸内町加計呂麻島※=2.5 奄美市名瀬幸町※=2.5 2 瀬戸内町古仁屋※=2.3 奄美市笠利町里※=2.2 瀬戸内町与路島※=2.1 大和村思勝※=2.1 奄美市住用町西仲間※=2.1 瀬戸内町請島※=1.9 喜界町湾※=1.9 天城町平土野※=1.8 龍郷町屋入=1.7 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.6 龍郷町浦※=1.6 鹿児島十島村中之島出張所※=1.6 伊仙町伊仙※=1.5 1 鹿児島十島村宝島※=1.1 鹿児島十島村小宝島※=0.8 錦江町田代支所※=0.6 鹿屋市新栄町=0.5 天城町当部=0.5 知名町瀬利寛=0.5				
120	20 16 37	奄美大島近海 27° 34.8' N 128° 47.6' E 18km M: 2.6 鹿児島県 1 伊仙町伊仙※=0.7				
121	21 01 57	熊本県天草・芦北地方 32° 13.1' N 130° 21.4' E 1km M: 2.5 熊本県 2 水俣市陣内※=1.5 1 水俣市牧ノ内※=1.4				
122	21 08 07	熊本県天草・芦北地方 32° 13.6' N 130° 24.3' E 5km M: 2.1 熊本県 1 水俣市陣内※=1.1 水俣市牧ノ内※=0.8				
123	21 08 25	北海道東方沖 43° 33.0' N 146° 34.4' E 56km M: 4.9 北海道 2 根室市落石東※=2.1 根室市瑤瑤瑠※=1.9 別海町本別海※=1.7 浜中町茶内※=1.7 標津町北2条※=1.7 根室市厚床※=1.6 中標津町丸山※=1.6 根室市牧の内※=1.6 別海町常盤=1.5 1 清里町羽衣町※=1.4 釧路市黒金町※=1.4 標茶町塘路※=1.4 羅臼町岬町※=1.4 白糠町西1条※=1.1 別海町西春別※=1.1 釧路市幸町=1.0 浦幌町桜町※=1.0 根室市弥栄=1.0 斜里町本町=0.8 厚岸町真栄※=0.8 羅臼町緑町※=0.8 鶴居村鶴居東※=0.7 浜中町湯沸=0.7 十勝池田町西1条※=0.6 標津町古多糠=0.6 弟子屈町弟子屈※=0.6 十勝大樹町生花※=0.5 厚岸町尾幌=0.5				
124	21 08 49	岡山県北部 35° 18.4' N 133° 39.1' E 8km M: 3.0 岡山県 2 真庭市禾津※=2.0 真庭市蒜山上福田※=1.5 1 真庭市蒜山下福田※=1.3 真庭市蒜山下和※=0.9 真庭市豊栄※=0.8 鳥取県 1 江府町江尾※=1.2 江府町上之段広場※=0.6				
125	21 16 55	茨城県北部 36° 37.2' N 140° 38.6' E 7km M: 1.9 茨城県 1 日立市助川小学校※=0.5				
126	21 17 17	熊本県熊本地方 32° 43.8' N 130° 46.3' E 9km M: 2.2 熊本県 1 熊本西区春日=0.6 熊本南区城南町※=0.5				
127	21 19 42	熊本県天草・芦北地方 32° 14.1' N 130° 26.2' E 8km M: 2.3 熊本県 1 水俣市陣内※=0.9 水俣市牧ノ内※=0.8				
128	21 20 38	熊本県天草・芦北地方 32° 14.1' N 130° 26.3' E 7km M: 2.1 熊本県 1 水俣市陣内※=0.8				
129	21 21 14	宮城県沖 38° 12.8' N 142° 00.3' E 58km M: 3.6 宮城県 1 石巻市北上町※=0.5				
130	21 22 38	日向灘 32° 34.4' N 132° 05.6' E 36km M: 4.8 大分県 3 佐伯市上浦※=2.9 佐伯市米水津※=2.9 臼杵市臼杵※=2.6 津久見市宮本町※=2.6 佐伯市蒲江蒲江浦=2.6 佐伯市宇目※=2.5 佐伯市鶴見※=2.5 豊後大野市清川町※=2.5 佐伯市弥生※=2.5 2 竹田市荻町※=2.4 津久見市立花町※=2.3 佐伯市春日町※=2.3 佐伯市直川※=2.2 大分市新春日町※=2.1 豊後大野市大野町※=2.1 竹田市会々※=2.1 豊後大野市三重町=2.0 豊後大野市千歳町※=2.0 大分市佐賀関※=2.0 臼杵市野津町※=1.9 臼杵市乙見=1.9 竹田市竹田小学校※=1.8 竹田市久住町※=1.8 豊後大野市緒方町※=1.7 佐伯市役所※=1.7 佐伯市蒲江猪串浦=1.7 竹田市直入町※=1.7 大分市舞鶴町※=1.7 1 大分市野津原※=1.4 豊後大野市大飼町黒松※=1.4 豊後大野市大飼町大飼※=1.4 由布市挾間町※=1.3 佐伯市堅田=1.3 豊後大野市朝地町※=1.3 大分市明野北=1.2 豊後高田市御玉※=1.1 佐伯市本匠※=1.1 国東市国見町伊美※=0.9 由布市庄内町※=0.9 宇佐市上田※=0.8 竹田市直入小学校※=0.8 国東市田深※=0.8 別府市天間=0.8 日出町役場※=0.7 姫島村役場※=0.7 日田市前津江町※=0.7 別府市鶴見=0.6 別府市上野口町※=0.6 杵築市山香町※=0.6 国東市安岐町※=0.6				

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		宮崎県 豊後高田市真玉＊=0.5 豊後高田市香々地＊=0.5 国東市鶴川=0.5 3 延岡市北川町川内名白石＊=2.9 宮崎美郷町田代＊=2.5 2 延岡市天神小路=2.4 延岡市北浦町古江＊=2.4 宮崎都農町役場＊=2.3 門川町平城東＊=2.3 高千穂町三田井=2.3 延岡市北川町総合支所＊=2.2 川南町川南＊=2.0 高千穂町寺迫 ＊=2.0 延岡市北方町総合支所＊=1.9 日向市大王谷運動公園=1.9 延岡市東本小路＊=1.9 椎葉村総合運動公園＊=1.8 西都市上の宮＊=1.7 西都市聖陵町＊=1.7 宮崎美郷町宇納間＊=1.7 延岡市北方総合運動公園=1.6 日向市東郷町山陰＊=1.5 高鍋町上江＊=1.5 1 日向市富高＊=1.4 日向市亀崎=1.3 諸塚村家代＊=1.3 椎葉村下福良＊=1.3 国富町本庄＊=1.3 五ヶ瀬町三ヶ所＊=1.2 小林市中原＊=1.2 宮崎都農町川北=1.1 宮崎市松橋＊=1.1 小林市真方=1.1 高原町西麓＊=1.1 宮崎美郷町神門＊=1.0 宮崎市高岡町内山＊=1.0 日南市南郷町南町＊=1.0 木城町高城＊=1.0 小林市野尻町東麓＊=1.0 宮崎市霧島=0.9 新富町上富田=0.9 日之影町七折＊=0.8 綾町南保健健康センター＊=0.8 綾町役場＊=0.8 えびの市加久藤＊=0.8 宮崎市田野町体育館＊=0.7 小林市役所＊=0.5 愛媛県 2 愛南町船越＊=2.0 西予市宇和町＊=1.9 伊方町湊浦＊=1.8 宇和島市吉田町＊=1.7 愛南町一本松＊=1.6 宇和島市津島町＊=1.5 宇和島市住吉町=1.5 1 大洲市大洲＊=1.4 西予市明浜町＊=1.4 愛南町柏＊=1.4 西予市三瓶町＊=1.3 愛南町城辺＊=1.3 愛南町御荘＊=1.2 八幡浜市五反田＊=1.2 八幡浜市保内町＊=1.2 今治市大西町＊=1.1 宇和島市三間町＊=1.0 松野町松丸＊=0.8 大洲市肱川町＊=0.7 高知県 2 宿毛市桜町＊=2.2 1 黒潮町佐賀＊=1.2 大月町弘見＊=1.1 宿毛市小筑紫町田ノ浦=0.8 高知香南市夜須町坪井＊=0.6 佐賀県 2 上峰町坊所＊=1.5 1 白石町有明＊=1.1 みやき町北茂安＊=1.1 神崎市千代田＊=1.1 白石町福田＊=0.9 みやき町三根＊=0.9 佐賀市川副＊=0.8 白石町福富＊=0.8 小城市芦刈＊=0.7 熊本県 2 産山村山鹿＊=2.3 熊本高森町高森＊=2.1 阿蘇市波野＊=2.1 熊本美里町永富＊=1.9 熊本美里町馬場＊=1.5 宇城市小川町＊=1.5 1 阿蘇市内牧＊=1.4 南阿蘇村吉田＊=1.4 西原村小森＊=1.4 宇城市松橋町=1.4 宇城市不知火町＊=1.4 宇城市豊野町＊=1.4 山都町今＊=1.4 八代市平山新町=1.3 山都町浜町＊=1.3 山都町大平＊=1.3 八代市鏡町＊=1.3 氷川町島地＊=1.3 熊本南区城南町＊=1.3 宇土市浦田町＊=1.3 南阿蘇村河陽＊=1.2 天草市五和町＊=1.2 南阿蘇村河陰＊=1.1 人吉市蟹作町＊=1.1 あさぎり町岡原＊=1.1 八代市新地町＊=1.1 宇城市三角町＊=1.0 芦北町芦北=1.0 上天草市大矢野町=1.0 南阿蘇村中松=1.0 人吉市西間下町=1.0 多良木町多良木=0.9 多良木町上球磨消防署＊=0.9 五木村甲＊=0.8 熊本西区春日=0.8 八代市泉町=0.6 島根県 1 益田市常盤町＊=0.5 広島県 1 呉市音戸町＊=1.2 江田島市能美町＊=0.9 呉市安浦町＊=0.9 府中町大通り＊=0.9 呉市川尻町＊=0.7 尾道市瀬戸田町＊=0.7 福山市内海町＊=0.7 大竹市小方＊=0.6 呉市宝町=0.6 江田島市大柿町＊=0.6 尾道市向島町＊=0.5 山口県 1 山口市阿知須＊=0.9 周防大島町久賀＊=0.8 周防大島町東和総合支所＊=0.8 宇部市東須恵＊=0.7 山陽小野田市日の出＊=0.7 柳井市南町＊=0.7 周防大島町平野＊=0.7 柳井市大島＊=0.6 岩国市横山＊=0.5 防府市西浦＊=0.5 福岡県 1 久留米市津福本町=1.3 長崎県 1 南島原市口之津町＊=0.8 鹿児島県 1 伊佐市菱刈前目＊=1.2 伊佐市大口鳥巢＊=0.7				
131	21 23 32	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校＊=1.2 東海村東海＊=1.0 高萩市安良川＊=0.7 高萩市本町＊=0.5 水戸市金町=0.5	36° 37.0' N	141° 00.8' E	45km	M: 3.5
132	22 01 39	熊本県熊本地方 熊本県 3 宇城市豊野町＊=2.8 宇城市不知火町＊=2.6 宇土市浦田町＊=2.6 2 宇城市松橋町=2.3 熊本美里町永富＊=2.0 甲佐町豊内＊=2.0 氷川町島地＊=1.9 八代市鏡町＊=1.8 熊本美里町馬場＊=1.8 熊本南区城南町＊=1.8 宇城市小川町＊=1.6 1 八代市千丁町＊=1.4 大津町大津＊=1.4 御船町御船＊=1.3 八代市東陽町＊=1.2 氷川町宮原＊=1.2 熊本西区春日=1.2 益城町宮園＊=1.1 山都町浜町＊=1.1 西原村小森＊=1.1 八代市泉支所＊=1.1 熊本高森町高森＊=0.9 上天草市大矢野町=0.9 八代市新地町＊=0.8 八代市平山新町=0.8 八代市泉町=0.8 上天草市松島町＊=0.8 熊本東区佐土原＊=0.5 宮崎県 1 延岡市北川町川内名白石＊=0.5 西都市上の宮＊=0.5 椎葉村総合運動公園＊=0.5 鹿児島県 1 長島町伊唐島＊=0.5	32° 37.4' N	130° 42.5' E	12km	M: 3.5
133	22 07 29	福島県沖 宮城県 1 亘理町悠里＊=1.1 石巻市桃生町＊=0.9 岩沼市桜＊=0.8 宮城川崎町前川＊=0.8 角田市角田＊=0.7 蔵王町円田＊=0.7 山元町浅生原＊=0.6 名取市増田＊=0.6 涌谷町新町裏=0.6 大崎市古川三日町=0.5 福島県 1 相馬市中村＊=1.2 国見町藤田＊=1.1 田村市都路町＊=1.1 いわき市三和町=1.1 田村市大越町＊=1.0 大熊町大川原＊=1.0 白河市新白河＊=0.9 玉川村小高＊=0.8 川内村上川内早渡＊=0.8 田村市船引町=0.7 檜葉町北田＊=0.7 田村市滝根町＊=0.7 浪江町幾世橋=0.7 川俣町五百田＊=0.6 福島伊達市梁川町＊=0.6 天栄村下松本＊=0.6 小野町小野新町＊=0.6 須賀川市岩瀬支所＊=0.6 田村市常葉町＊=0.6 南相馬市原町区高見町＊=0.5	37° 30.4' N	142° 07.1' E	34km	M: 4.6
134	22 08 27	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 八代市平山新町=0.5	32° 31.4' N	130° 33.7' E	13km	M: 2.9
135	22 15 34	茨城県南部 茨城県 3 石岡市柿岡=2.7 笠間市下郷＊=2.6 水戸市内原町＊=2.5 2 笠間市笠間＊=2.4 桜川市真壁＊=2.3 土浦市常名=2.2 笠間市石井＊=2.2 笠間市中央＊=2.1 常陸大宮市北町＊=2.0 石岡市八郷＊=2.0 坂東市馬立＊=2.0 筑西市二本成＊=1.9 水戸市千波町＊=1.8	36° 09.3' N	140° 01.8' E	50km	M: 3.9

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源日時	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		筑西市舟生=1.8 桜川市岩瀬*=1.7 石岡市石岡*=1.7 水戸市栗崎町*=1.7 石岡市若宮*=1.7 小美玉市堅倉*=1.7 土浦市藤沢*=1.6 境町旭町*=1.6 常陸大宮市山方*=1.6 坂東市役所*=1.6 城里町石塚*=1.6 筑西市海老ヶ島*=1.6 稲敷市結佐*=1.5 取手市寺田*=1.5 筑西市門井*=1.5 つくば市研究学園*=1.5 茨城鹿嶋市鉢形=1.5 常陸大宮市野口*=1.5 守谷市大柏*=1.5 茨城町小堤*=1.5 下妻市本城町*=1.5 稲敷市江戸崎甲*=1.5 1 水戸市金町=1.4 常陸太田市町屋町=1.4 城里町阿波山*=1.4 つくば市天王台*=1.4 八千代町菅谷*=1.3 坂東市山*=1.3 かすみがうら市大和田*=1.3 桜川市羽田*=1.3 鉾田市造谷*=1.3 ひたちなか市南神敷台*=1.3 日立市十王町友部*=1.3 日立市助川小学校*=1.3 常総市新石下*=1.2 つくばみらい市福田*=1.2 美浦村受領*=1.2 城里町徳蔵*=1.2 坂東市岩井=1.2 小美玉市小川*=1.2 茨城古河市仁連*=1.2 かすみがうら市上土田*=1.2 大洗町磯浜町*=1.2 つくば市小茎*=1.2 行方市玉造*=1.1 ひたちなか市東石川*=1.1 高萩市安良川*=1.1 那珂市福田*=1.1 稲敷市伊佐津*=1.0 結城市中央町*=1.0 常総市水海道諏訪町*=1.0 下妻市鬼怒*=1.0 土浦市田中*=1.0 行方市麻生*=1.0 東海村東海*=1.0 小美玉市上玉里*=0.9 茨城鹿嶋市宮中*=0.9 五霞町小福田*=0.9 稲敷市須賀津*=0.9 鉾田市汲上*=0.8 常陸太田市町田町*=0.8 那珂市瓜連*=0.8 茨城古河市下大野*=0.8 大子町池田*=0.8 鉾田市鉾田=0.8 利根町布川=0.7 阿見町中央*=0.7 潮来市辻*=0.7 常陸大宮市高部*=0.7 常陸大宮市上小瀬*=0.6 龍ヶ崎市役所*=0.6 常陸太田市高柿町*=0.6 牛久市中央*=0.6 日立市役所*=0.6 常陸大宮市中富町=0.6 つくばみらい市加藤*=0.6 ひたちなか市山ノ上町=0.6 神栖市溝口*=0.5 行方市山田*=0.5 稲敷市役所*=0.5 2 益子町益子=2.2 壬生町壬生甲*=2.1 栃木市旭町=2.0 真岡市石島*=2.0 小山市神鳥谷*=1.9 真岡市荒町*=1.9 宇都宮市明保野町=1.9 鹿沼市晃望台*=1.9 小山市中央町*=1.7 栃木市大平町富田*=1.6 栃木市岩舟町静*=1.6 真岡市田町*=1.5 1 下野市笹原*=1.4 宇都宮市中里町*=1.3 下野市田中*=1.2 栃木市藤岡町藤岡*=1.1 栃木市西方町本城*=1.1 茂木町茂木*=1.1 市貝町市塙*=0.9 芳賀町祖母井*=0.9 栃木市都賀町原宿*=0.9 佐野市葛生東*=0.9 下野市大松山*=0.8 鹿沼市今宮町*=0.8 上三川町しらさぎ*=0.8 宇都宮市塙田*=0.8 宇都宮市旭*=0.8 野木町丸林*=0.8 栃木市万町*=0.7 日光市芹沼*=0.7 佐野市高砂町*=0.7 鹿沼市口栗野*=0.7 宇都宮市中岡本町*=0.7 足利市大正町*=0.7 日光市鬼怒川温泉大原*=0.7 日光市藤原庁舎*=0.6 佐野市中町*=0.6 日光市足尾町中才*=0.5 埼玉県 2 春日部市粕壁*=1.7 1 加須市大利根*=1.4 久喜市栗橋*=1.3 春日部市金崎*=1.3 久喜市下早見=1.2 北本市本町*=1.0 八潮市中央*=1.0 加須市騎西*=1.0 久喜市鷺宮*=1.0 川越市新宿町*=1.0 東松山市松葉町*=0.9 久喜市青葉*=0.9 和光市広沢*=0.9 桶川市泉*=0.9 宮代町笠原*=0.9 さいたま北区宮原*=0.9 さいたま見沼区堀崎*=0.9 上尾市本町*=0.8 幸手市東*=0.8 さいたま大宮区大門*=0.8 鴻巣市吹上富士見*=0.8 さいたま浦和区高砂=0.8 白岡市千駄野*=0.7 川口市中青木分室*=0.7 春日部市谷原新田*=0.7 羽生市東*=0.7 さいたま西区西大宮*=0.7 鴻巣市中央*=0.6 鴻巣市川里*=0.6 蓮田市黒浜*=0.6 滑川町福田*=0.6 三郷市中央*=0.5 久喜市菖蒲*=0.5 草加市中央*=0.5 熊谷市江南*=0.5 加須市三俣*=0.5 千葉県 2 野田市鶴奉*=1.7 1 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.4 成田市中台*=1.3 柏市旭町=1.3 山武市埴谷*=1.2 千葉花見川区花島町*=1.1 市川市大町*=1.1 成田市名古屋=1.1 八千代市大和田新田*=1.1 白井市復*=1.1 芝山町小池*=1.0 香取市佐原諏訪台*=1.0 山武市蓮沼二*=1.0 野田市東宝珠花*=1.0 成田国際空港=1.0 習志野市鷺沼*=1.0 栄町安食台*=1.0 香取市役所*=0.9 船橋市湊町*=0.9 浦安市日の出=0.9 香取市佐原平田=0.9 千葉稲毛区園生町*=0.8 松戸市西馬橋*=0.8 柏市柏*=0.8 柏市大島田*=0.8 我孫子市我孫子*=0.8 印西市大森*=0.8 香取市仁良*=0.8 成田市松子*=0.6 印西市美瀬*=0.6 酒々井町中央台*=0.6 市川市本行徳*=0.6 神崎町神崎本宿*=0.6 群馬県 1 板倉町板倉=1.1 邑楽町中野*=0.9 館林市城町*=0.7 群馬明和町新里*=0.6 東京都 1 東京練馬区豊玉北*=1.0 東京葛飾区立石*=1.0 東京江戸川区中央=1.0 東京足立区神明南*=0.8 東京新宿区上落合*=0.7 調布市西つつじヶ丘*=0.7 東京千代田区大手町=0.6 東京文京区大塚*=0.6 東京中野区江古田*=0.6 東京杉並区高井戸*=0.6 東京北区西ヶ原*=0.5 東京板橋区相生町*=0.5 神奈川県 1 川崎川崎区宮前町*=0.6				
136	22 18 49	奄美大島近海 鹿児島県 1 伊仙町伊仙*=1.4	27° 34.8' N	128° 49.8' E	17km	M: 3.4
137	22 19 46	トカラ列島近海 鹿児島県 1 瀬戸内町与路島*=1.2 大和村思勝*=1.0 瀬戸内町請島*=0.9 瀬戸内町加計呂麻島*=0.9 奄美市名瀬矢之脇町=0.9 宇検村湯湾*=0.8	28° 56.3' N	128° 44.2' E	13km	M: 5.2
138	22 21 51	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 球磨村渡*=0.9 芦北町芦北=0.5	32° 19.4' N	130° 28.9' E	9km	M: 2.5
139	23 02 33	秋田県沖 秋田県 1 秋田市八橋運動公園*=0.6	39° 49.1' N	139° 59.5' E	17km	M: 2.6
140	23 06 51	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 水俣市陣内*=0.9 水俣市牧ノ内*=0.6	32° 14.2' N	130° 26.1' E	7km	M: 2.3
141	23 09 27	熊本県熊本地方 熊本県 2 宇城市豊野町*=2.1 熊本美里町馬場*=1.8 甲佐町豊内*=1.7 宇城市小川町*=1.7 熊本美里町永富*=1.6 宇城市松橋町=1.5 氷川町島地*=1.5 1 宇土市浦田町*=1.4 宇城市不知火町*=1.1 八代市千丁町*=0.9 熊本南区城南町*=0.9	32° 39.1' N	130° 44.2' E	11km	M: 3.2

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		八代市鏡町※=0.8 熊本西区春日=0.6 御船町御船※=0.6				
142	24 01 30	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市下地※=1.0 宮古島市城辺福北=0.9 宮古島市伊良部前里添=0.6	24° 43.6' N	125° 25.0' E	46km	M: 3.2
143	24 01 33	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 水俣市陣内※=1.0 水俣市牧ノ内※=0.8	32° 12.8' N	130° 21.5' E	4km	M: 2.6
144	24 06 35	岩手県沖 岩手県 2 軽米町軽米※=1.6 1 久慈市枝成沢=0.8 久慈市川崎町=0.7 岩手洋野町大野※=0.7 盛岡市藪川※=0.7 九戸村伊保内※=0.7 八幡平市田頭※=0.6 青森県 1 八戸市内丸※=1.2 八戸市湊町=1.0 階上町道仏※=1.0 青森南部町苫米地※=0.9 八戸市南郷※=0.8 青森南部町平※=0.5 五戸町古館=0.5	40° 22.0' N	142° 12.8' E	46km	M: 3.7
145	24 09 51	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校※=1.3 高萩市安良川※=1.3 水戸市栗崎町※=0.9 水戸市千波町※=0.9 水戸市内原町※=0.9 水戸市金町=0.8 高萩市本町※=0.8 茨城町小堤※=0.7 東海村東海※=0.7 日立市役所※=0.6 ひたちなか市南神敷台※=0.6 常陸大宮市山方※=0.6 土浦市常名=0.6 笠間市石井※=0.5 ひたちなか市東石川※=0.5	36° 24.3' N	141° 03.8' E	41km	M: 3.4
146	24 12 39	岐阜県美濃東部 岐阜県 1 瑞浪市上平町※=0.7	35° 26.9' N	137° 22.5' E	9km	M: 2.7
147	24 17 27	千葉県北東部 茨城県 1 行方市麻生※=0.9 茨城鹿嶋市鉢形=0.9 潮来市辻※=0.9 土浦市常名=0.8 稲敷市結佐※=0.7 かすみがうら市大和田※=0.7 潮来市堀之内=0.7 茨城鹿嶋市宮中※=0.7 稲敷市江戸崎甲※=0.6 かすみがうら市上土田※=0.6 美浦村受領※=0.6 稲敷市須賀津※=0.6 小美玉市堅倉※=0.5 稲敷市伊佐津※=0.5 千葉県 1 芝山町小池※=1.4 香取市仁良※=1.4 旭市南堀之内※=1.3 香取市役所※=1.3 旭市高生※=1.3 多古町多古=1.2 旭市ニ※=1.2 香取市佐原諏訪台※=1.1 匝瑳市八日市場ハ※=1.1 香取市佐原平田=1.1 成田市松子※=1.0 東金市日吉台※=0.9 山武市埴谷※=0.9 成田市中台※=0.9 匝瑳市今泉※=0.9 山武市蓮沼※=0.8 横芝光町宮川※=0.7 山武市松尾町富士見台=0.7 成田国際空港=0.7 成田市名古屋=0.7 東金市東新宿=0.7 栄町安食台※=0.6 長南町総合グラウンド=0.5	35° 43.1' N	140° 36.8' E	49km	M: 3.5
148	24 21 30	宮城県沖 宮城県 2 石巻市桃生町※=1.8 登米市豊里町※=1.6 女川町女川※=1.6 涌谷町新町裏=1.5 1 石巻市鮎川浜※=1.4 石巻市大街道南※=1.4 石巻市泉町=1.3 石巻市北上町※=1.3 石巻市雄勝町※=1.3 大崎市鹿島台※=1.2 大崎市田尻※=1.2 気仙沼市唐桑町※=1.1 気仙沼市笹が陣※=1.0 東松島市矢本※=1.0 松島町高城=1.0 岩沼市桜※=0.9 宮城川崎町前川※=0.9 亘理町悠里※=0.9 東松島市小野※=0.9 登米市東和町※=0.9 宮城美里町北浦※=0.8 名取市増田※=0.8 登米市南方町※=0.8 石巻市前谷地※=0.8 仙台宮城野区苦竹※=0.7 仙台若林区遠見塚※=0.7 気仙沼市赤岩=0.7 七ヶ浜町東宮浜※=0.7 南三陸町歌津※=0.7 山元町浅生原※=0.6 登米市米山町※=0.6 栗原市栗駒=0.6 石巻市相野谷※=0.6 仙台泉区将監※=0.6 登米市石越町※=0.6 仙台宮城野区五輪=0.5 登米市中田町=0.5 柴田町船岡=0.5 登米市津山町※=0.5 栗原市築館※=0.5 岩手県 1 一関市千厩町※=1.3 一関市藤沢町※=1.2 一関市室根町※=1.2 住田町世田米※=0.9 一関市大東町=0.7 大船渡市大船渡町=0.7 一関市東山町※=0.7 釜石市中妻町※=0.5 福島県 1 相馬市中村※=0.8 飯館村伊丹沢※=0.8 大熊町大川原※=0.6 田村市船引町=0.5 南相馬市鹿島区西町※=0.5	38° 10.8' N	141° 42.8' E	52km	M: 3.8
149	24 22 38	熊本県天草・芦北地方 熊本県 2 八代市平山新町=2.1 1 上天草市松島町※=0.8 八代市坂本町※=0.6 八代市新地町※=0.6 八代市千丁町※=0.5 上天草市姫戸町※=0.5	32° 27.7' N	130° 33.7' E	8km	M: 3.0
150	24 22 46	熊本県熊本地方 熊本県 1 宇土市浦田町※=1.0 宇城市豊野町※=1.0 宇城市不知火町※=0.8 熊本南区城南町※=0.5	32° 39.8' N	130° 42.4' E	13km	M: 2.9
151	25 08 46	福島県会津 福島県 1 南会津町界※=0.9 福島金山町川口※=0.5	37° 25.1' N	139° 26.4' E	5km	M: 2.9
152	25 08 53	熊本県天草・芦北地方 熊本県 2 水俣市陣内※=1.9 水俣市牧ノ内※=1.7 1 津奈木町小津奈木※=1.0 球磨村渡※=0.7 芦北町芦北=0.5 鹿児島県 1 長島町伊唐島※=1.2 長島町鷹巣※=1.0 鹿児島出水市緑町※=0.9	32° 14.2' N	130° 26.4' E	7km	M: 2.9
153	25 13 11	福島県会津 福島県 1 下郷町高岡※=1.0	37° 18.6' N	139° 56.4' E	10km	M: 2.3
154	25 17 04	熊本県熊本地方 熊本県 1 氷川町島地※=0.9 宇城市小川町※=0.6 八代市東陽町※=0.6	32° 33.9' N	130° 41.3' E	3km	M: 2.1
155	26 04 14	沖縄本島近海	26° 51.1' N	128° 36.2' E	13km	M: 4.0

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
156	26 10 31	沖縄県	1	国頭村辺土名	*=0.5	
		熊本県熊本地方	32° 44.6' N	130° 47.8' E	8km	M: 4.6
		熊本県	4	益城町宮園	*=4.4	熊本東区佐土原*=4.1 熊本南区城南町*=3.9 嘉島町上島*=3.8 西原村小森*=3.6
			3	御船町御船	*=3.4	熊本中央区大江*=3.3 宇城市松橋町=3.2 熊本西区春日=3.2 大津町大津*=3.1
				宇城市豊野町	*=3.1	熊本美里町永富*=3.0 熊本北区植木町*=3.0 合志市竹迫*=2.8
				宇城市不知火町	*=2.8	玉名市天水町*=2.7 熊本美里町馬場*=2.7 和水町江田*=2.7
				菊池市旭志	*=2.6	菊陽町久保田*=2.6 宇土市浦田町*=2.6 合志市御代志*=2.6 大津町引水*=2.5
				宇城市小川町	*=2.5	
			2	甲佐町豊内	*=2.3	南阿蘇村河陽*=2.2 玉名市横島町*=2.2 阿蘇市内牧*=2.2 山都町浜町*=2.1
				熊本高森町高森	*=2.0	氷川町島地*=2.0 玉東町木葉*=1.9 八代市千丁町*=1.9 八代市鏡町*=1.9
		福岡県		南阿蘇村河陰	*=1.9	菊池市泗水町*=1.9 山鹿市鹿央町*=1.7 菊池市隈府*=1.7 玉名市中尾*=1.7
				菊池市七城町	*=1.7	南阿蘇村吉田*=1.7 山都町今*=1.6 氷川町宮原*=1.6 長洲町長洲*=1.5
				山鹿市老人福祉センター	*=1.5	山鹿市山鹿*=1.5 上天草市大矢野町=1.5
			1	八代市平山新町	=1.4	八代市新地町*=1.4 玉名市岱明町*=1.4 山鹿市鹿本町*=1.4
				宇城市三角町	*=1.4	天草市五和町*=1.4 山都町大平*=1.3 山鹿市菊鹿町*=1.3 山鹿市鹿北町*=1.2
				南阿蘇村中松	=1.2	あさぎり町須恵*=1.2 上天草市松島町*=1.2 上天草市姫戸町*=1.1
				南関町関町	*=1.1	和水町板橋*=1.1 荒尾市宮内出目*=1.0 多良木町多良木*=0.9
				多良木町上球磨消防署	*=0.9	熊本小国町宮原*=0.8 水上村岩野*=0.8 芦北町芦北*=0.8
				芦北町田浦町	*=0.8	八代市東陽町*=0.8 人吉市蟹作町*=0.8 五木村甲*=0.7 八代市泉町=0.7
				人吉市西間下町	=0.6	球磨村渡*=0.6 水俣市牧ノ内*=0.5
		長崎県	2	久留米市津福本町	=1.6	みやま市高田町*=1.6
			1	八女市矢部村	*=1.4	久留米市小森野町*=1.3 柳川市三橋町*=1.3 柳川市本町*=1.2
				久留米市城島町	*=1.2	筑前町篠隈*=1.2 みやま市瀬高町*=1.1 大木町八町牟田*=1.1
				大牟田市有明町	*=1.0	八女市吉田*=1.0 大牟田市昭和町*=1.0 八女市黒木町今*=0.9
				八女市本町	*=0.9	八女市立花町*=0.7 大牟田市笹林=0.7 赤村内田*=0.7 嘉麻市大隈町*=0.7
				東峰村宝珠山	*=0.6	大刀洗町富多*=0.6 みやこ町犀川本庄*=0.6 筑前町下高場=0.6
				飯塚市立岩	*=0.6	みやこ町勝山上田*=0.5
			2	南島原市深江町	*=1.6	雲仙市小浜町雲仙=1.6
			1	南島原市北有馬町	*=1.2	南島原市布津町*=1.0 南島原市加津佐町*=1.0 島原市有明町*=1.0
				雲仙市南串山町	*=1.0	南島原市口之津町*=1.0 雲仙市国見町=0.9 雲仙市雲仙出張所*=0.8
		宮崎県	2	延岡市北方町総合支所	*=2.0	椎葉村下福良*=1.9 椎葉村総合運動公園*=1.6 宮崎美郷町田代*=1.6
				高千穂町三田井	=1.5	
			1	延岡市北川町川内名白石	*=1.3	西都市上の宮*=1.1 西都市聖陵町*=1.1 川南町川南*=1.1
				高千穂町寺迫	*=1.0	小林市真方=1.0 高原町西麓*=0.9 宮崎都農町役場*=0.8 宮崎市霧島=0.8
				国富町本庄	*=0.8	宮崎美郷町神門*=0.7 宮崎市高岡町内山*=0.7 高鍋町上江*=0.7
				木城町高城	*=0.6	都城市山之口町花木*=0.5
		佐賀県	1	佐賀市川副	*=1.2	上峰町坊所*=1.1 嬉野市下宿乙*=1.1 みやき町北茂安*=1.0 小城市芦刈*=1.0
				神埼市千代田	*=1.0	佐賀市駅前中央=1.0 江北町山口*=0.9 みやき町三根*=0.9 佐賀市東与賀*=0.8
				佐賀市久保田	*=0.8	白石町福富*=0.8 白石町有明*=0.8 佐賀市栄町*=0.8 基山町宮浦*=0.5
				白石町福田	*=0.5	
		大分県	1	津久見市宮本町	*=1.2	日田市前津江町*=1.2 佐伯市春日町*=1.1 九重町後野上*=1.1
				佐伯市蒲江蒲江浦	=1.0	日田市田島*=1.0 日田市中津江村栃野*=0.9 日田市大山町*=0.9
				竹田市荻町	*=0.9	佐伯市上浦*=0.9 竹田市直入町*=0.8 日田市上津江町*=0.8 臼杵市臼杵*=0.6
				日田市三本松	=0.5	
		鹿児島県	1	霧島市横川町中ノ	*=0.8	長島町伊唐島*=0.7 伊佐市大口鳥巢*=0.5
157	26 10 43	熊本県熊本地方	32° 44.7' N	130° 47.9' E	8km	M: 2.9
		熊本県	2	益城町宮園	*=2.1	熊本西区春日=1.8 熊本中央区大江*=1.7 嘉島町上島*=1.7 熊本南区城南町*=1.7
				熊本東区佐土原	*=1.5	
			1	大津町大津	*=1.3	宇城市豊野町*=1.2 宇城市松橋町=1.1 熊本美里町永富*=0.9 宇土市浦田町*=0.9
				宇城市不知火町	*=0.9	御船町御船*=0.9 大津町引水*=0.7
158	26 11 21	熊本県熊本地方	32° 44.7' N	130° 48.0' E	8km	M: 3.6
		熊本県	3	嘉島町上島	*=3.1	益城町宮園*=3.1 熊本西区春日=3.0 熊本南区城南町*=2.7 熊本東区佐土原*=2.6
				宇城市豊野町	*=2.5	
			2	御船町御船	*=2.4	宇城市松橋町=2.4 熊本中央区大江*=2.4 宇城市不知火町*=2.3 大津町大津*=2.2
				宇土市浦田町	*=2.2	熊本美里町永富*=2.2 合志市竹迫*=1.9 西原村小森*=1.6
				熊本美里町馬場	*=1.5	大津町引水*=1.5 玉名市天水町*=1.5 宇城市小川町*=1.5 甲佐町豊内*=1.5
				菊陽町久保田	*=1.5	
			1	玉名市横島町	*=1.4	氷川町島地*=1.4 菊池市旭志*=1.3 山都町浜町*=1.2 八代市千丁町*=1.2
				熊本北区植木町	*=1.2	八代市鏡町*=1.1 合志市御代志*=1.0 氷川町宮原*=1.0 玉名市岱明町*=0.9
				和水町江田	*=0.9	熊本高森町高森*=0.8 上天草市松島町*=0.7 八代市新地町*=0.7
		長崎県	1	島原市有明町	*=0.8	雲仙市小浜町雲仙=0.7 南島原市深江町*=0.7 雲仙市国見町=0.5
		宮崎県	1	椎葉村下福良	*=1.0	延岡市北方町総合支所*=0.8
159	26 12 17	熊本県天草・芦北地方	32° 14.1' N	130° 26.3' E	7km	M: 2.4
		熊本県	2	水俣市陣内	*=1.8	
			1	水俣市牧ノ内	*=1.4	
160	26 17 05	熊本県天草・芦北地方	32° 14.1' N	130° 26.0' E	7km	M: 2.2

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		熊本県	1	水俣市陣内*=1.0 水俣市牧ノ内*=0.5		
161	26 19 42	熊本県熊本地方 熊本県	32° 31.2' N 1	130° 36.6' E 八代市平山新町=1.1 八代市新地町*=0.9	7km	M: 2.6
162	26 21 07	伊勢湾 愛知県	34° 48.6' N 1	136° 48.0' E 安城市和泉町*=0.9 豊田市長興寺*=0.6 西尾市西幡豆町*=0.6 幸田町菱池*=0.6	38km	M: 3.1
163	26 23 54	熊本県天草・芦北地方 熊本県	32° 20.4' N 1	130° 29.7' E 芦北町芦北=1.4 芦北町田浦町*=0.7	5km	M: 2.5
164	27 01 23	茨城県北部 茨城県	36° 38.8' N 1	140° 38.6' E 日立市助川小学校*=0.9	12km	M: 2.5
165	27 09 45	千葉県北東部 千葉県	35° 43.6' N 1	140° 42.8' E 横芝光町栗山*=1.3 横芝光町宮川*=1.1 芝山町小池*=1.1 多古町多古=1.0 旭市南堀之内*=0.9 香取市仁良*=0.8 東金市日吉台*=0.8 旭市ニ*=0.8 山武市蓮沼ニ*=0.8 九十九里町片貝*=0.7 山武市松尾町富士見台=0.6 東金市東新宿=0.6	50km	M: 3.8
166	27 16 25	浦河沖 北海道	42° 02.6' N 1	142° 36.7' E 函館市川汲町*=0.5 新ひだか町三石旭町*=0.5	64km	M: 3.5
167	27 17 37	沖縄本島近海 鹿児島県	27° 00.6' N 1	128° 34.1' E 知名町瀬利寛=0.9	40km	M: 3.5
168	28 01 58	千葉県北東部 千葉県	35° 31.2' N 1	140° 23.9' E 一宮町一宮=0.9 芝山町小池*=0.8	43km	M: 2.7
169	28 06 29	熊本県天草・芦北地方 長崎県 熊本県	32° 28.0' N 1 1	130° 31.9' E 雲仙市小浜町雲仙=0.5 五木村甲*=0.8 上天草市松島町*=0.8 上天草市姫戸町*=0.7 熊本美里町永富*=0.6 上天草市大矢野町=0.5 球磨村渡*=0.5	15km	M: 3.1
170	28 10 49	岩手県沖 岩手県	39° 55.4' N 1	142° 25.3' E 宮古市田老*=0.5	38km	M: 3.4
171	28 11 05	岩手県沖 岩手県	39° 55.0' N 1	142° 23.1' E 宮古市田老*=0.5	38km	M: 3.2
172	28 16 24	福島県会津 福島県	37° 25.0' N 1	139° 25.9' E 福島金山町川口*=1.0 南会津町界*=0.7	6km	M: 2.8
173	28 21 04	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 53.5' N 1 1	141° 58.5' E 一関市千厩町*=0.7 大船渡市大船渡町=0.6 大船渡市猪川町=0.6 釜石市中妻町*=0.6 気仙沼市笹が陣*=1.0 気仙沼市赤岩=0.7	49km	M: 3.5
174	29 04 45	茨城県南部 茨城県	36° 03.2' N 4 3	139° 56.1' E 坂東市馬立*=3.7 常総市新石下*=3.6 筑西市舟生=3.5 つくばみらい市福田*=3.5 石岡市石岡*=3.4 石岡市若宮*=3.3 笠間市石井*=3.3 下妻市鬼怒*=3.3 坂東市岩井=3.3 桜川市真壁*=3.3 常総市水海道諏訪町*=3.3 つくばみらい市加藤*=3.3 土浦市常名=3.3 土浦市藤沢*=3.3 石岡市柿岡=3.3 小美玉市小川*=3.2 筑西市二木成*=3.2 取手市寺田*=3.2 茨城古河市下大野*=3.1 坂東市山*=3.1 笠間市笠間*=3.1 笠間市中央*=3.1 取手市井野*=3.1 つくば市天王台*=3.1 守谷市大柏*=3.1 石岡市八郷*=3.0 茨城古河市仁連*=3.0 下妻市本城町*=3.0 つくば市小荖*=3.0 小美玉市上玉里*=3.0 桜川市羽田*=2.9 つくば市研究学園*=2.9 水戸市内原町*=2.9 境町旭町*=2.9 行方市麻生*=2.9 笠間市下郷*=2.9 坂東市役所*=2.8 かすみがうら市上土田*=2.8 取手市藤代*=2.8 桜川市岩瀬*=2.8 土浦市田中*=2.7 行方市玉造*=2.7 稲敷市江戸崎甲*=2.7 筑西市海老ヶ島*=2.7 茨城町小堤*=2.7 龍ヶ崎市役所*=2.6 阿見町中央*=2.5 八千代町菅谷*=2.5 かすみがうら市大和田*=2.5 牛久市中央*=2.5 美浦村受領*=2.5 稲敷市結佐*=2.5 2 常陸大宮市野口*=2.4 城里町石塚*=2.4 小美玉市堅倉*=2.4 五霞町小福田*=2.4 稲敷市伊佐津*=2.4 稲敷市須賀津*=2.4 筑西市門井*=2.4 鉾田市汲上*=2.3 稲敷市役所*=2.3 大洗町磯浜町*=2.3 結城市中央町*=2.3 常陸大宮市北町*=2.3 常陸大宮市山方*=2.2 河内町源清田*=2.2 那珂市瓜連*=2.2 茨城鹿嶋市鉢形=2.1 茨城古河市長谷町*=2.1 水戸市千波町*=2.1 利根町布川=2.0 神栖市溝口*=2.0 鉾田市鉾田=2.0 水戸市金町=2.0 城里町阿波山*=2.0 城里町徳蔵*=2.0 日立市十王町友部*=1.9 常陸太田市金井町*=1.9 潮来市辻*=1.9 ひたちなか市南神敷台*=1.9 那珂市福田*=1.9 行方市山田*=1.9 水戸市栗崎町*=1.8 東海村東海*=1.8 潮来市堀之内=1.8 鉾田市造谷*=1.8 常陸大宮市中富町=1.7 茨城鹿嶋市宮中*=1.7 大子町池田*=1.7 ひたちなか市東石川*=1.5 ひたちなか市山ノ上町=1.5 日立市助川小学校*=1.5 1 常陸太田市高柿町*=1.4 常陸大宮市高部*=1.4 常陸太田市町屋町=1.3 常陸大宮市上小瀬*=1.2 高萩市安良川*=1.2 北茨城市中郷町*=1.1 常陸太田市町田町*=1.1 常陸太田市大中町*=1.1 高萩市本町*=1.0 日立市役所*=1.0 神栖市波崎*=0.9 北茨城市磯原町*=0.8 埼玉県 4 春日部市粕壁*=3.7 さいたま南区別所*=3.7 宮代町笠原*=3.5 さいたま中央区下落合*=3.5	46km	M: 4.9

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各地の震度（計測震度）
		3 川口市中青木分室※=3.4 さいたま浦和区高砂=3.4 戸田市上戸田※=3.2 さいたま見沼区堀崎※=3.2 さいたま緑区中尾※=3.2 久喜市下早見=3.1 春日部市金崎※=3.1 さいたま大宮区天沼町※=3.1 さいたま大宮区大門※=3.1 加須市騎西※=3.1 春日部市谷原新田※=3.0 三郷市中央※=3.0 さいたま北区宮原※=2.9 さいたま浦和区常盤※=2.9 八潮市中央※=2.9 幸手市東※=2.9 久喜市青葉※=2.8 吉川市きよみ野※=2.8 杉戸町清地※=2.8 蕨市中央※=2.8 さいたま桜区道場※=2.8 加須市大利根※=2.8 東松山市松葉町※=2.8 白岡市千駄野※=2.8 羽生市東※=2.7 久喜市菖蒲※=2.7 久喜市鷺宮※=2.7 行田市南河原※=2.7 富士見市鶴馬※=2.7 川口市三ツ和※=2.6 松伏町松伏※=2.6 さいたま西区西大宮※=2.6 鴻巣市中央※=2.6 熊谷市妻沼※=2.6 和光市広沢※=2.6 加須市三俣※=2.6 川口市安行領家※=2.5 上尾市本町※=2.5 草加市中央※=2.5 志木市中宗岡※=2.5 桶川市泉※=2.5 さいたま岩槻区本丸※=2.5 久喜市栗橋※=2.5 2 熊谷市江南※=2.4 加須市北川辺※=2.4 本庄市児玉町=2.4 鴻巣市吹上富士見※=2.4 滑川町福田※=2.4 越谷市越ヶ谷※=2.4 朝霞市本町※=2.4 吉見町下細谷※=2.3 川島町下八ツ林※=2.3 川越市新宿町※=2.2 熊谷市宮町※=2.2 新座市野火止※=2.2 蓮田市黒浜※=2.2 伊奈町中央※=2.2 行田市本丸※=2.2 長瀬町野上下郷※=2.2 東松山市市ノ川※=2.2 鴻巣市川里※=2.2 北本市本町※=2.1 深谷市仲町※=2.1 熊谷市桜町=2.1 ときがわ町桃木※=2.0 秩父市近戸町※=2.0 嵐山町杉山※=2.0 狭山市入間川※=1.9 坂戸市千代田※=1.9 皆野町皆野※=1.9 長瀬町本野上※=1.9 深谷市菅沼※=1.9 所沢市北有楽町※=1.8 熊谷市大里※=1.8 埼玉三芳町藤久保※=1.8 越生町越生※=1.8 深谷市普濟寺※=1.8 埼玉美里町木部※=1.8 川越市旭町=1.8 ときがわ町玉川※=1.7 毛呂山町中央※=1.7 ふじみ野市福岡※=1.7 入間市豊岡※=1.7 小川町大塚※=1.7 鳩山町大豆戸=1.7 東秩父村御堂※=1.6 本庄市本庄※=1.5 鶴ヶ島市三ツ木※=1.5 埼玉神川町植竹※=1.5 深谷市花園※=1.5 ふじみ野市大井※=1.5 1 上里町七本木※=1.3 秩父市上町=1.3 秩父市熊木町※=1.3 所沢市並木※=1.2 埼玉神川町下阿久原※=1.1 秩父市吉田※=1.1 横瀬町横瀬※=1.1 小鹿野町小鹿野※=1.1 秩父市荒川※=1.0 寄居町寄居※=0.9 飯能市征矢町※=0.9 飯能市名栗※=0.9 日高市南平沢※=0.9 秩父市中津川※=0.7 飯能市双柳※=0.6 飯能市下直竹=0.6 3 栃木市旭町=3.2 下野市田中※=3.1 真岡市石島※=2.9 下野市笹原※=2.9 真岡市荒町※=2.7 壬生町壬生甲※=2.7 栃木市藤岡町藤岡※=2.6 鹿沼市晃望台※=2.6 真岡市田町※=2.6 野木町丸林※=2.5 佐野市高砂町※=2.5 2 宇都宮市明保野町=2.4 栃木市万町※=2.4 栃木市岩舟町静※=2.4 益子町益子=2.3 茂木町茂木※=2.2 市貝町市塙※=2.2 栃木市都賀町原宿※=2.1 足利市大正町※=2.1 小山市神鳥谷※=2.0 栃木市西方町本城※=2.0 宇都宮市中里町※=1.9 宇都宮市中岡本町※=1.9 芳賀町祖母井※=1.9 高根沢町石末※=1.9 下野市大松山※=1.9 佐野市田沼町※=1.9 茂木町北高岡天矢場※=1.8 佐野市葛生東※=1.8 栃木市大平町富田※=1.8 小山市中央町※=1.8 大田原市湯津上※=1.8 上三川町しらさぎ※=1.6 宇都宮市旭※=1.6 鹿沼市口栗野※=1.5 1 日光市鬼怒川温泉大原※=1.4 宇都宮市塙田※=1.4 佐野市中町※=1.4 鹿沼市今宮町※=1.4 栃木さくら市氏家※=1.4 栃木那珂川町小川※=1.3 日光市湯元※=1.3 日光市芹沼※=1.3 日光市藤原庁舎※=1.3 塩谷町玉生※=1.2 那須塩原市塩原庁舎※=1.2 那須烏山市大金※=1.2 日光市足尾町中才※=1.2 日光市足尾町通洞※=1.2 矢板市本町※=1.2 日光市黒部※=1.1 日光市瀬川=1.0 栃木さくら市喜連川※=1.0 那須町寺子※=1.0 栃木那珂川町馬頭※=1.0 日光市御幸町※=0.8 那須塩原市あたご町※=0.8 大田原市黒羽田町=0.8 那須烏山市神長=0.7 那須塩原市鍋掛※=0.6 日光市今市本町※=0.6 那須烏山市役所※=0.6 日光市中宮祠=0.6 那須塩原市共懇社※=0.5 3 館林市上三林町※=3.1 邑楽町中野※=3.0 千代田町赤岩※=2.7 板倉町板倉=2.6 太田市西本町※=2.5 渋川市赤城町※=2.5 2 群馬明和町新里※=2.4 渋川市吹屋※=2.3 大泉町日の出※=2.3 館林市城町※=2.2 沼田市西倉内町=2.1 伊勢崎市西久保町※=2.1 太田市粕川町※=2.1 前橋市堀越町※=2.0 前橋市粕川町※=1.9 桐生市元宿町※=1.9 桐生市新里町※=1.9 伊勢崎市東町※=1.9 高崎市吉井町吉井川※=1.8 伊勢崎市境※=1.8 太田市大原町※=1.8 沼田市白沢町※=1.8 前橋市富士見町※=1.8 藤岡市鬼石※=1.7 安中市安中※=1.7 玉村町下新田※=1.7 みどり市大間々町※=1.7 太田市浜町※=1.7 桐生市黒保根町※=1.6 太田市新田金井町※=1.6 吉岡町下野田※=1.5 前橋市鼻毛石町※=1.5 沼田市下久屋町※=1.5 伊勢崎市今泉町※=1.5 片品村鎌田※=1.5 1 桐生市錦町=1.4 富岡市七日市=1.4 甘楽町小幡※=1.4 藤岡市中栗須※=1.3 富岡市妙義町※=1.3 神流町生利※=1.2 みどり市笠懸町※=1.2 高崎市新町※=1.2 渋川市伊香保町※=1.2 安中市松井田町※=1.2 みどり市東町※=1.1 前橋市昭和町=1.1 神流町神ヶ原※=1.0 前橋市大手町※=1.0 高崎市高松町※=1.0 渋川市石原※=0.9 渋川市北橋町※=0.9 沼田市尾瀬高等学校=0.9 沼田市利根町※=0.9 東吾妻町本宿※=0.9 東吾妻町奥田※=0.9 群馬昭和村糸井※=0.9 群馬高山村中山※=0.8 高崎市倉渕町※=0.8 高崎市箕郷町※=0.8 高崎市足門町※=0.8 榛東村新井※=0.8 川場村谷地※=0.7 みなかみ町鹿野沢※=0.7 渋川市有馬※=0.7 渋川市村上※=0.7 前橋市駒形町※=0.7 中之条町中之条町※=0.6 下仁田町下小坂※=0.5 群馬上野村川和※=0.5 3 野田市鶴奉※=3.3 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷※=3.3 松戸市西馬橋※=3.2 柏市柏※=3.2 市川市大町※=2.9 野田市東宝珠花※=2.9 柏市旭町=2.9 柏市大島田※=2.9 八千代市大和田新田※=2.8 浦安市日の出=2.8 白井市復※=2.8 成田国際空港=2.7 習志野市鷺沼※=2.7 流山市平和台※=2.7 香取市役所※=2.7 市川市本行徳※=2.7 船橋市湊町※=2.7 香取市佐原諏訪台※=2.6 千葉花見川区花島町※=2.6 松戸市根本※=2.6 千葉佐倉市海隣寺町※=2.6 印西市大森※=2.5 成田市名古屋=2.5 成田市中台※=2.5 香取市佐原平田=2.4 八街市八街※=2.4 栄町安食台※=2.4 千葉美浜区ひび野=2.3 我孫子市我孫子※=2.3 浦安市猫実※=2.3 四街道市鹿渡※=2.3 神崎町神崎本宿※=2.2 芝山町小池※=2.2 千葉稲毛区園生町※=2.2 市川市八幡※=2.2 成田市役所※=2.2 市原市姉崎※=2.2 印西市笠神※=2.2 多古町多古=2.1 印西市美瀬※=2.1 富里市七栄※=2.1 香取市岩部※=2.1 山武市塩谷※=2.1 千葉美浜区稲毛海岸※=2.1 成田市松子※=2.1 香取市仁良※=2.0 千葉中央区中央港=2.0 南房総市谷向※=2.0 千葉若葉区野呂町※=2.0 東金市日吉台※=2.0 千葉若葉区小倉台※=1.9 市原市国分寺台中央※=1.9 酒々井町中央台※=1.9 君津市久留里市場※=1.9 長南町総合グラウンド=1.9 香取市羽根川※=1.9 山武市松尾町富士見台=1.9 木更津市富士見※=1.8

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		東京都	旭市南堀之内＊=1.8 九十九里町片貝＊=1.7 横芝光町栗山＊=1.7 茂原市道表＊=1.7 富津市下飯野＊=1.7 東金市東新宿=1.7 千葉緑区おゆみ野＊=1.7 東金市東岩崎＊=1.7 成田市猿山＊=1.7 木更津市太田=1.6 睦沢町下之郷＊=1.6 長柄町桜谷＊=1.6 袖ヶ浦市坂戸市場＊=1.6 鋸南町下佐久間＊=1.6 南房総市白浜町白浜＊=1.6 山武市蓮沼ニ＊=1.6 長南町長南＊=1.6 山武市殿台＊=1.5 山武市蓮沼ハ＊=1.5 館山市北条＊=1.5 君津市久保＊=1.5 白子町関＊=1.5 南房総市富浦町青木＊=1.5 横芝光町宮川＊=1.5 1 一宮町一宮=1.4 山武市松尾町五反田＊=1.4 いすみ市岬町長者＊=1.4 いすみ市弥正＊=1.4 館山市長須賀=1.3 鴨川市横渚＊=1.3 大多喜町大多喜＊=1.3 南房総市岩糸＊=1.3 大網白里市大網＊=1.3 旭市ニ＊=1.2 長生村本郷＊=1.2 匝瑳市八日市場ハ＊=1.2 匝瑳市今泉＊=1.2 南房総市上堀=1.1 旭市高生＊=1.1 鴨川市八色=1.0 旭市萩園＊=1.0 東庄町笹川＊=0.9 銚子市小畑新町=0.8 勝浦市墨名=0.7 銚子市川口町=0.5 勝浦市新官＊=0.5 3 東京板橋区相生町＊=2.9 東京足立区神明南＊=2.9 東京千代田区大手町=2.8 東京板橋区高島平＊=2.8 東京渋谷区本町＊=2.6 東京杉並区桃井＊=2.6 東京杉並区高井戸＊=2.6 東京足立区伊興＊=2.6 東京江戸川区中央=2.6 東京江戸川区鹿骨＊=2.6 調布市西つつじヶ丘＊=2.6 小平市小川町＊=2.6 東京中央区勝どき＊=2.5 東京中野区中野＊=2.5 東京練馬区東大泉＊=2.5 東京江戸川区船堀＊=2.5 2 東京港区南青山＊=2.4 東京品川区平塚＊=2.4 東京北区西ヶ原＊=2.4 東京荒川区東尾久＊=2.4 東京練馬区光が丘＊=2.4 東京葛飾区金町＊=2.4 町田市本町田＊=2.4 東京新宿区上落合＊=2.3 東京文京区本郷＊=2.3 東京文京区大塚＊=2.3 東京世田谷区世田谷＊=2.3 東京世田谷区成城＊=2.3 東京中野区江古田＊=2.3 東京豊島区南池袋＊=2.3 東京練馬区豊玉北＊=2.3 東京葛飾区立石＊=2.3 国分寺市泉町＊=2.3 東大和市中央＊=2.3 東京千代田区富士見＊=2.2 東京港区海岸=2.2 東京港区白金＊=2.2 東京江東区越中島＊=2.2 東京品川区北品川＊=2.2 東京板橋区板橋＊=2.2 武蔵野市緑町＊=2.2 東村山市本町＊=2.2 西東京市中町＊=2.2 狛江市和泉本町＊=2.2 東京北区赤羽南＊=2.1 東京中央区築地＊=2.1 東京中央区日本橋兜町＊=2.1 町田市忠生＊=2.1 日野市神明＊=2.1 東京文京区スポーツセンタ＊=2.1 東京墨田区吾妻橋＊=2.1 東京大田区多摩川＊=2.1 東京世田谷区三軒茶屋＊=2.1 東京世田谷区中町＊=2.1 東京足立区千住中居町＊=2.0 武蔵野市吉祥寺東町＊=2.0 東京府中市朝日町＊=2.0 東京江東区東陽＊=2.0 東京江東区森下＊=2.0 小金井市本町＊=2.0 東京江東区亀戸＊=2.0 東村山市美住町＊=2.0 東京目黒区中央町＊=2.0 東京大田区本羽田＊=2.0 稲城市東長沼＊=2.0 東京中野区中央＊=2.0 東京荒川区荒川＊=2.0 東京新宿区歌舞伎町＊=2.0 八王子市堀之内＊=1.9 東京新宿区百人町＊=1.9 町田市森野＊=1.9 東京台東区東上野＊=1.9 東京台東区千束＊=1.9 東京江東区青海=1.9 多摩市関戸＊=1.9 東京大田区大森東＊=1.9 東京千代田区麴町＊=1.9 東京足立区中央本町＊=1.9 東京江東区枝川＊=1.8 三鷹市新川＊=1.8 調布市小島町＊=1.8 東京新宿区西新宿=1.7 国分寺市並木町=1.7 東久留米市本町＊=1.7 東京墨田区横川=1.7 東京品川区広町＊=1.7 東京港区芝公園＊=1.6 八王子市石川町＊=1.6 東京杉並区阿佐谷=1.6 武蔵村山市本町＊=1.6 東京府中市寿町＊=1.6 青梅市日向和田＊=1.5 東京国際空港=1.5 東京渋谷区宇田川町＊=1.5 清瀬市中清戸＊=1.5 1 東京大田区蒲田＊=1.4 八王子市大横町=1.4 瑞穂町箱根ヶ崎＊=1.4 国立市富士見台＊=1.3 清瀬市中里＊=1.3 多摩市鶴牧＊=1.3 立川市泉町＊=1.2 あきる野市伊奈＊=1.2 昭島市田中町＊=1.1 青梅市東青梅=1.1 羽村市緑ヶ丘＊=1.0 檜原村本宿＊=0.9 福生市福生＊=0.8 伊豆大島町差木地=0.5 日の出町平井＊=0.5 3 横浜神奈川区神大寺＊=3.4 横浜港北区日吉本町＊=2.9 横浜緑区十日市場町＊=2.7 川崎宮前区宮前平＊=2.7 川崎宮前区野川＊=2.6 横浜神奈川区広台太田町＊=2.5 横浜中区山手町=2.5 横浜保土ヶ谷区上菅田町＊=2.5 川崎中原区小杉町＊=2.5 2 横浜瀬谷区三ツ境＊=2.4 横浜鶴見区末広町＊=2.3 横浜西区浜松町＊=2.3 横浜中区山下町＊=2.3 横浜戸塚区戸塚町＊=2.2 横浜戸塚区鳥が丘＊=2.2 横浜旭区川井宿町＊=2.2 横浜緑区鴨居＊=2.2 川崎川崎区宮前町＊=2.2 綾瀬市深谷中＊=2.2 相模原緑区久保沢＊=2.2 横浜中区山吹町＊=2.1 横浜瀬谷区中屋敷＊=2.1 川崎中原区小杉陣屋町=2.1 横浜磯子区洋光台＊=2.0 横浜戸塚区平戸町＊=2.0 横浜港南区野庭町＊=2.0 横浜泉区和泉中央北＊=2.0 横浜都筑区池辺町＊=2.0 川崎川崎区千鳥町＊=2.0 川崎多摩区登戸＊=2.0 相模原緑区中野＊=2.0 横浜保土ヶ谷区神戸町＊=1.9 横浜港北区綱島西＊=1.9 横浜青葉区鴨志田町＊=1.9 大和市下鶴間＊=1.9 相模原南区相模大野＊=1.9 相模原緑区大島＊=1.9 相模原緑区橋本＊=1.9 横浜中区日本大通＊=1.8 横浜港北区大倉山＊=1.8 横浜旭区今宿東町＊=1.8 横浜泉区岡津町＊=1.8 川崎高津区下作延＊=1.8 川崎麻生区万福寺＊=1.8 寒川町宮山＊=1.8 愛川町角田＊=1.8 相模原中央区中央=1.8 相模原南区磯部＊=1.8 横浜鶴見区鶴見＊=1.8 横浜西区みなとみらい＊=1.8 横浜旭区大池町＊=1.7 横浜青葉区美しが丘＊=1.7 横浜都筑区茅ヶ崎＊=1.7 川崎幸区戸手本町＊=1.7 座間市相武台＊=1.7 厚木市中町＊=1.7 横浜磯子区磯子＊=1.6 横浜金沢区白帆＊=1.6 川崎川崎区中島＊=1.6 川崎麻生区片平＊=1.6 平塚市浅間町＊=1.6 中井町比奈窪＊=1.6 横浜栄区小菅ヶ谷＊=1.6 横浜南区六ツ川＊=1.5 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.5 海老名市大谷＊=1.5 相模原中央区田名＊=1.5 1 横浜金沢区寺前＊=1.4 横浜金沢区釜利谷南＊=1.4 横浜港南区丸山台北部＊=1.4 小田原市荻窪＊=1.4 神奈川大井町金子＊=1.4 湯河原町中央=1.4 清川村煤ヶ谷＊=1.4 横浜栄区桂台南＊=1.3 横須賀市光の丘=1.3 厚木市下津古久＊=1.3 横浜南区大岡＊=1.2 松田町松田惣領＊=1.2 藤沢市朝日町＊=1.2 秦野市曽屋=1.1 山北町山北＊=1.1 横須賀市坂本町＊=1.0 逗子市桜山＊=1.0 南足柄市関本＊=1.0 箱根町湯本＊=0.9 秦野市平沢＊=0.8 相模原緑区小淵＊=0.8 鎌倉市御成町＊=0.8 相模原緑区若柳=0.6 三浦市三崎町＊=0.6 2 白河市表郷＊=1.9 双葉町長塚＊=1.5 白河市東＊=1.5 1 白河市大信＊=1.4 鏡石町不時沼＊=1.4 西郷村熊倉＊=1.3 玉川村小高＊=1.3 白河市新白河＊=1.2 田村市大越町＊=1.2 須賀川市岩瀬支所＊=1.2 泉崎村泉崎＊=1.2 郡山市湖南町＊=1.1 須賀川市八幡山＊=1.1 いわき市小名浜=1.1 いわき市錦町＊=1.1 矢吹町一本木＊=1.1 棚倉町棚倉中居野=1.1 浅川町浅川＊=1.0 矢祭町東館＊=1.0 いわき市三和町=0.9 白河市郭内=0.9 大熊町大川原＊=0.9 浪江町幾世橋=0.9 檜枝岐村上河原＊=0.9 古殿町松川新桑原＊=0.9 矢祭町戸塚＊=0.8 福島広野町下北迫大谷地原＊=0.7 大熊町野上＊=0.7 田村市都路町＊=0.7 郡山市朝日=0.7 天栄村下松本＊=0.6 田村市常葉町＊=0.6 いわき市平四ツ波＊=0.6 福島広野町下北迫苗代替＊=0.5 1 丸森町鳥屋＊=1.3 角田市角田＊=0.7 岩沼市桜＊=0.7 大河原町新南＊=0.6			
		神奈川県				
		福島県				
		宮城県				

令和8年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模	
		新潟県 山梨県	1 南魚沼市六日町=0.6 1 山梨北杜市長坂町*=1.4 富士川町鯉沢*=1.4 大月市御太刀*=1.3 上野原市役所*=1.3 忍野村忍草*=1.3 富士河口湖町長浜*=1.3 甲府市下曽根町*=1.1 笛吹市境川町藤塚*=1.1 甲府市相生*=1.0 南アルプス市寺部*=1.0 笛吹市役所*=1.0 甲州市塩山上於曽*=1.0 山中湖村山中*=1.0 甲府市飯田=0.9 山梨北杜市高根町*=0.9 中央市成島*=0.9 山梨北杜市大泉町*=0.8 甲州市役所*=0.8 甲州市勝沼町勝沼*=0.8 中央市臼井阿原*=0.8 大月市大月=0.8 富士河口湖町船津=0.8 小菅村小菅小学校*=0.8 昭和町押越*=0.8 甲斐市下今井*=0.8 笛吹市春日居町寺本*=0.7 甲州市塩山下於曽=0.7 山梨市牧丘町窪平*=0.7 丹波山村丹波*=0.5				
		長野県	1 長野南牧村海ノ口*=1.3 茅野市葛井公園*=1.1 諏訪市高島*=0.8 佐久市中込*=0.8 小海町豊里*=0.8 諏訪市湖岸通り=0.7				
		静岡県	1 東伊豆町奈良本*=1.3 伊豆市中伊豆グラウンド=1.2 富士市吉永*=1.2 御殿場市萩原=0.9 伊豆の国市長岡*=0.8 河津町田中*=0.7 富士宮市弓沢町=0.7 富士宮市野中*=0.7 小山町須走*=0.7 熱海市網代=0.6 松崎町宮内*=0.6 西伊豆町宇久須*=0.6 沼津市西間門*=0.6 小山町藤曲*=0.6 熱海市泉*=0.5 御殿場市竈*=0.5				
175	29 10 49	和歌山県南部 三重県	33° 47.7' N 1 熊野市紀和町板屋*=1.0 紀宝町神内*=0.5	135° 47.8' E	25km	M: 2.7	
176	29 18 12	山口県北部 山口県	34° 31.5' N 1 萩市土原=0.5 萩市須佐*=0.5	131° 33.0' E	15km	M: 3.0	
177	29 22 48	千葉県北東部 千葉県	35° 42.8' N 1 芝山町小池*=0.7	140° 37.0' E	51km	M: 2.9	
178	30 14 00	与那国島近海 沖縄県	23° 49.1' N 3 与那国町役場*=2.5 2 与那国町久部良=2.4 与那国町祖納=2.1 竹富町上原青年会館*=1.8 石垣市平久保=1.7 石垣市真栄里*=1.6 石垣市登野城=1.5 竹富町大原=1.5 石垣市新栄町*=1.5 1 竹富町波照間=1.3 石垣市新川=1.1 多良間村塩川=0.5	122° 53.9' E	20km	M: 5.9	
179	30 18 46	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 43.3' N 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.4	129° 47.6' E	3km	M: 2.7	
180	30 21 28	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 43.0' N 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.1	129° 47.5' E	0km	M: 2.7	

付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
〈令和7年（2025年）10月～令和8年（2026年）9月〉

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
令和7年（2025年）											
10月	104	37	9	4	1					155	トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近） （10月中：震度3：4回、震度2：8回、震度1：25回） トカラ列島近海の地震活動（諏訪之瀬島付近） （10月中：震度2：5回、震度1：9回） 25日 根室半島南東沖の地震（震度5弱）
11月	134	78	22	3		1				238	トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近） （11月中：震度3：1回、震度2：3回、震度1：8回） 鹿児島県薩摩地方の地震活動 （11月中：震度4：1回、震度3：5回、震度2：5回、震度1：6回） 三陸沖の地震活動 （11月中：震度4：1回、震度3：9回、震度2：20回、震度1：15回） 25日 熊本県阿蘇地方（震度5強） （11月中：震度5強：1回、震度4：1回、震度3：2回、震度2：14回、震度1：29回）
12月	130	55	20	9				1		215	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （12月中：震度4：1回、震度3：1回、震度2：3回、震度1：8回） トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近） （12月中：震度3：1回、震度1：9回） トカラ列島近海の地震活動（諏訪之瀬島付近） （12月中：震度3：1回、震度2：2回、震度1：7回） 熊本県阿蘇地方の地震活動 （12月中：震度3：2回、震度2：5回、震度1：7回） 8日 青森県東方沖（震度6強） （12月中：震度6強：1回、震度4：4回、震度3：6回、震度2：14回、震度1：26回）
令和8年（2026年）											
1月	182	67	31	9	1	1				291	6日10時18分 島根県東部（震度5強） 6日10時28分 島根県東部（震度5弱） （1月中：震度5強：1回、震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：6回、震度2：17回、震度1：34回） 宗谷地方北部・南部の地震活動 （1月中：震度3：5回、震度2：12回、震度1：24回）
2月	92	39	10							141	宮古島北西沖の地震活動 （2月中：震度2：6回、震度1：11回）
3月	132	50	19	4						205	宮古島北西沖の地震活動 （3月中：震度3：1回、震度2：7回、震度1：7回） 三陸沖の地震活動 （3月中：震度4：1回、震度3：3回、震度2：1回、震度1：7回） 熊本県天草・芦北地方 （3月中：震度4：2回、震度3：3回、震度2：10回、震度1：36回）
4月	140	46	16		2	3				207	1日 茨城県南部（震度5弱） 18日13時20分 長野県北部（震度5強） 18日14時54分 長野県北部（震度5弱） （4月中：震度5強：1回、震度5弱：1回、震度3：7回、震度2：6回、震度1：22回） 20日 三陸沖（震度5強） （4月20日から30日：震度5強：1回、震度3：3回、震度2：7回、震度1：27回） 27日 十勝地方南部（震度5強）
5月	105	41	19	2	1	1				169	15日 宮城県沖（震度5弱） 20日 沖縄本島近海（震度5強） 4月20日からの三陸沖の地震活動 （5月中：震度3：1回、震度2：3回、震度1：12回） 西表島付近の地震活動 （5月中：震度3：2回、震度2：7回、震度1：8回）
6月	109	30	11	2	2		1	1		156	2025年11月以降の三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動 （6月中：震度6強：1回、震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：2回、震度2：3回、震度1：19回） 16日 茨城県南部（震度5弱） 25日 岩手県沖（震度6強） 26日 山梨県東部・富士五湖（震度6弱） 28日 岩手県沖（震度5弱）
7月※	343	146	59	19	4				1	572	2025年11月以降の三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動 （7月中：震度4：1回、震度3：3回、震度2：3回、震度1：10回） 28日16時27分 熊本県熊本地方（震度7） 28日16時29分 熊本県熊本地方（震度5弱） 28日17時08分 熊本県天草・芦北地方（震度5弱） 28日19時03分 熊本県熊本地方（震度5弱） 29日 熊本県天草・芦北地方（震度5弱） 「令和8年熊本地震」 （7月28日16時以降31日まで：震度7：1回、震度5弱：4回、震度4：17回、震度3：49回、震度2：119回、震度1：244回）
8月※	318	84	34	11	2					449	2025年11月以降の三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動 （8月中：震度4：1回、震度2：2回、震度1：14回） 「令和8年熊本地震」 （8月中：震度5弱：1回、震度4：6回、震度3：22回、震度2：56回、震度1：216回） 1日 熊本県熊本地方（震度5弱） 23日 茨城県南部（震度5弱）
9月※	123	41	13	3						180	「令和8年熊本地震」 （9月中：震度4：2回、震度3：4回、震度2：19回、震度1：54回）
2026年計	1544	544	212	50	12	5	1	1	1	2190	
過去1年計	1912	714	263	66	13	6	1	2	1	2798	

※掲載している地震回数は、後日の調査で変更になることがある。

注）「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数
 〈令和7年（2025年）10月～令和8年（2026年）9月〉

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
令和7年（2025年）								
10月	325	78	11	1		415	90	5日 福島県沖（M6.0）
11月	546	113	31	4		694	148	9日17時03分 三陸沖（M6.9） 9日17時14分 三陸沖（M6.1） 9日17時54分 三陸沖（M6.6） 10日16時29分 三陸沖（M6.4）
12月	658	141	22	5	2	828	170	8日23時15分 青森県東方沖（M7.5） 9日03時56分 青森県東方沖（M6.1） 9日06時52分 青森県東方沖（M6.6） 10日23時52分 青森県東方沖（M6.0） 12日11時44分 青森県東方沖（M6.9） 28日00時05分 台湾付近（M7.0） 31日23時26分 岩手県北東沖（M6.1）
令和8年（2026年）								
1月	420	111	19	3		553	133	6日 島根県東部（M6.4） 13日 択捉島南東沖（M6.3） 22日 硫黄島近海（M6.5）
2月	506	122	20	1		649	143	22日 千島列島（M6.1）
3月	607	129	22	4		762	155	2日 硫黄島近海（M6.2） 2日 宮古島近海（M6.2） 8日 三陸沖（M6.1） 26日 三陸沖（M6.7）
4月	586	107	23	1	1	718	132	20日 三陸沖（M7.7） 27日 十勝地方南部（M6.2）
5月	425	86	12	1		524	99	15日 宮城県沖（M6.4）
6月	428	84	10	2	1	525	97	1日 鳥島近海（M6.0） 25日 岩手県沖（M7.2） 28日 岩手県沖（M6.1）
7月※	584	107	12	3	1	707	123	1日 岩手県沖（M6.1） 3日13時04分 宮古島北西沖（M6.5） 28日16時27分 熊本県熊本地方（M7.1） 28日17時08分 熊本県天草・芦北地方（M6.1）
8月※	452	94	12	1		559	107	23日 浦河沖（M6.0）
9月※	322	79	8	1		410	88	23日 マリアナ諸島（M6.0）
2026年計	4330	919	138	17	3	5407	1077	
過去1年計	5859	1251	202	27	5	7344	1485	

※掲載している地震回数は、後日の調査で変更になることがある。

注）日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

● 付録 4. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震

令和 8 年 9 月に長周期地震動階級※ 1 以上を観測した地震はなかった。

平成 25 年 3 月～令和 8 年 9 月に長周期地震動階級 1 以上を観測した地震の月別回数

年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 25 年 (2013 年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成 26 年 (2014 年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成 27 年 (2015 年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成 28 年 (2016 年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成 29 年 (2017 年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成 30 年 (2018 年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成 31 年 / 令和元年 (2019 年)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和 2 年 (2020 年)	1	1	1	1	0	2	0	0	2	0	1	2	11
令和 3 年 (2021 年)	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	6
令和 4 年 (2022 年)	2	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	8
令和 5 年 (2023 年)	0	1	1	0	5	1	0	1	2	0	0	0	11
令和 6 年 (2024 年)	15	0	1	4	0	1	0	1	0	0	1	0	23
令和 7 年 (2025 年)	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	4	3	13
令和 8 年 (2026 年)	3	0	2	2	1	5	3	3	0				19

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級 1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	ー
長周期地震動階級 2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらないうと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	ー
長周期地震動階級 3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級 4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和 7 年 12 月号の付録 10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

https://www.data.jma.go.jp/egev/data/gaikyo/monthly/202512/202512furoku_10.pdf

なお、気象庁が発表する「長周期地震動に関する観測情報」の最新情報は、気象庁ホームページ（以下 URL）をご覧ください。

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>

● 付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和8年9月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は65回であった。

平成19年10月～令和8年9月に発表した緊急地震速報の月別回数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年 (2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年 (2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年 (2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年 (2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年 (2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年 (2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年 (2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年 (2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年 (2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年 (2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年 (2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年 (2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年 /令和元年 (2019年)	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)	2(59)	0(59)	1(56)	0(50)	0(72)	0(56)	2(68)	8(763)
令和2年 (2020年)	1(60)	1(54)	1(60)	2(76)	4(74)	1(96)	2(59)	0(46)	1(67)	0(42)	1(43)	3(77)	17(754)
令和3年 (2021年)	0(62)	1(90)	1(75)	0(74)	1(79)	0(52)	0(80)	0(80)	1(60)	3(56)	2(60)	2(92)	11(860)
令和4年 (2022年)	2(81)	0(63)	6(150)	0(74)	2(83)	2(78)	0(49)	1(64)	0(68)	1(65)	1(66)	0(72)	15(913)
令和5年 (2023年)	1(59)	1(45)	0(56)	0(70)	12(155)	1(74)	0(49)	0(51)	1(82)	1(60)	0(61)	0(62)	17(824)
令和6年 (2024年)	20(376)	2(104)	2(82)	4(90)	0(54)	2(81)	0(68)	2(65)	0(62)	0(61)	1(109)	0(63)	33(1215)
令和7年 (2025年)	1(82)	0(54)	1(60)	1(71)	0(54)	2(93)	2(136)	0(69)	0(50)	1(42)	2(105)	3(107)	13(923)
令和8年 (2026年)	5(109)	0(87)	0(109)	5(91)	3(81)	3(58)	4(141)	1(126)	0(65)				21(867)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（ ）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。